平成３１年/令和元年度

大阪府青少年赤十字活動報告書

日本赤十字社　大阪府支部
Japanese Red Cross Society

ちかい

わたくしは

青少年赤十字の一員として

心身を強健にし

人のため郷土社会のため

国家と世界のために

つくすことをちかいます

ごあいさつ

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常の中で具体的なボランタリー・サービスを通じ、望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

当支部は大阪府青少年赤十字指導者協議会ならびに大阪府青少年赤十字賛助奉仕団とともに、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の実践目標を掲げ、青少年赤十字事業を実施しております。

この冊子は、大阪府青少年赤十字賛助奉仕団員の方々が１年間で開催された各事業やプログラムに出向き、現地で取材し、原稿を作成するなど、多くの団員の協力を得て作成されたものです。

新型コロナウイルス感染症の流行にともない、令和２年３月の事業やプログラムが中止となったものがあり、また編集会議も開催できず発行が大幅に遅れてしまいましたが、皆様には、これを参考に青少年赤十字事業を少しでもご理解いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、コロナ禍における大変困難な状況にもかかわらず、自宅での原稿作成や編集にご尽力いただきました、大阪府青少年赤十字賛助奉仕団員の方々には深く感謝申し上げます。

令和３年２月

日本赤十字社大阪府支部

目　　次

Ⅰ　登録状況（加盟校）

○令和元年度 大阪府青少年赤十字登録状況（加盟校） …… 4
○大阪府青少年赤十字メンバー数および加盟校数の推移 …… 6

Ⅱ　平成31年/令和元年度 大阪府青少年赤十字活動報告

１．会議・講習会等の開催状況

○大阪府青少年赤十字の活動について …… 8

２．本社主催の活動

青少年赤十字国際交流事業（受入）（マレーシア赤新月社） …… 18

３．支部主催の活動

①令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者コンベンション …… 23
②令和元年度 大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター …… 26
③青少年赤十字健康安全プログラム …… 33
④青少年赤十字介護体験プログラム …… 35
⑤青少年赤十字国際理解・平和学習プログラム …… 39
⑥青少年赤十字防災プログラム …… 42

４．ブロック・地区等主催の活動

①令和元年度 泉南市青少年赤十字指導者研修会 …… 44
②第59回 第４(近畿)ブロック青少年赤十字指導者研修会 …… 47
③令和元年度 泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会 …… 53
④第41回 和泉市青少年赤十字中学生メンバー・トレーニング・センター …… 57
⑤令和元年度 泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会 …… 61
⑥泉北ブロック青少年赤十字指導者養成講習会 …… 65
⑦令和元年度 堺市青少年赤十字のつどい …… 68

５．その他の活動

高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会

①令和元年度 青少年赤十字ギャザリング …… 73
②令和元年度 ボランティア活動体験学習 …… 75

Ⅲ　資料

①大阪府青少年赤十字指導者協議会組織図 …… 80
②令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者協議会名簿 …… 81
③令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者協議会　青少年赤十字活動推進専門委員名簿 …… 82
④令和元年度 大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会役員名簿 …… 83
⑤大阪府青少年赤十字指導者協議会 歴代正・副会長一覧 …… 84
⑥大阪府青少年赤十字賛助奉仕団規約 …… 86
⑦令和元年度 大阪府青少年赤十字賛助奉仕団組織表 …… 87
⑧年表（大阪府青少年赤十字の足跡） …… 88

Ⅰ　登 録 状 況

令和元年度　大阪府青少年赤十字登録状況（加盟校）

1-1. 登録状況

出典　令和元年度「大阪の学校統計」学校基本調査速報/大阪府認可保育情報

校種	大阪府内の設置数	加盟校数	（増減）	加盟率	メンバー数
幼稚園	587 園	21 園	−4	3.6%	1,271
認定こども園	578 所	2 園	−4	0.3%	523
保育所	981 所	5 所	−3	—	573
小学校	999 校	323 校	21	32.3%	128,092
中学校	521 校	85 校	15	16.3%	34,310
高等学校	260 校	45 校	19	17.3%	22,913
特別支援学校	50 校	7 校	3	14.0%	1,132
合計	3,976 校園所	488 校園所	47	12.3%	188,814

2．ブロック・市町村別登録状況

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園	（増減）	認定こども園	（増減）	保育所	（増減）	小学校	（増減）	中学校	（増減）	高等学校	（増減）	特別支援学校	（増減）	合計	（増減）
大阪市	全体		0	−1	0		0		18	10	6	4	7	3	1	1	32	17
	内訳	北区	0		0		0		3	3	0		1		0		4	3
		都島区	0		0		0		1		0		0		0		1	0
		福島区	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
		此花区	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
		中央区	0		0		0		0		0		1	1	0		1	1
		西区	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		港区	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
		大正区	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		天王寺区	0		0		0		2	2	0		0		0		2	2
		浪速区	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		西淀川区	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
		淀川区	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		東淀川区	0		0		0		0	−1	0		0		0		0	−1
		東成区	0		0		0		2	2	4	3	0		0		6	5
		生野区	0		0		0		0		0	−1	1	1	1	1	2	1
		旭区	0		0		0		0	−1	0		1	1	0		1	0
		城東区	0		0		0		1		0		1		0		2	0
		鶴見区	0		0		0		1		0		0		0		1	0
		阿倍野区	0		0		0		0		0		0	−1	0		0	−1
		住之江区	0	−1	0		0		0	−2	0		0		0		0	−3
		住吉区	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
		東住吉区	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		平野区	0		0		0		2	2	2	2	2	1	0		6	5
		西成区	0		0		0		1		0		0		0		1	0
		その他	0		0		0		0		0		0		0		0	0
堺　市	全体		8	−1	0	−1	0		92		6	1	3	2	2	−2	111	−1
	内訳	堺区	1	−1	0		0		16		1		0		0		18	−1
		中区	2		0		0		13		0		0		0		15	0
		東区	2		0		0		9		0		2	2	0		13	2
		西区	1		0		0		14		0		1		0		16	0
		南区	0		0		0		19		1		0		1	−1	21	−1
		北区	1		0	−1	0		15		1	1	0		1	−1	18	−1
		美原区	1		0		0		6		3		0		0		10	0

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園	（増減）	認定こども園	（増減）	保育所	（増減）	小学校	（増減）	中学校	（増減）	高等学校	（増減）	特別支援学校	（増減）	合計	（増減）
豊　能	豊中市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	池田市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	箕面市		0		0		0		2	−2	0	−1	1	1	0		3	−2
	豊能郡	能勢町	0		0		0		0		0		0		0		0	0
		豊能町	0		0		0		0		0		0		0		0	0
三　島	吹田市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	摂津市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	茨木市		0		0		0		0		0		0		1	1	1	1
	高槻市		0		0		0		10	10	3	3	0		0		13	13
	三島郡	島本町	0		0		0		1	1	0		0		0		1	1
北河内	守口市		0		0	−3	0		14	−2	8		1	1	0		23	−4
	門真市		0		0		0		1		2		0		0		3	0
	寝屋川市		0		0		0		0		0		1		0		1	0
	枚方市		0		0		0		2	2	2	1	1	1	0		5	4
	大東市		0		0		0		1		0		2	1	0		3	1
	四條畷市		0		0		0		7		3		0		0		10	0
	交野市		0		0		0		5	5	0		0		0		5	5
中河内	東大阪市		0		0		0		27	−2	2	−2	0		1	1	30	−3
	八尾市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	柏原市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
南河内	松原市		1	1	0		0		1	1	1	1	0		0		3	3
	藤井寺市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	羽曳野市		0		0		0		0		0		0		0		0	0
	富田林市		0		0		0		16		8		0		0		24	0
	河内長野市		0		0		0		13		7		0		0		20	0
	大阪狭山市		3		0	−1	1	1	7		3		0		0		14	0
	南河内東部	太子町	0		0		0		2		1		0		0		3	0
		河南町	0		0		0		2	−2	1		0		0		3	−2
		千早赤阪村	0		0		0		2		1		0		0		3	0
泉　北	和泉市		4		0		0		21		10		1	1	0		36	1
	高石市		0		0		0		7		3		1		0		11	0
	泉大津市		0		0		0		8		3		0		0		11	0
	忠岡町		1	−1	0		0		2		1		0		0		4	−1
泉　南	岸和田市		0	−1	0		0		24		7	7	1	1	0		32	7
	貝塚市		0		0		0		0		0		1		0		1	0
	泉佐野市		0		0		0		12		0		0		0		12	0
	泉南市		0		0		0		9		0		1		2	2	12	2
	阪南市		4		0		4	1	8		2	2	0		0		18	3
	泉南郡	熊取町	0		0		0	−4	5		1	1	0		0		6	−3
		田尻町	0	−1	0		0	−1	1		0		0		0		1	−2
		岬町	0		0		0		3		0		0		0		3	0
私立高等学校													24	8			24	8
私立中学校											4	−2					4	−2
私立幼稚園			0		2	1											2	1
合　計			21	−4	2	−4	5	−3	323	21	85	15	45	19	7	3	488	47

大阪府青少年赤十字メンバー数および加盟校数の推移

年度	加盟校数							メンバー数						
	保	幼	小	中	高	特別支援	小計	保	幼	小	中	高	特別支援	小計
23							6							2,268
25			35	8	4		47			18,523	4,715	826		24,064
26			90	34	4		128			44,761	15,231	532		60,524
27			82	34	4		120			39,372	15,318	658		55,348
28			95	40	4		139			43,635	18,622	854		63,111
29			99	34	4		137			39,818	18,348	701		58,867
30			65	30	4		99			26,195	15,313	710		42,218
31			81	30	3		114			30,178	10,007	759		40,944
37			79	20	14		113			25,756	11,413	253		37,422
40			86	8	11		105			24,873	5,133	313		30,319
42			96	17	18		131			23,708	8,589	3,260		35,557
45		1	109	15	20		145		235	34,780	7,357	2,865		45,237
47		5	116	15	17		153		1,186	39,389	7,358	2,809		50,742
50														118,448
51		9	154	24	17		204		1,895	109,029	14,744	2,287		127,955
52		9	174	23	17		223		1,623	117,886	17,086	1,991		138,586
53			189	26	17		232			148,418	17,988	1,909		168,315
54			201	25	9		235			152,730	17,481	3,339		173,550
55			200	24	10		234			152,255	16,854	4,786		173,895
56			204	28	9		241			154,133	20,191	3,178		177,502
57	10		203	28	7		248	1,457		154,643	21,975	3,057		181,132
58	10		207	31	8		256	1,345		153,566	21,546	3,312		179,769
59	4	24	212	31	9		280	372	2,775	155,780	23,582	3,451		185,960
60	18	29	218	31	9		305	1,798	3,070	152,709	25,662	3,624		186,863
61	18	29	224	29	8		308	1,762	2,914	145,570	24,695	3,477		178,418
62	17	29	227	30	10		313	1,763	2,694	136,662	25,989	5,030		172,138
63	17	27	246	29	10		329	4,298		143,795	23,775	3,323		175,191
1	17	25	231	32	9		314	1,674	2,234	128,142	27,493	3,556		163,099
2	17	25	227	32	9		310	1,526	2,143	121,060	25,201	3,581		153,511
3	17	24	228	33	7		309	1,492	1,501	119,525	24,426	3,353		150,297
4	17	40	215	35	6		313	1,490	2,423	109,721	23,913	2,840		140,387
5	17	41	219	33	7		317	1,410	2,236	105,851	19,428	1,293		130,218
6	17	42	212	33	7		311	1,311	2,781	102,976	20,466	2,547		130,081
7	17	32	210	32	7		298	1,311	3,196	101,412	19,674	1,225		126,818
8	17	33	210	36	7		303	1,588	3,337	97,814	20,278	1,869		124,886
9	17	38	207	37	6		305	1,363	4,018	95,054	19,786	1,844		122,065
10	17	38	222	39	6		322	1,378	4,010	98,346	19,512	1,440		124,686
11	17	43	228	39	4		331	2,342	3,198	97,333	19,577	1,747		124,197
12	16	40	229	42	4		331	1,458	4,030	95,609	20,777	1,954		123,828
13	17	37	249	46	6		355	1,616	3,965	101,214	21,053	3,479		131,327
14	13	43	281	50	7		394	1,423	5,036	115,302	22,583	2,259		146,603
15	12	40	250	61	11		374	1,317	4,756	105,976	23,269	2,017		137,335
16	12	41	254	63	11		381	1,270	5,158	106,913	24,828	1,122		139,291
17	12	41	294	71	12		430	1,401	4,957	125,801	25,506	1,886		159,551
18	12	46	297	63	14		432	1,318	5,589	133,093	24,569	2,790		167,359
19	10	41	309	66	16		442	1,086	4,311	135,848	26,740	5,624		173,609
20	10	44	318	69	14		455	1,071	5,039	138,833	26,249	4,256		175,448
21	10	42	326	67	11	2	458	1,123	4,811	138,674	27,238	4,296	263	176,405
22	10	43	324	63	11	4	455	1,139	4,454	135,265	25,107	4,327	294	170,586
23	10	41	319	63	10	4	447	1,114	4,382	124,733	25,738	4,141	330	160,438
24	9	37	319	65	15	4	449	1,046	4,393	120,554	25,077	4,357	328	155,755
25	9	37	313	63	18	2	442	1,044	4,161	121,163	23,214	4,656	330	154,568
26	9	37	311	68	19	2	446	1,053	3,810	120,308	24,737	6,124	341	156,373
27	9	35	295	66	19	2	426	1,009	3,412	109,749	25,836	7,206	337	147,549
28	9	33	294	68	19	2	425	999	3,066	105,076	24,216	7,132	339	140,828
29	11	30	299	68	25	4	437	1,712	2,007	103,703	21,629	6,962	325	136,338
30	11	25	302	70	26	4	438	2,133	1,544	111,769	25,232	12,810	327	153,815
1	7	21	323	85	45	7	488	1,096	1,271	128,092	34,310	22,913	1,132	188,814

Ⅱ　平成31年/令和元年度
大阪府青少年赤十字活動報告

大阪府青少年赤十字の活動について

１．青少年赤十字の活動推進（会議等の開催）

(1)　本社主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
青少年赤十字全国指導者協議会総会	日赤本社 （東京都）	6月24日 ～25日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 副会長　奥田　恭子
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 役員会・総会	日赤本社 （東京都）	7月9日 ～10日	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団 委員長　楠　玲子

(2)　支部主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	5月7日	委員　　9人
		1月26日	委員　　7人
大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会	大阪赤十字会館	6月9日	委員　　11人
		2月15日	委員　　8人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字活動推進専門委員会	大阪赤十字会館	5月18日	委員　　17人
		2月15日	委員　　9人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 総合型ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ・ｾﾝﾀｰ運営委員会	大阪赤十字会館	7月28日	委員　　19人 青年赤十字奉仕団　5人

(3)　高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府高等学校青少年赤十字 メンバー連絡協議会	大阪赤十字会館	6月9日 9月22日 2月2日	メンバー　43人、指導者　14人 メンバー　63人、指導者　10人 メンバー　23人、指導者　8人

(4)　青少年赤十字賛助奉仕団主催

行事名	実施場所	実施期日	出席者
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団総会	大阪赤十字会館	5月20日	団員　　14人 日本赤十字社大阪府支部　3人

２．青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）

(1)　本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都）	5月24日 ～26日	羽衣学園高等学校 教諭　谷　一輝 清明学院高等学校 教諭　谷口　翔一
青少年赤十字指導者中央講習会	日赤本社 （東京都）	11月23日	和泉市立和気小学校 教諭　岩﨑　生
指導主事対象青少年赤十字研究会	日赤本社 （東京都）	1月9日	堺市教育委員会事務局教育部 生徒指導課　髙橋　一史

(2)　第４（近畿）ブロック主催

行事名	実施場所	実施期日	参加者
第4（近畿）ﾌﾞﾛｯｸ青少年赤十字指導者研修会	大阪府支部	6月15日 ～16日	参加者（大阪府）　13人 参加者（大阪府以外）　7人 スタッフ　8人
第4（近畿）ﾌﾞﾛｯｸ青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	イーグレ姫路	10月25日 ～26日	参加者　6人

(3)　支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府青少年赤十字指導者コンベンション	大阪赤十字会館	1月26日	講師　大阪府政策企画部企画室副理事　西島　亨 講師　大阪信用金庫執行役員CSR推進部長　梅田　充紀 講師　JICA関西市民参加協力課長　田中　宏幸 参加者　57人

(4)　大阪府内ブロック・市町郡指導者協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
泉南市青少年赤十字指導者研修会	泉南市立 信達小学校	6月12日	参加者　143人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会	泉の森ホール （泉佐野市）	8月7日	参加者　35人 スタッフ　27人
泉北ブロック青少年赤十字指導者養成講習会	和泉市コミュニティーセンター	11月30日	参加者　5人 スタッフ　5人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会役員・専門委員研修会	泉南市立 信達小学校	2月14日	参加者　10人

３．青少年赤十字メンバーの育成

(1)　本社主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
青少年赤十字高校生スタディーセンター	東照館 （山梨県）	3月20日 ～26日	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止

(2)　支部主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	府立少年自然の家 （貝塚市）	8月10日 ～12日	メンバー　88人 指導者　39人 赤十字奉仕団　15人
大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター	府立少年自然の家 （貝塚市）	3月20日 ～22日	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止

(3)　大阪府内ブロック・市町郡協議会・高等学校協議会主催

行事名	実施場所	実施期日	参加状況
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会　新メンバー歓迎会	大阪赤十字会館	7月14日	メンバー　54人 指導者　14人
和泉市青少年赤十字中学生メンバー・トレーニング・センター	和泉市立 青少年の家	8月20日	メンバー　28人 指導者　19人
泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会	田尻町立小学校	9月4日	メンバー　260人 指導者　100人 スタッフ　26人
岸和田市ブロック別リーダー交流会	岸和田市内小学校 （24校）	9月～2月	各小学校児童会代表者　人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会　ギャザリング	大阪赤十字会館	10月13日	メンバー　37人 指導者　10人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会防災ピア・エデュケーション	大阪赤十字会館	11月17日	メンバー　14人 指導者　3人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会　ボランティア活動体験学習	大阪赤十字会館	12月15日	メンバー　28人 指導者　5人
高校生メンバーによる献血呼びかけ活動	府内献血ルーム および献血バス	12月18日 12月20日 12月26日	メンバー　72人
堺市青少年赤十字のつどい	堺市役所本館	1月25日	メンバー　70人 指導者　30人
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会　お別れ会	大阪赤十字会館	3月1日	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止

４．国際交流

本社　／　第４（近畿）ブロック主催

行事名	場所	実施期日	参加状況
第４（近畿）ブロック合同青少年赤十字国際交流事業（受入）	滋賀県・大阪府(関西大学・しあわせの丘子ども園)	9月12日 ～18日	マレーシアメンバー　12人 （うち大阪受入2人） 大阪JRCメンバー　3人
青少年赤十字海外支援事業 スタディーツアー	バヌアツ共和国	8月17日 ～24日	メンバー　8人（うち大阪JRC1人） 指導者　2人

５．募金活動等の状況

行事名	実施期間	成果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月15日 ～12月31日	募金総額　479,747円 実施校園所　81校園所 ●年末たすけあい　209,930円 ●海外たすけあい　269,817円

募金活動	実施校	成果
一円玉募金	大阪市立東陽中学校 田尻町立小学校	9,420円

６．青少年赤十字体験学習プログラム　／　出前講座

学習項目	実施対象と回数		実施期間	実施内容
健康・安全プログラム（救急法を含む）	小学校	15回	通年	救命手当短時間　6回 応急手当短時間　1回 けがの予防と応急手当　2回 着衣泳　13回 献血セミナー　1回 救急法基礎講習　1回 救命短期　11回 応急短期　2回
	中学校	2回		
	高　校	7回		
	教　員	13回		
	計37回			計　2,899人
介護体験プログラム	小学校	25回	通年	車椅子体験　29回 ガイドヘルプ体験　4回 高齢者疑似体験　1回
	中学校	4回		
	高　校	0回		
	教　員	0回		
	計29回			計　2,511人
国際理解･平和学習プログラム	小学校	3回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、キャリア教育、SDGｓについてなど
	中学校	2回		
	高　校	3回		
	教　員	1回		
	計9回			計　836人
防災プログラム	小学校	13回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	4回		
	高　校	6回		
	教　員	18回		
	計41回			計　3,969人

青少年赤十字健康安全プログラム等実施状況

目的	児童・生徒が、自分やまわりの人の健康と安全に関する関心を高め、具体的な知識と技術を学ぶことにより、健康を維持、増進し、疾病や事故を予防、回避する行動がとれるようにするとともに、万一の事故に際しては適切な行動が取れるようにすること。
種別	① けがの予防と応急手当 ／ 救命手当短時間 小学生低学年（初級コース45分～ 90分） 【45分(1単位)×2】 小学生高学年（中級コース45分～135分） 【45分(1単位)×3】 中学生 （上級コース50分～200分） 【50分(1単位)×4】 ② 着衣泳 小学生低学年（初級コース45分～ 90分） 【45分(1単位)×2】 小学生高学年（中級コース45分～ 90分） 【45分(1単位)×2】 中学生 （上級コース50分～100分） 【50分(1単位)×2】 ③ 献血セミナー 小学校低～高学年、中学生
対象	小学生、中学生、高校生（救急法短期講習）、教職員（救急法短期講習）
方法	ア）資材貸出 イ）赤十字水上安全法指導員を派遣（水の事故） ※高校生・指導者については救急法講習として実施 ウ）献血セミナー（健康な身体づくり）＊講義のみ

● 対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別：中級コース	人数
1	高石市立東羽衣小学校	7月1日	着衣泳	88 人
2	堺市立鳳南小学校	7月2日	着衣泳	396 人
3	堺市立鳳南小学校	7月3日	着衣泳	1 人
4	岸和田市立中央小学校	7月5日	着衣泳	61 人
5	堺市立土師小学校	7月5日	着衣泳	75 人
6	堺市立若松台小学校	7月8日	着衣泳	69 人
7	堺市立宮園小学校	7月10日	着衣泳	30 人
8	堺市立上神谷小学校	7月12日	着衣泳	30 人
9	守口市立さくら小学校	7月16日	着衣泳	84 人
10	箕面市立萱野東小学校	7月17日	着衣泳	120 人
11	堺市立美木多小学校	7月18日	着衣泳	109 人
12	大阪市立森之宮小学校	7月18日	着衣泳	26 人
13	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	けがの予防と応急手当	40 人
14	門真市立上野口小学校	8月29日	着衣泳	51 人
15	堺市青少年赤十字のつどい	1月25日	献血セミナー	70 人
			小計	1,250 人

● 対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別：上級コース	人数
1	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	けがの予防と応急手当	5 人
2	大阪市立東陽中学校	11月9日	救命手当短時間	111 人
			小計	116 人

● 対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	大阪府立福泉高等学校	5月24日	救命手当短時間	100 人
2	青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合型トレーニング・センター	8月11日	応急手当短時間	42 人
3	大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会	12月1日	救急法基礎講習	17 人
4	履正社高等学校	1月28日	救命手当短時間	339 人
5	履正社高等学校	1月29日	救命手当短時間	215 人
6	履正社高等学校	1月30日	救命手当短時間	157 人
7	履正社高等学校	1月31日	救命手当短時間	118 人
			小計	988 人

● 対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	伯方高校	4月24日	救急法短期講習（応急）	50 人
2	阪南市立舞小学校	5月11日	救急法短期講習（救命）	36 人
3	大阪狭山市立東小学校	5月17日	救急法短期講習（救命）	49 人
4	大阪府立福泉高等学校	5月23日	救急法短期講習（救命）	29 人
5	泉南市立一丘小学校	6月2日	救急法短期講習（救命）	35 人
6	守口市立寺方南小学校	6月3日	救急法短期講習（救命）	21 人
7	堺市立若松台小学校	6月10日	救急法短期講習（救命）	22 人
8	泉南市青少年赤十字指導者協議会	6月12日	救急法短期講習（救命）	140 人
9	高石市立羽衣小学校	6月12日	救急法短期講習（救命）	20 人
10	守口市立八雲東小学校	6月14日	救急法短期講習（救命）	24 人
11	守口市立第一中学校	6月21日	救急法短期講習（救命）	30 人
12	高石市立取石小学校	6月26日	救急法短期講習（救命）	30 人
13	清明学院高等学校	7月5日	救急法短期講習（応急）	59 人
			小計	545 人

実施回数	37 回	合計	2,899 人

青少年赤十字介護体験学習プログラム実施状況

目的	児童・生徒が、介護の仕方を体験学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、高齢者や障がいを持つ人たちとの心のバリアを取り除き、できることから取り組む態度を身につけることによって、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。
種別	① 車椅子の操作と介助方法 ② ガイドヘルプ体験と介助方法 ③ 高齢者疑似体験
対象	小学生（４年～６年生）、中学生、高校生
方法	資材貸出（車いす、アイマスクセット、高齢者疑似体験セット）

● 対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	月	～	日	種別	人数
1	河内長野市立長野小学校	6月24日	～	6月28日	車イス	130 人
2	岸和田市立八木小学校	9月13日	～	9月17日	車イス	85 人
3	堺市立上野芝小学校	9月24日	～	9月25日	車イス	94 人
4	河内長野市立小山田小学校	9月26日	～	9月27日	車イス	62 人
5	堺市立榎小学校	10月10日	～	10月11日	車イス	134 人
6	大阪市立福小学校	10月15日	～	10月16日	車イス	32 人
7	阪南市立上荘小学校	10月16日	～	10月17日	車イス	64 人
8	堺市立白鷺小学校	10月18日	～	10月21日	車イス	52 人
9	四條畷市立くすのき小学校	10月24日	～	10月24日	車イス	71 人
10	阪南市立朝日小学校	10月28日	～	10月29日	車イス	45 人
11	守口市立庭窪小学校	10月31日	～	11月1日	車イス	56 人
12	岸和田市立八木北小学校	11月6日	～	11月7日	車イス	90 人
13	大阪市立真田山小学校	11月8日	～	11月8日	車イス	154 人
14	泉南市立東小学校	11月8日	～	11月12日	車イス	30 人
15	泉佐野市立第二小学校	11月13日	～	11月14日	車イス・ガイドヘルプ	124 人
16	田尻町立小学校	11月26日	～	11月28日	車イス	78 人
17	東大阪市立八戸の里小学校	11月27日	～	11月29日	車イス	58 人
18	守口市立さつき学園	12月5日	～	12月6日	車イス・ガイドヘルプ	71 人
19	岸和田市立大芝小学校	12月9日	～	12月11日	車イス	91 人
20	岸和田市立旭小学校	12月16日	～	12月17日	車イス	117 人
21	阪南市立尾崎小学校	12月17日	～	12月18日	車イス	52 人
22	泉南市立信達小学校	1月14日	～	1月16日	車イス	111 人
23	堺市立東浅香山小学校	1月17日	～	1月23日	車イス	110 人
24	阪南市立舞小学校	2月3日	～	2月6日	車イス	48 人
25	守口市立八雲小学校	2月7日	～	2月12日	車イス	60 人
					小計	2,019 人

● 対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	月	～	日	種別	人数
1	枚方市立枚方中学校	9月18日	～	9月20日	車イス・ガイドヘルプ・高齢者疑似体験	181 人
2	四條畷市立田原中学校	10月24日	～	10月25日	車イス・ガイドヘルプ	101 人
3	守口市立さつき学園	11月15日	～	11月18日	車イス	71 人
4	門真市立第七中学校	12月19日	～	12月20日	車イス	139 人
					小計	492 人

実施回数	29 回	合計	2,511 人

青少年赤十字国際理解・平和学習プログラム実施状況

目的	児童・生徒が、世界の出来事を知ることにより、自分の住む地域や学校生活をより深く見つめなおし、「地域の中で生かされる自分の発見」と、できることから取り組む態度を身に付け、思いやりや助け合いの心を育み、人にやさしく共に生きる社会を目指す。
種別	①国際理解学習　　④キャリア教育 ②平和学習　　⑤SDGｓと赤十字 ③国際人道法学習
対象	小学生、中学生、高校生
方法	ア）赤十字職員を派遣 イ）資材貸出（水がめ、地雷模型等）

● 対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	和泉市立和気小学校	6月15日	地雷模型貸し出し	105 人
2	守口市立さくら小学校	11月27日	国際理解・平和学習	84 人
3	大阪市立真田山小学校	12月17日	国際理解・平和学習	158 人
			小計	347 人

● 対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	高槻市立芝谷中学校	2月14日	国際理解・平和学習	217 人
2	枚方市立楠葉中学校	2月10日	国際理解・平和学習（SDGs）	164 人
			小計	381 人

● 対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	関西学院千里国際高等部	10月18日	国際理解・平和学習（SDGsと国際救援の繋がり）	40 人
2	関西学院千里国際高等部	10月18日	国際理解・平和学習（SDGsと国際救援の繋がり）	40 人
3	関西学院千里国際高等部	1月16日	国際理解学習（YABC）	18 人
			小計	98 人

● 対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会、役員・専門委員研修会	2月14日	国際理解学習（YABC）	10 人
			小計	10 人

実施回数	9 回	合計	836 人

青少年赤十字防災プログラム実施状況

1 防災プログラム

目的	児童・生徒が、災害による被害を軽減するための基本的な防災知識・技術を学習することにより、自分の住む地域や学校生活を深く見つめなおし、命の大切さや命を守る行動をする気持ちを育み、子どもから大人、大人から地域へ防災の輪が広がっていくことを目指す。
種別	①災害の心構え（防災講演） ②炊き出し体験 ③身近なものを使った応急手当
対象	小学生、中学生、高校生
方法	赤十字防災ボランティアを派遣

2 防災教育プログラム「まもるいのち　ひろめるぼうさい」

目的	児童・生徒が、自然災害に対する正しい知識をもち、自ら考え、判断し、身を守る行動を取れるよう主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることで他者への思いやり、優しさやいのちの大切さを学ぶ。
対象	小学生、中学生、高校生
方法	防災講義（防災教材の使い方講習など）、防災教材貸出（DVDのみ、CD-Rのみの貸出も可）

● 対象：小学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	大阪市立北粉浜小学校	5月18日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」ワーク	209 人
2	大阪市立海老江西小学校	5月25日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」1冊貸し出し	21 人
3	大阪市立海老江西小学校	5月25日	災害の心構え・身近なものを使った応急手当	28 人
4	大阪市立川北小学校	6月22日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」12冊貸し出し	386 人
5	大阪市立清水小学校	8月31日	身近なものを使った応急手当	52 人
6	大阪市立東粉浜小学校	8月31日	身近なものを使った応急手当	44 人
7	大阪市立梅南津守小学校	1月18日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」ワーク	200 人
8	大阪市立都島小学校	1月18日	身近なものを使った応急手当	55 人
9	大阪市立中野小学校	1月18日	身近なものを使った応急手当	79 人
10	泉南市立信達小学校	1月22日	災害の心構え・身近なものを使った応急手当	31 人
11	大阪市立天王寺小学校	1月25日	身近なものを使った応急手当	322 人
12	大阪市立波除小学校	1月9日	炊き出し体験	109 人
13	大阪市立波除小学校	1月25日	炊き出し体験	116 人
			小計	1,652 人

● 対象：中学生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	和泉市青少年赤十字中学生メンバー・トレーニング・センター	8月20日	身近なものを使った応急手当	28 人
2	大阪市立大池中学校	10月26日	身近なものを使った応急手当	92 人
3	枚方市立枚方中学校	1月25日	身近なものを使った応急手当	175 人
4	大阪狭山市立南中学校	12月4日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」12冊貸し出し	481 人
			小計	776 人

● 対象：高校生

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	大阪市立扇町総合高等学校	5月28日	身近なものを使った応急手当	60 人
2	大阪府立貝塚高等学校	7月22日	炊き出し体験・身近なものを使った応急手当	30 人
3	アナン学園高等学校	10月5日	身近なものを使った応急手当	30 人
4	大阪府立貝塚高等学校	10月30日	身近なものを使った応急手当・ 「まもるいのち　ひろめるぼうさい」ワーク	280 人
5	英真学園高等学校	11月13日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」ワーク	300 人
6	アナン学園高等学校	2月12日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」ワーク	158 人
			小計	858 人

● 対象：教職員

No	依頼先学校名等・場所	日付	種別	人数
1	東大阪支援学校	4月13日	防災講義・グループワーク	18 人
2	守口市立錦小学校	6月16日	防災講義	50 人
3	北河内校長会研修	6月17日	防災講義・グループワーク	14 人
4	高槻市立柱本小学校	7月23日	防災講義・グループワーク	20 人
5	高槻市立安岡寺小学校	7月25日	防災講義・グループワーク	21 人
6	岸和田市小中学校夏季研修会	7月29日	防災講義・グループワーク	42 人
7	富田林市教委主催夏季教職員研修	8月2日	防災講義・グループワーク	49 人
8	富田林市幼・小教員研修	9月5日	「きけん　はっけん！」教材指導	3 人
9	島本町立島本第三小学校	9月18日	防災講義・グループワーク	15 人
10	大阪府立保健主事研修会	10月8日	防災講義・グループワーク	120 人
11	島本町立島本第三小学校	10月26日	防災講義・グループワーク	50 人
12	泉南郡小中学校教頭研修会	10月29日	防災講義・グループワーク	14 人
13	高槻市学校安全責任者会議	11月18日	防災講義・グループワーク	59 人
14	大阪市立梅南津守小学校	1月9日	「まもるいのち　ひろめるぼうさい」・ 「きけん　はっけん！」教材指導	18 人
15	茨木支援学校	2月4日	防災講義・グループワーク・ 身近なものを使った応急手当	30 人
16	大阪府立学校保健研究会	2月4日	防災講義・グループワーク	50 人
17	松原市立天美小学校	2月6日	防災講義・グループワーク	70 人
18	四條畷市学校保健研究発表会	2月20日	防災講義・グループワーク	40 人
			小計	683 人

実施回数	41 回	合計	3,969 人

青少年赤十字国際交流事業（受入）
（マレーシア赤新月社）

１．目　　的　・海外赤十字メンバーの高校生を受け入れることにより、国際理解・親善を進める。
・海外メンバーに学校を訪問してもらい、日本の学校や日本文化について知ってもらう。

２．日　　時　令和元年９月１３日（金）　（午前）　９時１５分～１２時４０分
（午後）１４時００分～１６時００分

３．場　　所　（午前）しあわせの丘こども園
堺市西区上野芝向ヶ丘町４―２４―２１
（午後）関西大学高等部
高槻市白梅町７－１

４．参 加 者　マレーシア赤新月メンバー　Ms.Sia Yen Rou, Ms.Kueh Hui Woon　２名
（午前）しあわせの丘こども園４・５歳児　２９名
（午後）関西大学高等部JRCメンバー　代表２名

５．スタッフ　日本赤十字社大阪府支部　青少年・ボランティア課　係長　加島　康平
日本赤十字社大阪府支部　青少年・ボランティア課　主事　久保　ナミ
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　１名

６．内　　容

（１）しあわせの丘こども園訪問

①　日程

時　　間	内　　容
９：３０	園内見学
９：５０	４・５歳児と教育保育活動に参加
１０：２０	じゃんけん列車で一緒に遊ぶ
１０：５０	折り鶴製作
１１：２０	３歳児組で、お月見製作を一緒に体験して、写真撮影
１１：４０	４・５歳児と製作活動体験　再開
１１：５０	給食
１２：２０	製作物プレゼント　園長から日本のお土産プレゼント
１２：３０	写真撮影 交換学生より、マレーシアの歌を披露
１２：３５	園児より日本の歌を披露
１２：４０	お別れ

② 写真

自己紹介をするマレーシアのメンバー

園内見学の様子

４・５歳児と教育保育活動に参加

習った英語の単語で、折り紙を教えてあげる子どもたち

じゃんけん列車で一緒に遊ぶ

３歳児とお月見製作後記念写真

一緒に給食を食べました

歌の交換

プレゼント交換

最後の記念写真

「また来てね」「さようなら」と名残を惜しむ子どもたち

子どもたちは、「とても楽しかった」「外国から、お姉ちゃんが来てくれたよ」「英語もっと勉強しておかないと！今度違う国の人が来てくれるかもしれへんから」と、お迎えに来たお母さんに話して自慢していた。

（２）関西大学高等部訪問活動

①　受付

午後から、関西大学高等部「葦葉祭」に参加し、交流を図った。

高等部の２名の生徒が案内役として交流を手伝った。英語を通して、コミュニケーションを図ることができ、交流生もリラックスして楽しむことができた。

受付のようす

記念写真

自己紹介（すぐに打ち解け合った）

②　教科紹介コーナーの見学

生徒の学習成果や作品の展示を見学した。顕微鏡をのぞいたり、作品に触れたりして楽しんだ。

部員の説明を受けながら交流

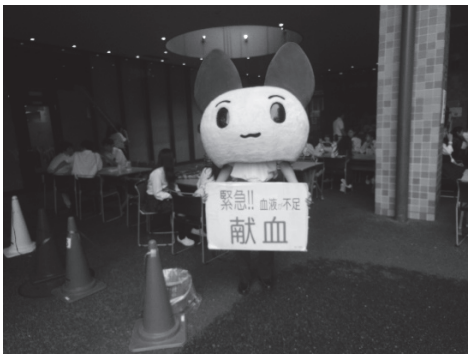
③　クラブ活動紹介コーナー

フィールドワーク部を見学した。自然・歴史・塵・鉄道の４つの班に分かれて展示スペースを設けていた。歴史班では新撰組の衣装を身につけ、楽しく交流した。また、鉄道模型や蝶や虫の標本展示も興味をひくものであった。

新撰組の衣装を身につけ、楽しく交流

④　生徒会企画コーナー

生徒会企画として、献血車に来ていただいていた。「血液を必要とされている人たちに、私たちができること」を考え、行動する良い機会となっていた。



献血車の中を見学

⑤　取材を終えて

高校生はすぐに打ち解け、仲良くなることができる。日本の高校生の学校生活のようすを体験できたと思う。また、日本の高校生にとっても、海外の高校生の活動や海外赤十字活動に目を向ける良い機会になった。交流をきっかけとして、赤十字活動が広がる機会になればと思った。

令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者コンベンション

１．期　　日　令和２年１月２６日（日）　１３：００～１５：５５

２．会　　場　大阪赤十字会館　３階　３０１会議室
大阪市中央区大手前２－１－７　☎０６－６９４３－０７０８

３．主　　催　日本赤十字社大阪府支部
大阪府青少年赤十字指導者協議会

４．内　　容

【開　会】　１３：００～１３：１０

あいさつ

大阪府青少年赤十字指導者協議会　　会　　長　　天野　　久
日本赤十字社大阪府支部　　事務局長　　大江　桂子

天野会長

青少年赤十字活動は、子どもたちを育てる大切なもの。
赤十字の協力者を育成することが大切である。
充実した会にしましょう。

大江事務局長

見識を広めてもらいたい。令和４年は青少年赤十字１００周年。
SDGs をテーマに現場レベルで取り組みを進めてもらいたい。

【表彰式】　１３：１０～１３：３０

青少年赤十字活動に尽力された指導者、加盟校の表彰が行われた。

【研究発表】　１３：３０

青少年赤十字メンバーによるSDGs研究発表～ミライにつなげ！JRC×SDGs～

※コメンテーター　　大阪府政策企画部企画室　副理事　　西島　　亨 氏
大阪信用金庫　執行役員CSR推進部長　　梅田　充紀 氏
JICA関西　市民参加協力課長　　田中　宏幸 氏

（小学生の部）

①阪南市立舞小学校　「アマモから繋がる大阪湾再生」

アマモの取り組みについて発表する舞小学校の６年生

１．２年生　チリメンモンスターの体験　３年生　海藻の種類についての学習
４年生　　海の生き物の観察　　５年生　環境問題の調べ学習　海洋ゴミについて
６年生　　５年生でまいたアマモの種を育て、アマモの育つ大阪湾にするプロジェクト

※コメンテーターの方々から
○内容がとても濃く、様々な活動がある。
○いろいろな色の海藻を使って、楽しみながら環境問題に触れることができている。
○漁師だけがアマモに気をとめているが、学校あげて、みんなで取り組むことがすばらしい。
○これらの活動をどんどんつないでいってほしい。
○第2のさかなくんが出てくれるとうれしい。

（中学生の部）
②関西学院千里国際中等部　「Global Issues Network」への参加

持続可能な世界のためにフィリピン・マニラでプレゼンをし、解決策を発表したものを報告
教育の貧困、女の子の教育、海の汚染について報告した。
プロの方のワークショップを受け様々な考え方やスキルを学ぶことができた。
商品開発についてのワークショップでは、その人のニーズの把握や、その地域は何が必要かを考え、会社作りを考えた。そして社会貢献できるかの視点の必要性も教わった。この発表を通して、現地の生徒とも仲良くなりつながりを増やすことができた。他の国の文化を学ぶことの大切さも実感した。

※コメンテーターの方々から
○すばらしい発表だった。世界の人たちとネットワークを作り、社会の課題を解決することが必要。
○いろいろな考え方を、多角的に学ぶことの大切さを実感した。ベクトルがいろいろな方向に向いていることが興味深かった。
○幅の広い貢献を考えていることがすばらしい。
○貧困と教育については、とても興味深いテーマだった。将来の人のことを考えることがSDGsの視点である。

（高校生の部）
③建国高等学校　「SDGs主目標実現に掛かる建国高等学校生徒会の取り組みに関して」

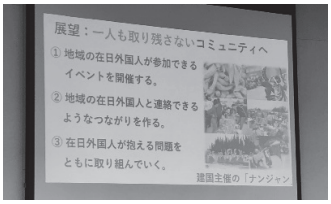
活動内容①「SDGsに関する認知度アンケート」
活動内容②「ボトルキャップの回収運動」
活動内容③「アルミ空き缶の回収活動」
活動内容④「災害時避難場所の指定に向けた連携」
活動内容⑤「災害時の外国人向け避難所としての活用・広報」
活動内容⑥「学校と地域の密着」

建国高等学校の生徒は、日本人、在日韓国人、韓国からの留学生がそれぞれ30％ぐらいずつを占めている。そこで、生徒会としては、SDGsの主目標達成のために、全生徒が身近で可能な行動をとれるように考えた。また、災害時には、外国人を支援することも容易であることから、尾の活動に取り組んだ。

※コメンテーターの方々から
〇幅広い取り組みをされていることや、できることを着実にされていてすばらしい。
〇発展途上国はどんな問題をかかえているかを考え、つながっていっている。
〇現状チェックをしてから取り組み、ＰＤＣＡのサイクルで動くことができている。
〇学校と地域が一体となった取り組みである。
〇地産地消を行い地元の活性化を図った取り組みである。

④建国高等学校　「外国人向け防災ガイドマップの作成」

建国高校は、多言語を話せる生徒が多い。日本語はもちろん韓国語、中国語、英語を話せる。また、外国人との交流もよく行っている。学校のある住吉区は、台風や豪雨によって大和川の氾濫の起こる地域でもある。また、多民族が暮らす住吉区の課題として、「日本語が話せないために必要な情報が入手しにくい。」「災害を経験していないので避難や避難生活についての知識が少ない」「民族の文化を配慮できない」このような課題を踏まえて、今回の取り組みをしようと思った。



・一人も取り残さないコミュニティづくりを・地域の在日外国人が参加できるイベントを開催
・地域の在日外国人と連絡できるようなつながり
・在日外国人が抱える問題をともに取り組む。このために建国主催「ナンジャン」というイベントを行ってきている。

※コメンテーターの方々から
〇建国高等学校の特色を生かした取り組みになっている。
〇地域、行政との連携も大切である。
〇災害弱者の立場に立ったすばらしい取り組みである。
〇“だれ一人取り残さない”この視点で今後も取り組みを進めてほしい。
〇大阪にいる外国人は24万人、170の国や地域にも及ぶ。このようなマイノリティーの方々に支援を

【総括】　１５：１５～１５：５５

発表の後、会場からの感想やSDGsの取り組みの交流があった。また、コメンテーターの方々から、全体を通しての感想やそれぞれの立場から、SDGsの取り組みについて話された。

西島氏は、SDGsの目標は、国連で決まったもの。
理念は、「誰一人取り残さない。持続可能。企業へも期待していること。一人一人が達成しようとしているか大切であり、統合的にやっていきましょう」と参加者に呼びかけがあった。2025年開催予定されている万国博覧会に大阪府ではSDGsの取り組みとつなぎ、「いのち輝く未来社会のデザイン」を企画されている。梅田氏は、利益の追求だけにとどまらず、地域とのつながりを深くし、地域社会の課題解決を考えている。「金融教室」や「ECOアクション」の取り組み。田中氏からは、国際協力機構として、途上国の支援を行う組織であり、日々行っている活動がSDGsの取り組みがあり、継続していきたい。「関西SDGsプラットフォーム」を設立し、取り組んでいるとの報告があった。

【閉会】　１５：５５

発表してくださったお礼のSDGsのバッジは、平成30年９月の台風で倒れた高槻のヒノキを使って作られているとの説明があり、子どもたちに手渡された。

令和元年度 大阪府青少年赤十字
メンバー･リーダーシップ総合型トレーニング･センター

１．目　　的　青少年赤十字小学生・中学生・高校生メンバーを養成するとともに、青少年赤十字活動の実践・普及を図る。

２．日　　時　令和元年８月１０日（土）～８月１２日（月・祝）

３．会　　場　大阪府立少年自然の家
貝塚市木積字秋山長尾３３５０番地　☎０７２４－７８－８３３１

４．主　　催　大阪府青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社大阪府支部

５．指 導 者

大阪府青少年赤十字指導者	３９名
赤十字奉仕団指導講師	２名
救急法指導員	５名
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	１名
大阪府青年赤十字奉仕団	６名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	４名
日本赤十字社大阪府支部職員	４名

６．参加人数　小学生　４０名　　中学生　５名　　高校生　４５名

７．学習内容

（１）基本プログラム
１．赤十字と青少年赤十字の知識
２．小、中、高校生対象の応急手当の知識と実習
３．野外活動体験から学ぶリーダーの知識
４．ボランティア活動の実習

令和元年度　青少年赤十字総合型トレーニングセンター集合写真

（2）青少年赤十字大阪府支部トレセンにおける特色ある活動

○ホームルーム

トレセンでの子どもたちの活動の基盤となるグループ。ホームルームティーチャーの指導によりメンバー同士が協力し合いトレセンでの諸活動をこなす。また、互いに親睦を図りトレセン生活を充実させる。

初日・・・自己紹介。トレセン生活で大切なことの確認。日直を決める。初日の反省と明日の目標を決める。

２日目・・協力してプログラムをこなす。親睦を図る。情報交換。反省と明日の目標を決める。

最終日・・協力してワークショップをして発表する。

※本年度は、小学生６ホーム、中学生１ホーム、高校生７ホーム

○ホームルーム連絡会

今日の日直と明日の日直がそれぞれ集まり、今日の反省や明日の目標をまとめる。

○朝の集い

旗揚げ、ラジオ体操、昨日の反省、今日の目標、レクリエーション、諸連絡を運営ボランタリーサービス担当メンバーのリードでおこなう。

○先見

朝の集いの後、本日の活動を確認し各個人の目標を考える活動。（本来、各個人でおこなうべき活動であるが、本トレセンでは、ホームルームごとにおこなわれた）

○ボランタリーサービス

トレセン全日程を通じておこなわれる活動。みんなのニーズに気づき、考え、行動していく活動。本トレセンでは、生活、食事、レクリエーション、広報、運営について指導者が相談を受け、子どもたちが自主的に活動するように指導されていた。

８．学習内容

（1）１日目　８月１０日の主な活動

①開講式・オリエンテーション　１０：００～１１：００

今年は、体育館で開講式がおこなわれた。「空は世界へ」を斉唱し、「青少年赤十字のちかい」をみんなで言った後、日本赤十字社大阪府支部事務局大森茂次長と大阪府青少年赤十字指導者協議会上田晋郎副会長のご挨拶があった。大森氏は、思いやりを持って人と協力するリーダーを志すこと、上田氏は、リーダーシップとは何かをこの３日間で見つけること等それぞれこのトレセンでの心構えを話された。指導スタッフの紹介の後神野豊明センター長から、トレセン成功の秘訣は5分前行動であり、「気づき、考え、実行する」という態度目標を身に付けることであるという話があった。

大森茂事務局次長

上田晋郎副会長

神野豊明センター長

②青少年赤十字とボランティアについて

小・中学生　１３：００～１４：１５　オリエンテーションホール

トレセンの目的を小・中学生に理解させ、赤十字、青少年赤十字の基礎的な内容を知るためにおこなわれた。和泉市立郷荘中学校横田実教諭の指導でホームルームごとに館内のいろいろな場所に貼られた問題を解きメモしていくことから始まった。内容としては、赤十字、青少年赤十字の成り立ち。青少年赤十字の実践目標、行動目標。赤十字の７原則などであった。その後答え合わせをし、赤十字、青少年赤十字における基礎知識の説明があった。ボランタリーサービスについては、小さなＶＳ大きなＶＳの説明があった。

高校生　１２：４５～１３：３０　　１４：３０～１５：１５　いろりの館

高校生ホームルームを二つに分け、大阪府立東住吉高等学校石秀伸教諭、高槻高等学校田中敏博教諭が担当した。赤十字の７原則を中心に赤十字が大切にしている基礎的な内容の説明があった。また、ボランティアについて考えさせ、ボランタリーサービスノートを作成した。

③リーダーについて

小・中学生　１５：１５～１６：１５　オリエンテーションホール

赤十字奉仕団指導講師永田惠先生の指導により「理想のリーダー」という題で短歌づくりがおこなわれた。理想のリーダー、嫌なリーダーを個人で考えさせ、ホームルームでまとめた。それから短歌づくりをし、ホームルームごとに「なぜこの言葉を選んだか」という理由と共に発表した。短歌づくりを通して一人ひとりがリーダーについて具体的に考えるようになっていた。まとめでは、いろいろなタイプのリーダーの存在に気づかせていた。

高校生　１３：３０～１４：３０　いろりの館

清明学院高等学校横山史典教諭、三浦泰晏教諭の指導によりおこなわれた。「サザンクロス探検隊」という各自が情報を出し合い問題を解決していくグループワークゲームを通して、それぞれのコミュニケーションを高めるには、リーダーとしてどんな関わり方が大切かを考えさせる内容であった。

④国際人道法について

高校生　１４：３０～１５：１５　いろりの館

大阪府立芦間高等学校清水保講師、大阪府立りんくう翔南高等学校岸本吉弘教諭の指導により人間の尊厳から国際人道法について熱心に語られていた。特に人道達成に対する４つの敵「利己心、無関心、認識不足、想像力の欠如」に対する話について高校生たちは、熱心に聞き入っていた。

※高校生の「青少年赤十字とボランティアについて」と「国際人道法について」のプログラムは、２グループに分かれて指導された。

赤十字・青少年赤十字についての学習

⑤小中高交流プログラム　１５：１５～１６：００

小、中、高全校種の子ども達が体育館に集まり、守口市立大久保中学交竹田誠司教諭のリードでお互いの交流を深めるゲームがおこなわれた。

体育館入り口でトランプを１枚ずつわたされ、同じ数字や模様のペアづくりから始まった。２人で手を握って同じ数だけ握れたら自己紹介をし合うゲーム。トランプを使ってチームをつくり、ブランケットをトランポリンのようにして人形を高く何回上げられるかを競うゲームなどをおこなった。最後に言葉をつかわずジェスチャーだけでトランプの絵柄ごとに数字の順に並ぶゲームをした。そのまま円をつくって両手をつなぎ、右手を順に強くにぎっていき１周回るタイムを計った。２回おこなったが、２回目のタイムが大幅に縮小できたので「おーっ」と感激の声が上がった。

３校種の子どもたちの心の距離が近づき、親睦を図ることができていた。

ゲームを楽しむ小、中、高校生たち

⑥グループワーク　１９：００～２０：３０

小学校は、和泉市立南池田小学校上田晋郎校長、中学校は、守口市立大久保中学校竹田誠司教諭、高校は、高槻高等学校田中敏博教諭、道端良子教諭の指導により校種別におこなわれた。

小学生は、ペーパータワー作りと「歯医者さんへ行こう」（情報コミュニケーションゲーム）。中学生は、ダイレクトロード「海辺の町」（災害協力シュミレーションゲーム）。高校生は、７ホームルームを３グループに分けヘリュームフープとスーパーボールころがし、ペーパータワー作り、「超大人気とんこつラーメン屋」（情報コミュニケーションゲーム）をおこなった。

どのゲームも楽しみながらグループの協力性、コミュニケーション力を高めるゲームであった。

小学生グループワーク

中学生グループワーク

高校生グループワーク

（２）２日目　８月１１日の主な活動

①フィールドワーク　８：００～１０：３０

施設内を巡る遊歩道の一部を使用し、ホームルームごとに、野外でおこなわれた。今年は、14ＨＲを７ＨＲずつ２グループに分けた。後半出発グループは、いろりの館でクイズゲームを楽しみ、前半グループが帰ってきたら交代をした。

各関所

１．人間知恵の輪

グループが輪になって向き合い右左両手を違う人と手をつなぐ。次に握った手を放さないで一重の円になるように協力した。

２．ワードチェーン

各自１文字のひらがなカードをつくる。（14枚）次にそのカードを使って意味のある単語や文を３分以内で作り、点数を獲得する。長い単語や文の方が、点数が高い。

３．ヒューマンチェーン

グループで１列になり、目隠しをする。片手は、前の人の肩に、片手はロープをつかむ。リーダーは、「障害物あり」などの指示を出しながら障害物や起伏のある土地を進んで行く。

４．学習の国

クイズ形式で、赤十字の７原則等を答える。

５．コンセンサスゲーム

「砂漠からの脱出」砂漠で生き残るために必要なものを５つ、グループで相談して選ぶ。理由等も出し合い、グループの協力性等を見る。

１．人間知恵の輪

２．ワードチェーン

３．ヒューマンチェーン

②健康安全プログラム　小学生　１２：４５～１５：１５

中学生　１２：１５～１６：００

赤十字教育の一環として、「応急手当」を中心とした「健康安全プログラム中級」の講習会がおこなわれた。傷病者を発見した時の注意から始まり、止血の仕方、三角巾の扱い方などを、丁寧に具体的に指導された。

救急法短期講習会　　高校生　１２：１５～１６：００

日本赤十字社短期講習会が高校生を対象としておこなわれた。応急手当の仕方の他、心肺蘇生法、AEDの扱い方等一般の救急法の講習会がおこなわれた。

健康安全プログラム

救急法短期講習会

③夜の集い（キャンプファイアー）　１９：００～２０：３０

レクリエーションＶＳが中心となり、火の儀式から始まった。誓いの言葉や点火式などの厳かな雰囲気から、楽しいゲームへと続いていった。「線路は続くよ」、「言うこと一緒、やること一緒」、「花野果さん」などのゲームの後、お茶タイムなどをとり、熱中症対策もおこなわれた。その後「猛獣狩り」、「ペアバスケット」、「木とリス」、「バナナダンス」と、今年も大いに盛り上がった。

最後に、３人の先生方によるファイアーダンスがあり、心に残るキャンプファイアーであった。

盛り上がるキャンプファイアー

（３）３日目　８月１２日最終日の主な行事

①ボランタリー・サービスのふりかえり　８：３０～９：００

今年初めて入れたプログラムで、それぞれ活動したボランタリー・サービスごとに集まり、ふりかえりをおこなった。反省や良かったことの他、新たな自分の発見など今後の青少年赤十字活動への意欲へとつながった。

②ワークショップ　９：００～１１：４５

このトレセンで学んだことをふりかえり、学校や家庭で「青少年赤十字活動」をどのように広めていくのかを話し合いまとめていた。小・中学生は、ホームルームごと、高校生は、学校別でおこなった。それぞれ午後のワークショップ発表会へ向けて、劇や新聞、短歌など工夫を凝らしてまとめた。

③ワークショップ発表　１２：３０～１４：３０

小・中学生は、ＨＲごとにオリエンテーションホールで、高校生は、学校ごとに大研修室でおこなった。

劇、短歌、ポスターなどでの発表であった。内容は、トレセンで学んだ「リーダーシップ」、「健康安全プログラムの内容」、「赤十字の７原則」、「実践目標・行動目標」などであった。

最後に神野センター長が、「学校へ帰って身近な人から伝えていこう。人道の心を大切に」とまめられた。

ワークショップ発表会の様子

高校の発表では、トレセンでの学びから、各校での目標とする実践例を報告した。一校の発表後、指名した一校が、感想を述べる方法で進行した。内容で一番多かったのは救急法の普及で、中には支部から講師を招きたいという学校もあった。他には、総合的に考えて、リーダー育成のため生徒会などを活性化するというのもあり、掲示板製作など、自主活動の活性化、始業式にてトレセン報告をするという学校もあった。

また、テレビ電話を使っての国際交流、エコキャップ集め、月１募金などもあった。発表方法の多くはOHPを使用していた。ユニークなものは寸劇、さらにはコントをするなどの工夫が見られた。最後に、居合わせた全教員が１分でトレセンの講評を述べて締めくくった。

高校生のワークショップの発表の様子

④閉講式　１４：３０～１５：００

「空は世界へ」の歌から始まり、「健康安全プログラム修了証」、「JRCリーダー証」が、小中高各代表に授与された。

次に、大阪府支部青少年・ボランティア課の森正尚課長より「青少年赤十字行動目標である、「気づき、考え、実行する」ということを常に心にもち日々の生活をおくってください」と話され、受講生全員でお世話になった先生方にお礼をするように指導された。

また､大阪府青少年赤十字指導者協議会上田晋郎副会長が｢リーダーには決まったものはない。自分の個性に会ったリーダー像を自分で育てることが大切である」と締めくくられた。

閉講式の様子

青少年赤十字健康安全プログラム（水の事故）

１．目　　的　・自分の命は自分で守る。
・擬似体験をすることで、水に落ちてもパニックにならないようにする。

２．日　　時　令和元年７月１日（月）　９：４０～１２：２５

３．場　　所　高石市立東羽衣小学校　プール
高石市東羽衣２丁目２１－３２　☎０７２－２６３－７５８８

４．対　　象　６年生　１組２７名　２組２５名　３組２４名　合計７６名

５．講　　師　赤十字水上安全法指導員　寺本　一子
木矢　智子

６．スタッフ　６年生担任他　６名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　１名

７．内　　容

１校時目１組、２校時目２組、３校時目３組で実施する。

（１）授業の目的を確認する。

（２）バディを組む。

（３）服を着て靴を履き、水の中に落ちる体験をする。

① 落ちた時に頭を打たないようにプールサイドの下段に踵を出し、水を背に向け座って目を閉じる。

② バディに押してもらい目を開けてから、背から水の中に落ちる。その際、大きな声を出す。大きな声を出す理由は、落ちたことを近くの人に知らせるためと、声を出すことで自然に空気を吸うためである。

③ 水中に落ちた後は、手足を動かさずに大の字になりしばらく浮く。

④ 泳いでプールサイドまで戻り、プールサイドに足をかけて転がりながら上がる。

プールサイドに座り水の中に落ちる体験

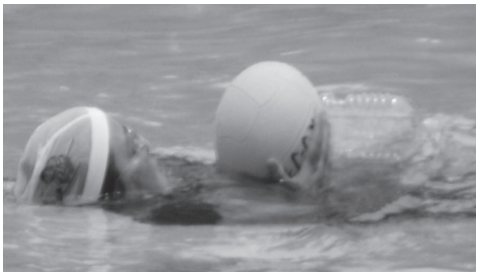
（４）浮く練習をする。

① ペットボトルを服の中に入れ、仰向けで浮く。

② ボールを手で下から支えて胸の前で持ち浮く。腕で抱え込むとボールが転がりやすく浮くことが難しくなる。

③ ビート板を持ち、浮く。

④ 色々な用具を持って、全員で30秒ほど浮く練習をする。



ボールを持ち浮く方法

（５）着衣で泳いだり、歩いたりする練習をする。

① 着衣で泳ぐ時は、疲れるので手足をゆっくり動かす。

② 仰向けで浮き、手と足を同時に動かすイカ泳ぎという泳法があることを教わる。

（６）溺れている人を助ける方法を学ぶ。

ペットボトルを投げる。ペットボトルは蓋をせず、水を少し入れる。

・水を入れることで、風に流されることなく投げやすい。

・蓋がなくても、ペットボトルの口を下にして立てると、水圧で空気は抜けない。

（７）授業で教えてもらったことを復習する。

６～７人で手をつなぎ、プールサイドの下段に水を背にして立ち、目を閉じて並び、合図で一緒に水に落ちる。パニックにならずに実践できたか確認する。

（８）授業のまとめをする。

① 水に落ちる時に、大きな声を出し、近くの人に知らせることができたか。

② すぐに泳がず、しばらく浮けたか。浮いていることができれば助けてもらえる可能性が上がる。実際にはプールの様にきれいな水や流れのないところはない。泳ぐと体力を消耗してしまう。

③ プールサイドに上がる時に、足をかけて転がりながら上がれたか。

実際に岸に上がる時は、岩や石があったり体が疲れていたりしてなかなか上がることは難しい。

「今後水の事故にあっても、今日体験したことを思い出し、自分の命は自分で守ってください」と指導員から話があった。

溺れている人を助けるためペットボトルを投げる

手をつなぎ水に落ちる体験

泳がずに浮く練習

８．授 業 後

初めて着衣水泳を体験した子どもたちは「水に落ちる時は怖かった」「靴や服がとても重かった」「靴を履いていると足が浮いてきた」などと感じたようだ。担任の先生方も子どもたちと一緒に学び、大切な体験ができたと指導員の方々に感謝していた。

「万が一の場合もパニックにならず浮くことができれば、命は守れる。今日の擬似体験を自分の命は自分で守る貴重な体験としてほしい」と、まとめられた。

岸に上がる方法

青少年赤十字介護体験プログラム（車いす体験）

１．目　　的　車いすに乗る体験と押す体験の両方を体験することにより、安全な車いすの乗り方押し方を知るとともに、互いを思いやる態度を身に付ける。

２．日　　時　令和元年１０月１５日（火）　１３：５０～１５：３０（移動・休憩時間含む）

３．実 施 校　大阪市立福小学校
大阪市西淀川区福町２－５－２３　☎０６－６４７３－１４７１

４．参 加 者　大阪市立福小学校　　３年生　　３２名

５．指 導 者　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団理事
並びに　大阪市立福小学校特別支援教育サポーター　　中村　初代
大阪市立福小学校３年生担任　　藤永　　大

授業支援　大阪市立福小学校長　　前木場　篤
大阪市立福小学校特別支援学級担任　　稲木　　收

６．スタッフ　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　　１名

７．内　　容

（１）車いす体験（場所：講堂及び校庭、廊下）

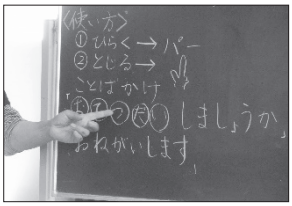
福小学校特別支援教育サポーター担当で青少年赤十字賛助奉仕団の中村初代理事指導のもと、車いす体験の授業がおこなわれた。なお、体験授業では、前木場校長と特別支援学級担任　稲木教諭が、示範支援や児童看護支援をおこなった。

①　３年生担任　藤永教諭による、中村理事の紹介と『車いすハンドブック』を使っての車いすの扱いや授業の流れを確認する。

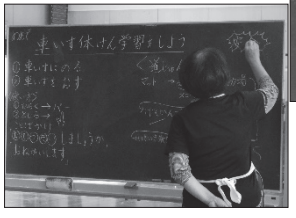
ハンドブックを使った導入

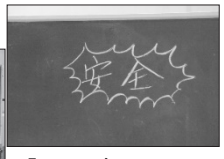
②　車いすの扱いと留意点について、話し合い、確認する。

車いすを広げるとき、たたむときの手の形をやってみる。



声かけは
「お手伝いしましょうか」

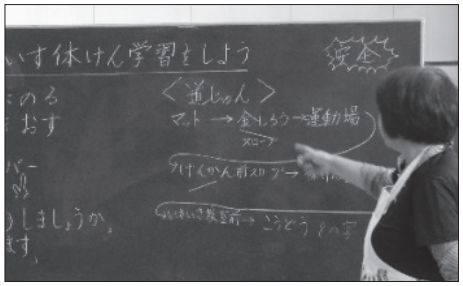




「いちばん
大切なことは、
安全です。」

③　体験コースの確認をおこない、車いすの乗り方、押し方の示範により、具体的なイメージをもつ。

フットレストを下げて、足を乗せる



体験コースのイメージ化

車いすの真後ろに立ち、ゆっくり押す

段差と悪路のコース↑→

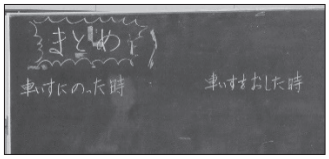
キャスター（前輪）を上げるときは、
利用者に声をかけ、
・アームレストにつかまる
・背もたれに寄りかかる
などの準備を促す

前後左右に注意して
一緒に歩くという気持ちで
押す

カラーコーンのジグザグコースを進む

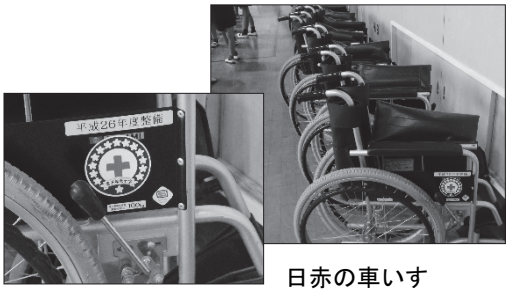
ゴールで足を下ろし、
フットレストを上げる

体験前に、
再度、手の形を確認する



車いすの体験後、
感想や考えを書くことを
伝えておく

④　利用者と介助者双方の車いす体験をおこなって、車いすを使うときの、利用者への配慮の仕方や安全な車いすの扱い方を身に付ける。



日赤の車いす

手をパーの形にして
シートを押さえて
十分に広げる

２人組で
声をかけ合って
いよいよ、出発

←段差！

↓悪路！

乗り手へ
声をかけながら
進む

講堂を出て、校庭へ向かう

スロープは
後ろ向きに
慎重に

運動場の土の上
講堂と違ってガタガタ

車いすを使う友だちも、
先生と一緒にコースを
進む

校舎内の
長い廊下を進む

講堂へ戻り、
乗り手と押し手を
交代する

交代して坂道へ
後ろ向きはこわい

降りる前に
フットレストを
上げる

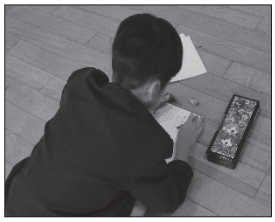
足を優しく持ち上げて

シートの真ん中を持ち上げて
車いすをたたむ

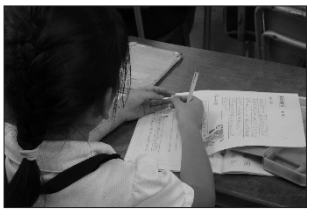
（２）話し合い活動（場所：講堂及び教室）

藤永教諭により、車いす体験について話し合い活動が行われた。

①　自分の感想や考えを『車いすハンドブック』の記入欄に書き、体験から学んだことをまとめる。

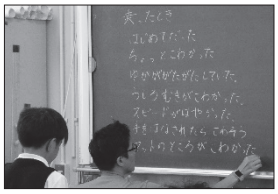


体験後、その場ですぐに、感想などを書き留める



教室へ戻って、体験を思い返しながら
感想や考えをまとめる

② 車いす体験の感想や考え・意見を交換する。



乗ったとき・押したときに感じたことや
考えたことなどを発表して、共有する

※ 子どもたちの感想や考え・意見

＜乗ったとき＞

- ちょっと、こわかった。
- ゆかが、がたがたしていた。
- うしろむきが、こわかった。
- スピードが早かった。
- 手をはなされたら、こわそう。
- マットのところが、こわかった。
- さか道が、きんちょうした。
- おす人がきちんとしてくれたから、安全だった。
- しんどい人が助かる。

＜おしたとき＞

- 力がいる。
- 命にかかわる。
- 平らなところは、力がいらない。
- しんちょうに、しんちょうに。
- 手をはなさないように。

この度の車いす体験によって、児童は、車いすに乗っているときのこわさを体感した。それにより、押すときの配慮の大切さに気づき、安全で正しい車いすの扱いを知るとともに、信頼関係の大切さを知ることができた。

そして、一緒に学んでいる車いす利用者の児童への思いを、より深めることができた。

青少年赤十字国際理解・平和学習プログラム

１．目　　的　・世界の子どもたちの置かれている現状を知る。
・平和の意味を考え、自分たちに何ができるかを考える。
・赤十字の目標と使命を知る。

２．日　　時　令和元年１１月２７日（水）　１１：０５～１２：３５

３．場　　所　守口市立さくら小学校　　体育館

４．対　　象　守口市立さくら小学校　　６年生　　８４名

５．指 導 者　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　主事　久保　ナミ

６．スタッフ　日本赤十字社賛助奉仕団　１名

７．授業内容

○赤十字とは
・赤十字のイメージとは、募金活動、ボランティア、献血等
・イタリアの大きな戦争の後、赤十字ができた。

○赤十字の目的は
・人の命を守る。
・人の健康を守る。
・人々の苦痛を軽減し、予防する。
・人間の尊厳を確保する。

○赤十字の活動
・国際活動
・国内災害救護
・青少年赤十字
・赤十字ボランティア
・赤十字病院
・献血
・社会福祉
・救急法等の普及
・看護師養成

○世界に赤十字はいくつある？
・世界中で支え、助けあっている。
・191の国と地域にある。

水20Ｌ入った水がめを持つ体験

○平和とは

①写真を見て考える。

・戦争の様子
・フィリピンの台風の現場の様子
・イランの地震の様子
・ネパールでの水がめを運ぶ子どもたちの様子

②世界の状況を説明

・学校に通っていない子どもの数…１億2,100万人
・トイレを利用できない人の数…24億人
・安全な水を利用できない人の数…７億4,800万人
・下痢でなくなる人の数…1,000人/日

③地雷の写真や模型をみて

・人を殺さず、傷つけることを目的とする。
・対人地雷、対戦車地雷がある。
・地雷の被害者数　１年に15,000人～20,000人
・被害の多い国　カンボジア・アフガニスタン・
　アンゴラ等
・赤十字ができること（けがを治す、義足を作る）
・戦争は終わったのに地雷はまだ残っている。

地雷の模型

④平和ってなんだろう？

・みんなで「笑顔」で暮らせること
・事故がないこと。
・安心・安全であること。
・危険がない、地雷がないこと。
・戦争がないこと。

⑤考えてみよう

・仲良くしていますか？
・困っている人はいませんか？
・友だちにできることはありませんか？
・家の人にできることはありませんか？
・地域、周りの人とできることはありませんか？

⑥みんなで力を合わせてできること

・自分が気づかなかったことがわかる。
・１人でできなかったことができる。
・たくさんのことが早くできる。
・多くの人が助かる。
・笑顔になる人が増える。
　⇒これらが平和に近づく大きな力となる。

⑦赤十字の態度目標は

・「気づき、考え、実行する」
・たくさんの小さい「思いやり」が平和につながる力になる。

⑧子どもたちの感想

・地雷にはたくさんの種類があるんだな。
・人を傷つける危ないものが今もある。
・水がめを持ってみて、最初は軽いと思ったが、だんだん重くなっっていった。
・地雷は怖い。
・本物の地雷は､100円くらいで手に入ると聞いた。100均で売っているみたいだ。
・地雷が手軽に手に入るのが怖い。
・戦争はまずい。
・これから平和について学んでいきたい。
・二度と戦争を起こさないようにしたい。

意見を発表する様子

⑨授業を終えて

・丁度授業参観日だったので、保護者も一緒に授業を受けることができた。
・保護者も地雷の模型を見て、びっくりされていた。
・１時間の授業が短かったと感想述べておられた。
・水がめの実際の重さを持ったり、地雷の模型を手にして、子どもたちも戦争の恐ろしさを実感したようだった。

青少年赤十字防災プログラム（貝塚高等学校）

１．目　　的　「まもるいのち　ひろめるぼうさい」を通して防災の大切さを知る。
身近な物を使った応急手当ての仕方を知る。

２．日　　時　令和元年１０月３０日（水）　８：４５～１０：３５

３．会　　場　大阪府立貝塚高等学校新体育館・旧体育館

４．参 加 者　大阪府立貝塚高等学校３年生　　１８０名

５．講　　師　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課青少年係長　加島　康平
赤十字防災ボランティア　　４名
日本赤十字社大阪府支部職員　　１名

スタッフ　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　　１名

６．内　　容

新体育館に160名４クラス、旧体育館に120名３クラスに分かれ、１時間目と２時間目で講師が入れ替わる形で授業がおこなわれた。

（1）「まもるいのち　ひろめるぼうさい」

授業講師　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課青少年係長　加島　康平

①ビデオを見る

防災、減災、啓発ビデオを見て、自分たちの自然災害に対する意識「なんとかなる」、「考えても仕方がない」などの日常の思いを思い起こさせた。次に、「30年以内には必ず震度６以上の南海トラフ地震がおこり、23万人以上の死者がでる」、「この中でも数名の死者がでる」と現実味をおびた話があった。

②３分10秒、沈黙の時間をとる。（福島県いわき市で、震度４以上の揺れが続いた時間）

③５人グループでグループワークをする。

大地震が起こり、避難所生活を送らなければいけない時、避難所に何を持って行くか、必要なものを選ぶ。

紙に書かれたスーツケースの中に入るだけの物を選ぶ。

薬、携帯電話スマホ、水、食料、ゲーム、毛布、本
衣類、お金、写真、他

グループワークの様子

④なぜそれを選んだか、隣のグループと話し合う。次に全体に意見を共有する。

・食料と水は、生きていくために必要だから
・薬も、無かったら命にかかわるから
・お金も、後々落ち着いたら必要となってくるから
・スマホは、情報を得るために必要ではないか
・ゲームや本は、命にかかわらないから入れなかった

まとめ

「沈黙の時間（３分10秒）は、東日本大震災で最も揺れの長かった時間です。この間にどう行動するかでその人の命が決まります。厳しい揺れの中で、何を判断できるかです」

「準備物については、人によって異なります。避難期間によっても異なります。日頃からいろいろな場合を想定して、考えておくことが大切です」

「ゲームや写真など直接命にかかわらないような物でも、避難所では、心の病に対するケアも大切です」

以上のまとめの最後に、加島講師の阪神・淡路大震災での自らの体験「自助、共助の大切さ」をお話された。

（２）「身近な物を使った応急手当」の仕方

授業講師　赤十字防災ボランティア４名　　日本赤十字社大阪府支部職員１名

①実技講習

家にある身近な物を使って、応急手当の仕方をデモンストレーションした後、ペアを組んでそれぞれで練習をおこなった。

ストッキングを使った頭部の止血

身近な物による前腕の固定

本、ストッキング等を使った骨折の固定

ストッキング１本での固定

②まとめ

「大震災では、公助は期待できない。自分の命は自分で守る意識が大切である」とまとめられていた。

令和元年度 泉南市青少年赤十字指導者研修会

１．目　　的　赤十字救急法の具体的な知識と技術を学び、事故が発生した時に適切な対応がとれるようにする。

２．日　　時　令和元年６月１２日（水）　１５：１５～１６：４５

３．会　　場　泉南市立信達小学校
大阪府泉南市信達牧野７０５　☎０７２－４８２－２０７０

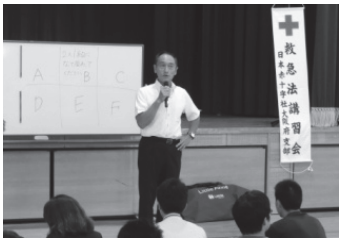
４．主　　催　泉南市青少年赤十字指導者協議会

５．参 加 者　泉南市立小学校　青少年赤十字指導者　１４０名

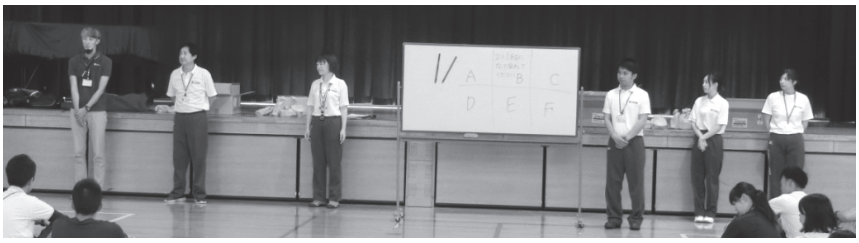
６．指 導 者　日本赤十字社大阪府支部救急法指導員　佐橋　良之
髙間　晶子
藤原　葉子
谷村　陽一郎
久保　ナミ

７．スタッフ　大阪府支部青少年・ボランティア課青少年係長　加島　康平
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　１名

８．内　　容



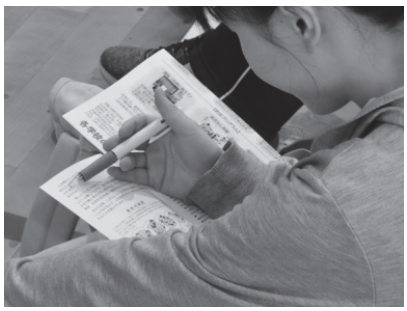
上中会長のご挨拶

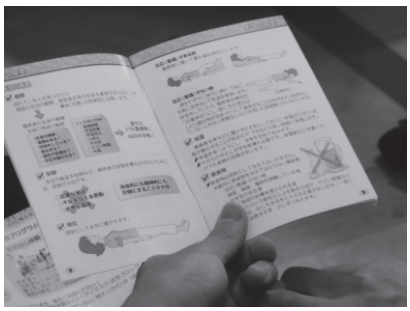

赤十字スタッフ

（１）あいさつ
泉南市青少年赤十字協議会会長　　上中　和則

（２）研修
最初に、久保指導員より、「救急法の基礎知識　～備えあれば安心～」という冊子を使って、『救命の連鎖【心停止の予防・早期認識と通報・一時救命処置(心肺蘇生とＡＥＤ)・二次救命処置と心拍再開後の集中治療』を中心に、医療関係者で無い我々が、何ができるかの説明があった。
①手当の基本として、観察して直ちに１１９番ＡＥＤの手配が必要な時は、意識障害・気道閉塞・呼吸停止・心停止・大出血・ひどい熱傷・中毒である。
②傷病者の全身の観察をする。生命の徴候（意識はあるか？呼吸をしているか？脈はあるか？顔色や皮膚の色はどうか？手足を動かせるか？）を観察する。

講義で伝える久保指導員


確認をする受講者


「救急法の基礎知識　冊子」

③実際に人が倒れていたらということを想定してスタッフがデモンストレーションをおこなう。「人が倒れています」「周囲の確認」「大出血など無し」「もしもし、大丈夫ですか？」「私が見えますか？」「誰か来てください」「あなたは、１１９番通報お願いします」「あなたは、ＡＥＤを持ってきてください」などしっかりと指示をする等、実際に声をかけ意識確認や呼吸の有無、脈のとり方、腕が上がるか足が動くかその時の顔の表情なども具体的に指導された。

その後、救急隊が来るまでの、体位について学習をした。（意識があるときと無い時では違うので、「回復体位」についての２人１組で実習した）

指導員による模範

指導員による模範

指導員による模範

２人１組による実習

④呼吸がない時の「胸骨圧迫⇒ＡＥＤを用いた除細動」の手順を、指導員が胸骨圧迫練習用の人形とＡＥＤを使い模範するのを見て学習した。

昨年度までは、「スクーマン２」という簡易胸骨圧迫練習用の器具（箱でできている器具）や（リトルアンという人形を使い実技練習をしたが、今年度は胸骨圧迫を主に身につけるために、【心肺蘇生トレーニングキット～あっぱくんライト～】というキットを使い実習した。

あっぱくんは45分の授業で心肺蘇生トレーニング（胸骨圧迫）ができるパーソナル教材である。

フロア全体を使っての実習

「あっぱくん」の実習

あっぱくんライト

（３）あいさつ

泉南市青少年赤十字協議会副会長　　木次　潤一

木次副会長挨拶

（４）受講生の感想

・毎年受講しているが、今日やってみると忘れていることも多くあった。できるだけ毎回受講していざという時に使えるようにならないといけない。

・授業時間の確保のために、今年から講習時間が短くなったが、その時間内で分かりやすく教えてくださったので、よかった。

・副会長さんの挨拶にもあったが、授業と同じで、「知っていても、実際使えないと意味がないので、しっかりと講習を受けることが大切だ」と感じた。

第59回 第４(近畿)ブロック青少年赤十字指導者研修会

１．目　　的　青少年赤十字活動として、学校現場で実践する諸活動とメンバーの指導について指導者が具体的な方策を習得するとともに、学校における青少年赤十字活動の普及および定着を図る。

２．期　　日　令和元年６月１５日（土）　１３：３０～１９：００
１６日（日）　８：３０～１４：４５

３．会　　場　大阪赤十字会館
大阪市中央区大手前２－１－７　☎０６－６９４３－０７０８

４．主　　催　第４（近畿）ブロック青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社第４（近畿）ブロック各府県支部

５．参 加 者

受講者	２０名
大阪府青少年赤十字指導者	８名
日赤大阪府支部職員	３名
合計	３１名

６．日 程 表

第１日目　６月１５日（土）

時　　間	内　　容	会　　場
１３：３５	受付	４階エレベーターホール
１３：３０	開講式・オリエンテーション	４０１
１３：４０	アイスブレーキング	４０１
１４：１０	ホームルーム（ＨＲ）①	４０１・４０２
１４：４５	赤十字と青少年赤十字	４０１
１５：４０	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター	４０１
１６：３０	人道的価値観について	４０１
１７：４０	新防災教育教材「きけんはっけん！」について	４０１
１８：２０	ホームルーム（ＨＲ）②	４０１・４０２
１９：１５	夕食	キャッスルホテル
２０：００	１日目終了	

第２日目　６月１６日（日）

時　　間	内　　容	会　　場
８：３０	朝のつどい	赤十字会館玄関
９：００	ワークショップの主旨説明	４０１
９：３０	フィールドワーク・講評	支部前広場、大阪城
１２：００	ホームルーム（ＨＲ）③・昼食	４０１
１３：１０	ワークショップ	４０１
１４：３０	閉講式・アンケートの提出	４０１
１５：４５	２日目終了・解散	４０１

１日目（６月１５日）

（１）開講式　　司会　大阪府支部　久保　ナミ

①「ちかいの言葉」
②「空は世界へ」
③あいさつ
大阪府青少年赤十字指導者協議会会長　　天野　久
日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課課長
森　　正尚

天野会長

④スタッフ紹介
⑤オリエンテーション
赤十字の原則である「人道」をどのようにすすめたらよいか、何が魅力で青少年赤十字活動に取り組んでいるかなどを、スタッフのノウハウを吸収してほしいと会長や森課長のお話。次いでトレセンのしかけや合図のない生活、注意深い生活、時間の管理、掲示板での情報共有など、２日間すすめていく上での確認事項が連絡された。

（２）アイスブレーキング（１３：４０～１４：１０）　和泉市立郷荘中学校　　横田　実

アイスブレーキングをしながら、目的や大切なこと、手順などの説明があった。身時間人と仲良くなるために、名前を呼ぶ、相手にふれる。また、～しなさい。という命令はしないで、楽しくすることが大切であると話された。

（３）ホームルーム（ＨＲ）（１４：１０～１４：４０）

１ＨＲ　岸和田市立光明小学校　川口　智嗣教諭、２ＨＲ　阪南市立朝日小学校　　金井　宏樹教諭、３ＨＲ　岬町立深日小学校　佐武　篤教諭がＨＲティーチャーとなり、ニックネームで自己紹介など、簡単なゲームを交え、受講生の緊張感をほぐした。また、この会の目的や日直などを確認した。

ホームルームの様子

（４）赤十字と青少年赤十字（１４：４５～１５：４０）　日赤大阪府支部青少年係長　加島　康平

①赤十字について
②赤十字あれこれ
その１　一人の思いから始まった
その２　１冊の本が世界を変えた
その３　４回もノーベル平和賞を受賞した
その４　日本の赤十字も戦場から生まれた
その５　世界共通の目的がある

③青少年赤十字について

ところどころに「赤十字QUIZ」を挟んでの展開で、とても興味深く聞くことができた。また、アクティビティも取り入れ、「ほんまや」「そうなんや」の声を聞く場面もたくさんあった。赤十字の歴史、日本赤十字社がどのようにできたか。また、青少年赤十字の目的や目標についてもていねいにお話してくださり、赤十字についての理解を深めることができた。

（５）集団生活を通じた学習活動について（１５：４０～１６：２０）

～青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター～　岬町立深日小学校　佐武　篤

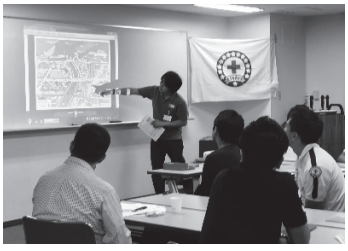
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンターの目的や流れについて話された。特に「支持のない生活」掲示板の活用、「５分前行動」「気づき、考え、実行する」のことを話され、トレセンだけでなく、学校生活においても取り入れられることであり、子どもたちだけでなく、先生方も参加され、体験してほしいと話された。また、３日間の活動を終えると子どもたちの成長が見られることも話された。

（６）人道的価値観について（１６：３０～１７：３０）　阪南市立尾崎小学校　永田　惠

初めにジュネーブ条約って？まちがいさがしのワークを行った。国際人道法とはどんなものなのかを知った後、「誰もが人間らしく生きるために」の教材から、「勇敢な店主」について考えた。人道的な行動とはどんな行動のことか、人道的価値観とは、どんな価値観なのかをグループワークやディスカッションをしながら、考えていった。また、2015年に制作された「海難」の映画や「稲村の火の館」の話もされた。小学生であっても思いやりの心ややさしさを持つことがどんなに大切か話された。教育課程の中でどのように位置づけていくか、実践例をもとに話された。

（７）新防災教育教材「きけんはっけん！」（１７：４０～１８：２０）

阪南市立朝日小学校　金井　宏樹



就学前の子どもたちに向けた、防災教材の実践についてお話しされ、受講者で体験した。小学校の低学年なら十分に楽しみながら、防災について学ぶことができる教材である。避難訓練の事前指導や事後指導にも活用できる教材であると話された。また、学習参観などでおうちの人とやってみるのもいいのではと提案があった。地震だけでなく、大雨について、大雪についてもあり、自分たちの地域の実態にあったものを活用するとよいとも話された。

（８）ホームルーム（１８：２０～１９：００）

一日目のふり返りとともに、情報交換を行った。「学校で困っていることはありませんか。」の問いに「早く帰りたいが、遅くまで残って仕事をしなくてはいけない。」「会議が多い。」など受講者の本音を聞くことができた。「いっしょや。」と共感の声も聞かれた。また、くふうしていることなども出し合い、有意義の時間を過ごした。

情報交換のあとは、みんなでキャッチなどのレクリエーションをして楽しんだ。

（９）夕食（１９：１５～２０：００）

ホテルに移動しての夕食。ごちそうに舌鼓。ここでも今日の講義のことや、JRCについて熱く語られていた。

２日目（６月１６日）

（１０）朝のつどい（８：３０～９：００）

朝のつどいの様子

赤十字会館前での朝のつどい。青少年の赤十字の旗揚げの後、ラジオ体操、先見を行った。久保さんから、賛助奉仕団で植樹を行った糸杉の紹介が行われた。

糸杉の紹介をする

（１１）ワークショップについて（９：００～９：３０）

岸和田市立光明小学校　　川口　智嗣

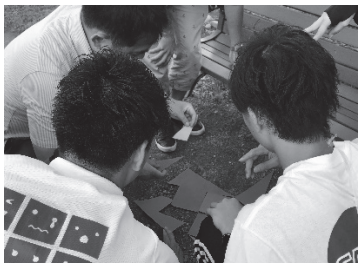
最後のプログラムとなるワークショップについての説明がなされた。２日間で学んだことを学校に帰り、どのように実践していくかを考え、授業案などをつくるためのポイントについて話された。

（１２）フィールドワーク・講評（９：３０～１２：００）

東住吉高校　　石　秀伸

説明・スタート		石
ＣＰ１	キャッチボール	金井
ＣＰ２	人道クイズ	永田
ＣＰ３	救援物資を運べ	川口　石
ＣＰ４	無言赤十字パズル	佐武
ＣＰ５	ネイチャーゲーム	上田　横田

救援物資を運べ



無言赤十字パズル

ネイチャーゲーム

大阪城公園でのフィールドワーク。好気に恵まれ、気持ちよく活動ができた。どのＨＲも力を合わせて、課題に取り組んでいた。「赤十字パズル」は、思いの外難しかったのか、苦戦していた。たくさんの観光客がいる中みんな一生懸命取り組んでいた。

（１３）ホームルーム・昼食（１２：００～１３：１０）

昼食は、非常食。加島さんに作り方を教わり、みんなで昼食の準備。

避難所などに運び込まれる支援物資は、あくまでも避難されてきた人のためのもので、赤十字ボランティアは、自分の食べるものは、自分で用意するとのこと。「そうなんや」「初めて知ったわ」などの声が聞かれた。食事ができるまでは、ホームルーム。フィールドワークのふり返りや、ワークショップの内容など話されていた。

（１４）ワークショップ（１３：１０～１４：３０）

岸和田市立光明小学校　　川口　智嗣

２日間で学んだことをふり返り、自分の学校で取り入れらえることはどんなことなのかを５Ｗ１Ｈをもとに考えた。自分の考えをホームルームのみんなに聞いてもらい、練り上げをした。

各ホームルームの代表がみんなの前で報告した。

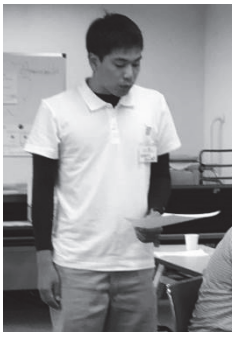
１ＨＲでは、自分の学校は、山に近いので土砂災害のことをやりたい。

２ＨＲでは、高校生になったら避難訓練も適当にしているので、「きけんはっけん」の教材を使い、自分だけでなく、小さい子にも分かるように伝え、救助者として動ける生徒にしたい。

ＨＲでは、掲示板を活用したい。連絡事項を書いたり、貼った

りするだけでなく、「昨日の算数わかりませんでした。だれか教えてくれませんか」こういうことも書ける掲示板にしたい。

さまざまな切り口で授業実践を考え、発表することができていた。



ワークショップの様子

（１５）閉講式（１４：３０～１４：４５）

①スタッフより感想

②修了証授与

③あいさつ　　日本赤十字社大阪府支部　青少年・ボランティア課　森　正尚

人道の敵は、「利己心」「無関心」「認識不足」「想像力の欠如」であると話され、せっかく近畿ブロックから集まったのだから横のつながりを大切にし、これからの活躍を期待していると締めくくられた。

④２日間のムービーを視聴

※ムービーを見終えた受講生から、別れを惜しむ声が聞かれ、和気あいあいとした中で、研修会を終えることができた。

令和元年度 泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会

１．目　　的　学校教育で、青少年赤十字の精神や活動内容を採用し、活用するための研究と実践

２．日　　時　令和元年８月７日（水）　９：３０～１６：３０

３．主　　催　泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会

４．会　　場　泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）
泉佐野市市場東１丁目２９５－１　☎０７２－４６９－７１０１

５．参 加 者　泉南ブロック青少年赤十字指導者　３５名

６．講　　師　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　青少年係長　加島　康平

７．スタッフ　泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会専門委員　１５名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　２名

８．内　　容

（１）開講式

①あいさつ　・泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会　会長　上中　和則
・泉佐野市教育委員会　教育長　奥　真弥

上中会長

奥教育長

②来賓紹介　北口指導主事・日赤大阪府支部職員３名・泉南ブロック歴代会長２名

③「ちかいのことば」、「空は世界へ」
受講者の代表に続き「ちかいのことば」を言ったあと「空は世界へ」を斉唱

（２）研修①　「赤十字について」（９：４５～１０：１５）　講師　会長　上中会長

アンリー・デュナンは、ソルフェリーノの戦いで見た光景を「ソルフェリーノの思い出」という本にまとめ出版した。それがきっかけとなり赤十字がつくられた。また、日本では、佐野常民が西南戦争のようすをみて博愛社をつくることとなった。「志」のある人が進めていき、赤十字社ができた。佐野常民は、「分け隔てなく救うことが文明開化である。」と言っている。そして赤十字の原則である『人道』について話された。沖縄のガマの話を引用し国際人道法を学ぶことが自分の命、他者の命を助けることになると話され、赤十字の大切さ、青少年赤十字の目的について話された。

（３）研修②　「避難所運営ゲームで考える学校避難所の課題」（１０：１５～１１：３０）

講師　加島係長

1995年の阪神・淡路大震災の時は、体育館が避難所として開設されたが通路はなかったという。2004年の新潟中越地震では、通路の確保がなされた。2018年の北海道地震では、段ボールベッドが使用された。昨年度の台風の被害で受講者の「防災」についての意識が高まり、避難所運営ゲーム（HUG）のグループワークも盛り上がった。話し合いが進むにつれ、「教室に何人入れるかな？」「１回その場所に入ってもらった人に替わってっていわれへんな」「宗教の問題もあるしな」「ペットはどうしたらいいんやろ？」と次々に課題が見えてきた。加島さんからは、「一人で決めずにいろいろな人を巻き込んで」「地域の意識も忘れないことや情報の共有なんかも大切に」「みんなの避難所だから、みんなで問題を解決できる組織に」などたくさんのアドバイスを聞くことができた。受講者もたくさんの学びとなる研修だった。

研修の様子

（４）心をほぐすソングレク（１１：４０～１２：３０）

講師　泉南ブロック青少年赤十字専門委員

授業の隙間の時間に簡単にできるゲームや集団でできるレクリエーション等を紹介した。

その場のアイスブレイクになるとともに、学校に持ち帰って使える「ネタ」に受講生も喜んでいた。

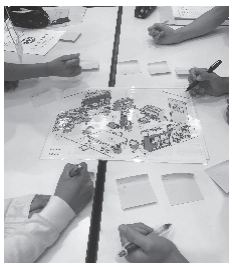
心をほぐすソングレクの様子

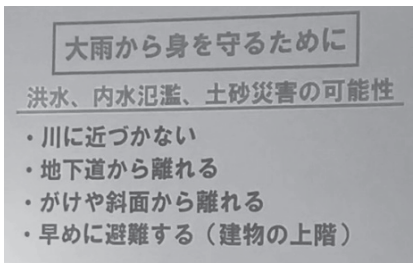
（５）研修③　「ぼうさいまちがいさがし　きけんはっけん！」の体験（１３：３０～１４：１０）

講師　泉南ブロック青少年赤十字専門委員

赤十字から各校に配布されている防災学習教材「ぼうさいまちがいさがし　きけんはっけん！」を使い、受講者が子どもになり、話し合いをしたものを各グループで発表しあった。

自分が授業で使うときにどのように活用すれば良いか、子どもたちはどのような考え方をするのか、また、どのような授業の組み立てができるかなどを話し合った。





ぼうさいまちがいさがしの一コマ

（６）研修④　『国際交流』（１４：１０～１６：００）

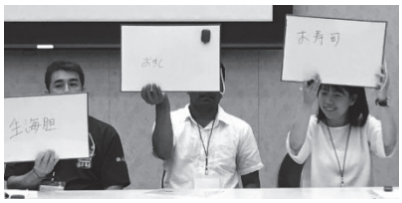
講師　泉南ブロック青少年赤十字専門委員
ゲスト　泉佐野地球交流協会の皆様

国際理解親善の研修として、泉佐野地球交流協会（Izumisano Cross-cultural Association）（通称アイカ）の皆様をゲストに招き、受講者と各国の教育・文化・食事・価値観等についてゲームやクイズを交えて交流をした。

泉佐野地球交流協会は、『市民と外国人がお互いを尊重し、それぞれの異なる生活習慣、文化、価値観などを受け入れ、共に生き、共に歩む地域づくりを進めるための積極的な交流ができる機会』を活用しているNPO法人で、本協議会とは以前より交流のある団体である。

今回は、アメリカ合衆国、ドイツ、フィリピン、スリランカ、韓国、中国、台湾の方々が参加してくれた。日本についてのイメージを聞いてみると、日本の食べ物といえば「寿司」、日本の観光地といえば「京都」、好きな日本語は「ありがとう」が多かった。日本に来て驚いたことの中に「落とした財布が戻ってくる。」というのがあり、日本人の良さを認めてくれていることをうれしく思った。

後半は、各グループに分かれ、それぞれの国と日本のことについて、話し合いをして互いの理解を深めた。



国際交流の様子

（７）閉講式

あいさつ

泉南ブロック青少年赤十字協議会副会長　　木次　潤一

避難所運営ゲームは、ゲームとは言え、いつ自分の学校が避難所になり得るかもしれないということを考え、自分事としてとらえてほしい。また、国際交流をすることで広い視野でものごとをみてほしいと話された。青少年赤十字のツールは役に立つことばかり。今後もこのような研修に参加していただきたい。

（９）受講生の感想

・避難所運営ゲームは、とても難しい課題で、カードだけでも混乱してしまいました。ゲームをしながら感じたことは、役割分担がとても大切だということです。そして、一人で決めずに、避難所で生活する人たちと一緒に決めていくことが心に残りました。
・避難所運営ゲームは、次々とくる被災者に対応していくことの難しさを実感することができました。先を見通す力や決断力がとても大切だと感じました。
・外国の文化や考え方、生き方をたくさん教えていただき、文化は違ってもみんな子どものことや

周りの人のことを考えているのだと感じました。
・赤十字活動について、ボランティア・地域貢献をしていることしか知らなかったのですが、今日、赤十字について歴史や活動など様々なことを知ることができてよかったです。
・「防災間違い探し」では、町や学校には様々な危険が隠れていることを改めて学びました。今後に生かしていきたいと思います。
・レクリエーションに参加することの楽しさや、知らない人同士がつながっていくうれしさが遠い昔のものになってしまっていましたが、久々に思い出すことができました。
・避難所開設の体験では、役割を決めて「聞く人」「分ける人」などで分けると、とてもスムーズにいきました。情報を共有することや処理の大変さもとてもよく感じることができました。車や人の割り振りなど配慮する点も多く、実際にそういう場になったときに、本当にそれだけ気を使えるか不安にもなりましたが、色々なことを瞬時に考えることで避難所のイメージがつきました。
・去年の台風の被害から日ごろの防災意識を持ち、備えが必要だと感じていたが、この研修を受けて、避難所を開設する時も備えが必要だと分かった。役割分担をはっきりさせ、それぞれが動きながらも避難してきた人たちに話し合いに参加してもらいながら一緒に対応していくことが大切だと思った。

第41回 和泉市青少年赤十字
中学生メンバー・トレーニング・センター

１．目　　的　赤十字の学習を通して、お互いの親交を深め、奉仕活動の体験から自主性を養い、学校での活動を自発的に行える、リーダーとしての資質や態度を養うことを目標とする。

２．日　　時　令和元年８月２０日（火）　９：００～１５：００

３．会　　場　和泉市立青少年の家　　和泉市槇尾山町１－２１　☎０７２５－９２－０４２２

４．主　　催　和泉市青少年赤十字指導者協議会

５．参 加 者　和泉市立中学校生徒　　２９名（１０校）

６．指 導 者　和泉市立中学校教員　　１７名

７．スタッフ　日本赤十字社大阪府支部職員　　１名

　　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　　２名

集合写真

８．プログラム

９：００	受付	
９：３０	開講式	
９：４０	ホームルーム①	どんな人が来ているのかな〈自己紹介など〉
１０：００	赤十字について	「赤十字やＶＳ」について
１０：４０	フィールドワーク	自然の中をハイキング（雨天の為、室内に変更）
１１：１５	講評	成績発表
１１：４５	昼食	
１３：００	学習活動	「防災プログラム」について
１４：２０	ホームルーム②	これからどうすればいいのかな？
１４：５０	閉講式	みんな仲良くなったかな？
１５：００	解散	また、お会いしましょう！

（1）開講式　　９：３０～

総合司会　　和泉市立郷荘中学校　横田　実教諭

・「空は世界へ」　斉唱

・「誓いの言葉」　唱和

①「あいさつ」　　和泉市立中学校青少年赤十字指導者協議会　藤原　健二会長

市内の10中学校から、各校の代表者が集まり、貴重な一日を過ごします。多くの友人をつくり、ここで学んだことを学校に持ち帰り生かしてもらいたい。スタッフの先生方宜しくお願いいたします。

②「来賓あいさつ」　　日本赤十字社大阪府支部　加島　康平係長

皆さん、それぞれ好きなこと・やりたいことがたくさんあると思いますが、今日このトレセンで人の考えや気持ちがわかるように、沢山の交流をして楽しんでください。

挨拶する藤原会長

開講式風景

（2）ホームルーム①　　９：４０～

・どんな人が来ているのかな？

班毎に自己紹介　　名前を覚えよう！

ホームルーム風景

（3）赤十字について　　１０：００～

・アンリー・デュナンが提唱し、赤十字を作った

・デュナンが第１回ノーベル平和賞受賞者です。

・赤十字は、戦争負傷者救助から始まったが、

○今では、いのちを救う・・・災害救助、赤十字病院、献血、救助法講習

○せいかつを支える・・・社会福祉、ボランティア、ひとを育む・・・・・・青少年赤十字、看護師育成を中心に活動をしています。

・Ｖ．Ｓについて(ボランタリーサービス)

大きなＶＳ・・・・・災害救助、生活の改善等

小さなＶＳ・・・・・ゴミを拾う、荷物を持ってあげる等

（4）フィールドワーク　（雨天の為館内にて行う）　１０：４０～

○ヒューマンチェーン・・・グループで手をつなぎ、皆で協力し合いきれいな輪になっていく。

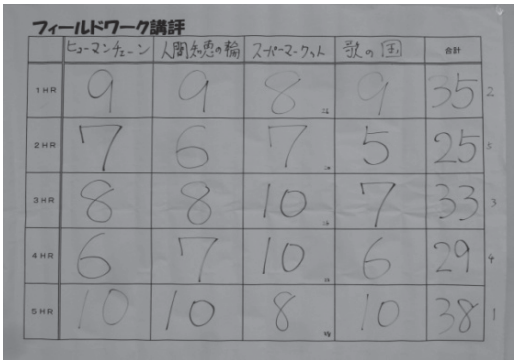
○人間知恵の輪　・・・(写真)

○スーパーマーケット　・・・３０秒間、沢山の商品の値段を記憶して、２，０００円に近い買い物をする。

○歌の国　・・・今の気持ちを「蛙の歌」の替え歌で全員で歌う。

笑顔で人間知恵の輪を楽しむ

（5）フィールドワーク講評　１１：１５～



フィールドワーク講評

	ヒューマンチェーン	人間知恵の輪	スーパーマーケット	歌の国	合計	
1HR	9	9	8	9	35	2
2HR	7	6	7	5	25	5
3HR	8	8	10	7	33	3
4HR	6	7	10	6	29	4
5HR	10	10	8	10	38	1

各班の得点表

授賞式

（6）昼食　１１：４５～

今日、初めて出会った男女混合の班ではあるが、皆で声をそろえて「いただきま～す」と、仲良く話し合いながら食事を進めている。

班毎に仲良く昼食風景

（7）身近なものを使った応急手当の体験学習活動

日本赤十字社大阪府支部防災ボランティア家田佶さんと足立則子さんの指導により、身近なものを使いどのように応急手当をすればよいのか、ペアを組み体験した。

①　止血の練習

ナイロン袋、ビニール手袋、レジ袋等を手にはめ圧迫する。傷口にはハンカチやバンダナを当てるのはよいが、タオルは繊維が傷に残るので適さない。頭はパンティストッキング（パンスト）をかぶせて使うと便利である。

②　手の固定の仕方の練習

パンストの足の部分を二重にして手を通し、足先の部分と股の部分を背中で結び固定する。

骨折している時は、折りたたみ傘や雑誌を添え木代わりにし、ネクタイやハンカチ等で手首や

肘を固定する。三角巾の代わりにレジ袋の両側を切って手を通し首からつる。もう１本のネクタイで体に固定するとよい。

パンストを使った頭の止血

パンストを使った手の固定方法

雑誌やレジ袋を使った骨折の手当

応急手当をする時は、まず自分の命を守ること。そして一人でしようとはせず人の助けを借りること。身近なもので応急手当をする方法に正解はない。どのようなものが活用できるか、家でも練習してほしいと話された。

（８）ホームルーム

今日の活動についての感想文を書いた。ホームルーム毎にメンバーが交流し、寄せ書きをしたり親交を深めた。

（９）閉講式

今日学んだことを役立て、活躍してほしいと締めくくられた。

令和元年度 泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会

１．目　　的　・おたがいの親善と交流を深めよう。
・「仲よしポスター」による交流活動を通して、互いに青少年赤十字活動を活発にする意欲をもとう。

２．日　　時　令和元年９月４日（火）　１３：４５～１５：４５

３．会　　場　泉南郡田尻町立小学校
泉南郡田尻町吉見６９０　☎０７２－４６５－０００８

４．主　　催　泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会

５．参 加 者　参加校３７校　　児童数　２１４名
泉南市　雄信・樽井・新家・新家東・西信達・信達・一丘・砂川・東小学校
泉佐野市　北中・第三・中央・長南・上之郷・佐野台・第一・日根野・第二・日新・末広小学校
阪南市　尾崎・西鳥取・下荘・東鳥取・舞・朝日・上荘・桃の木台小学校
泉南郡　熊取中央・熊取東・熊取西・熊取南・熊取北・田尻・淡輪・深日
多奈川小学校

６．指 導 者　大阪府青少年赤十字指導者　９０名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　２名

７．来　　賓　泉南郡田尻町教育委員会　教育次長 森　茂・参事 水上　健生
日本赤十字社大阪府支部　課長 森　正尚・係長 加島　康平・主事 久保　ナミ
泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会歴代会長　濱﨑　義則・竹田　茂久

８．内　　容
○受付　　１３：１５～１３：３０
○開会式　　１３：４０～１４：４０　（体育館）
・あいさつ
泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会　副会長　長見　元雄
泉南郡田尻町教育委員会　教育次長　森　茂

長見副会長

森教育次長

・代表児童に続いて「ちかいのことば」
・「空は世界へ」斉唱
・オリエンテーション

佐武教諭によるオリエンテーションとまだ緊張気味の子どもたち

○交流活動　　１４：００～１５：００

①班ごとにアイスブレーキング

誕生日や血液型ごとに無言で動作だけでグループを作ったり、好きな食べ物を入れての自己紹介をしたりすることで、少しずつ緊張がほぐれ、場が和やかになります。
専門委員の腕の見せ所です。

②「仲よしポスター」による交流活動

各班（各市・町の違う３～４校で班編成を事前にしてある）が３つのグループに分かれて、発表する人と聞く人を決める。

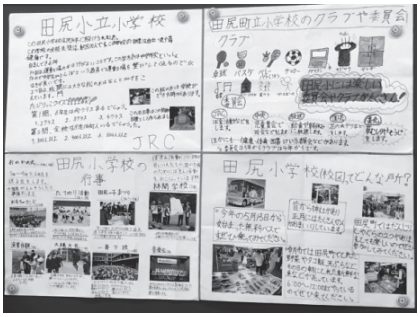
事前に作ってきた各校の「学校の様子」・「地域や産業」・「児童会活動やＪＲＣ活動」・「主な行事」の紹介をクイズ形式で発表する。

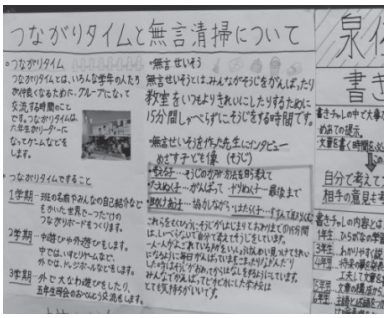
一回りしたら、質問をしたり、自分の学校に活かせることについて発表したりした。

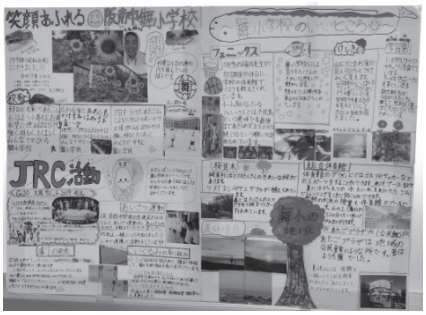
③感想とふりかえり

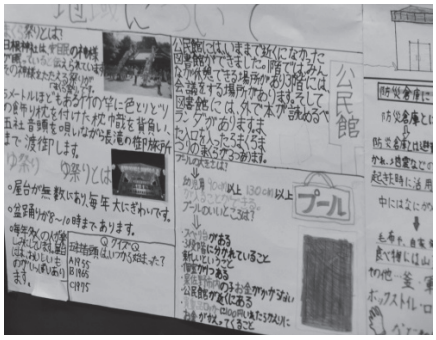
隣の教室と入れ替わり、まだ、説明を聞いていない学校のポスターを見て感想を書いた。
それを各学校がもち帰り、今後の参考にする。

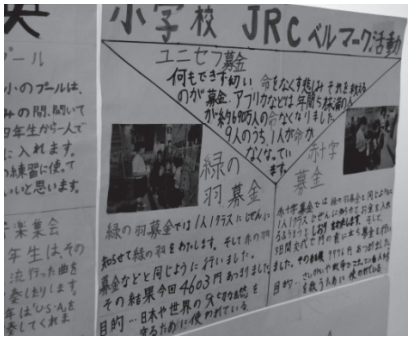
④発表用のポスター（抜粋）

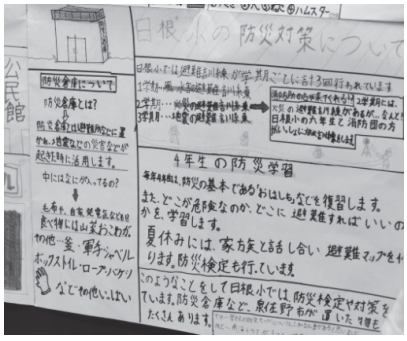












○全体集会　　１５：２０～１５：３０

【代表児童による感想発表】

・初めは緊張していたけれど、ゲームをしたりしてたくさんの友達ができてうれしかった。
・ポスターの準備はたいへんだったけれど、他の学校の人がほめてくれたので、うれしかった。
・参考になるところは、自分の学校でも取り入れていきたいと思った。
・楽しそうな行事をしている学校があったので、２学期に相談して、自分たちの学校でもやってみたいと思った。
・今日のことを学校に持ち帰り、５年生に伝えたい。
・色々な学校のことを知ることができてよかった。
・今日、学校の代表として参加できてよかった。
・同じ班の人たちとたくさん話をして、楽しかった。

○閉会式　　１５：３０～１５：４５

①指導講評　田尻町教育委員会　参事（指導主事）　水上　健生
②閉会挨拶　青少年赤十字指導者協議会　副会長　　坂中　統

水上参事

坂中副会長

③全員合唱『ともだちになるために』

恒例となっている『ともだちになるために』を全員で手話をつけて合唱した。「♪友達になるために人は出会うんだよ♪」で始まるこの歌は、泉南ブロック仲よし交歓会の定番であり、閉会時に「♪今まで出会った　たくさんの　きみと　きみと　きみと　きみと　きみと　きみと　きみと　これから出会うたくさんの　きみと　きみと　きみと　きみと　きみと　ともだち♪」と互いを指さしながら歌うことが、今日の互いの頑張りをたたえ合うと共に、今後の友情を確かめ合うことができるので大きな意味を持っているとのことである。

泉北ブロック青少年赤十字指導者養成講習会

１．目　　的　青少年赤十字と学校教育の関係を理解し、レクリエーションの実践を通し指導力を高める。

２．日　　時　令和元年１１月３０日（土）　９：００～１２：００

３．会　　場　和泉市コミュニティセンター　３階　多目的ホール
和泉市府中町２丁目７番５号　☎０７２５－４３－０５３２

４．主　　催　泉北ブロック青少年赤十字指導者協議会

５．参 加 者　和泉市立小学校青少年赤十字指導者　　９名

６．講　　師　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　課長　森　正尚

７．スタッフ

泉北ブロック青少年赤十字指導者協議会会長	上田晋郎
泉北ブロック青少年赤十字指導者協議会専門委員	２名
泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会専門委員	１名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	１名

８．内　　容

（１）講師及びスタッフの紹介

（２）開会あいさつ　泉北ブロック青少年赤十字指導者協議会会長　上田晋郎

「泉北ブロックで例年行っていた子どもが参加する行事は、熱中症の問題や教職員の働き方改革のため中止となったが、今日は先生方が学校で実践できるゲームなどを紹介するので、みんなで一緒に楽しくやっていきましょう！」と挨拶された。そして上田会長自ら２つのゲームを紹介され全員で実践した。

①「セブンイレブンいい気分」ゲーム

二人一組で「セブンイレブンいい気分」と歌い、それぞれが片方の指で数字をだす。二人の指の数を足して「７」にするゲーム。３人なら「11」にする。

②特徴を書いた紙を見て、その人を探し出し、コミュニケーションを図るゲーム

配られた紙に自分の特徴を５つ書く。リーダーがその紙を集め、バラバラに配る。その紙の特徴を見てこの人だと思う人と話をする。見つかるまで色々な人と話をする。

全員が見つかれば、見つけた人がその人の紹介をみんなにする。

特徴を紹介する参加者

（3）アイスブレイクを考えよう

緊張感を和らげるために、「ふれあう、よびあう、かたりあう」ゲームの紹介があり、実践した。

①名前順に並ぶゲーム：人と話しながら、あいうえお順に並ぶ。

②自分の名前の一文字が同じ人と手を繋いでいくゲーム

③全員が輪になり、リーダーとジャンケンをして、負けた人はその輪に中に入っていくゲーム

：中に入る人が多くなり、外の人が手を繋げなくなったら終わり。

（4）青少年赤十字と学校教育

日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課森正尚課長より、青少年赤十字と学校教育についての講義があった。

赤十字はスイス人のアンリー・デュナンにより創設され、人道を理念として世界で活動している。日本赤十字社の活動資金は、寄付により支えられており、主要業務は災害救護である。

青少年赤十字（JRC）とは、学校の先生方が中心になって活動する。そして、赤十字の精神である人道に基づき、子どもたちに、やさしさや思いやりの心を育てる。目標を達成するために３つの実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を掲げ、「気づき・考え・実行する」を態度目標として、自主的で自律した子どもの育成を図っている。

講義をする森課長

新学習指導要領の「学びに向かう力・人間性等の涵養」や「主体的・対話的で深い学び」は、課題解決に向けて、仲間を巻き込んで行動しようとするJRCの目標と合致している。是非、国際理解、平和学習、応急手当、AEDの使い方、キャリア教育等の授業で、JRCを活用してほしい。

JRCのメリットは、今までおこなってきた教育活動を、JRCのフィルターで「価値づけ」とする。今までやってなかったことをJRCの資料・プログラムで始める「きっかけ」とする。今までやってきたことにJRCの資料・プログラムで一工夫加えられる「ふりかけ」とできることである。学校で普段やっていることを、JRCを利用して実現してほしい。

（5）レクリエーション実践

①質問ゲーム：「はい」「どちらかというとはい」「どちらかというといいえ」「いいえ」の紙が部屋に貼ってあり、リーダーが出す質問に、自分の考えが近い所に移動する。

②グループ分けゲーム「猛獣狩り」：動物の名前の文字数に合わせてグループを作る。

③グループで協力するゲーム：

○フラフープ：５～６人が輪になりフラフープを全員人差し指で支えて、上げたり下げたりする。

○人間コピー：見えない場所に貼ってある絵を一人ずつ見に行き、グループで絵のコピーを完成させる。

○白地図を完成：１人ずつに配られたカードに書かれてある課題を読み、色々な情報を共有し白地図を完成させる。

④ふり返りシート：グループワークの後は、ふり返りシートを書く。誰がどんな役割をしたか、自分はどうすればよかったかなどふり返り意識を高める。

白地図を完成させるグループワーク

（6）やってみよう

①キャッチゲーム：「キャッチ」で隣の人の指を捕まえる。自分は捕まらないように逃げる。

②震源地ゲーム：震源地になる人の動きをみんながまね、鬼になった人が震源地の人を当てる。

③お地蔵さんゲーム：お地蔵さんになった人が、輪になる。輪の中に１人が入り、お地蔵さん一人ひとりに団子を配る。お地蔵さんは、中の人が見ていない間に食べる。食べるところを中の人に見られると交代する。

④言うこといっしょ、やることいっしょゲーム：手を繋いで輪になる。リーダーの言った通り言ったり、動いたりする。「言うこといっしょ、やること反対」「言うこと反対、やることいっしょ」「言うこと反対、やること反対」とレベルが上がっていく。

⑤全員鬼ごっこゲーム：誰かにタッチされたら座る。

⑥秘密警察ゲーム：全員目を閉じる。リーダーが肩をたたき、数人を秘密警察に指名する。目を開け、誰だかわからない秘密警察から逃げる。秘密警察にタッチされると座る。

⑦進化ジャンケンゲーム：全員ゴキブリから始まり、ジャンケンに勝つと鳥→サル→人間に進化する。それぞれの生き物の動きをまねながら、同じ生き物の人とジャンケンをする。

残った人に罰ゲームをすることもあるが、罰ゲームができそうもない人には負けてくれてありがとうと拍手をする。

スタッフが紹介した7つのゲームを行った後、自分のしたいゲームを考え、実際に参加者がリーダーとなり実践した。

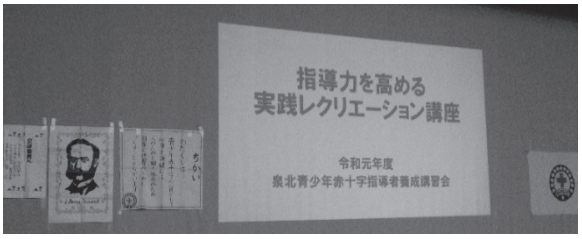
リーダーとなり実践する参加者

森課長も一緒に進化ジャンケン

（7）閉会あいさつ

泉北ブロック青少年赤十字指導者協議会上田晋郎会長より、「『指導力を高める実践レクリエーション講座』と題して、今日の講習会をおこなった。楽しくゲームをするには、子ども達がやりたいなと思う説明が必要になる。つまり教師力が高まる。学校にはグループワークの本があるので、活用し実践してください」と話された。

最後に、グループワークやゲームの資料が配られた。



会場の様子

閉会のあいさつをする上田会長

令和元年度 堺市青少年赤十字のつどい

１．目　　的　・お互いの交流と親善をはかろう。
・青少年赤十字を知り、深めよう。
・リーダーシップとフォロワーシップについて考えよう。
・確かな実践に向かって行動していこう。

集合写真

２．日　　時　令和２年１月２５日（土）　９：３０～１５：３０

３．場　　所　サンスクエア堺
堺市堺区田出井町２－１　☎０７２－２２２－３５６１

４．主 催 者　堺市青少年赤十字指導者協議会

５．参 加 者　堺市の小学校　　参加校　１０校　　児童　６１名　　指導者　２５　名

６．スタッフ　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　課　　長　森　正尚
青少年係長　加島　康平
堺市立小学校　校長会　会長　間地　洋介
堺市立小学校青少年赤十字担当校長　７名
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　３名

７．プログラム

９：００	受付	１１：２０	グループワーク
	参加者確認・名札作成・資料配付		・みんなで協力してできるかな
９：２０	開講式・オリエンテーション		・写真撮影
	・開会宣言	１２：２０	昼食
	・ちかいの言葉	１３：１０	レクリエーション
	・斉唱『空は世界へ』	１３：２５	ホームルーム
	・主催者挨拶		・学校での取り組み紹介
	・来賓挨拶	１４：１０	学校ごとの話し合い
	・スタッフ紹介	１４：４５	全体会
９：３５	アイスブレーキング		・今後、各校で取り組みたいこと
９：４０	赤十字活動を知ろう		・つどいに参加して
	・防災教育	１５：３０	閉講式
	・献血セミナー		・講評
１０：４０	ホームルーム（班活動）		・「別れの歌」斉唱
	・自己紹介と今日の活動について		・閉会の言葉

８．内　　容

（１）開講式

① 主催者挨拶　　堺市青少年赤十字指導者協議会長　　千賀　敏弘

「積極的に参加する力」「考える力」「コミュニケーション力」を身につけてくださいと挨拶された。

会長あいさつ

「空は世界へ」斉唱

② 来賓挨拶

日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　課長　　森　　正尚

③ 来賓挨拶　　堺市学校教育部生徒指導課　　課長　　中逵　和枝

④ スタッフ紹介

（2）アイスブレーキング　　元ＪＲＣ担当校長　シェルトン氏

「Good Job」「please」など、英語を交えながらゲームをされた。次第に緊張もほぐれ、打ち解けてきた。

（3）青少年赤十字活動を知ろう

① 防災教育　　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　森　正尚

防災教育として東日本大震災時の「まもるいのち　ひろめるぼうさい」のＤＶＤを見ました。その後「健康であること」「手を差し伸べること」の大切さを話された。

② 献血セミナー　　大阪府赤十字血液センター　職員

献血○×クイズで血液について興味を持たせることから始まった。「ゴリラはみんなＢ型」「ぶた、ネコ、魚はＡ型」「日本人で一番多いのはＡ型」等々。子どもたちは、献血をより身近に感じることができた。１日に3,000人の命が輸血によって救われていることを知り、献血の大切さを学んでいた。

アイスブレーキング

ＤＶＤ視聴

献血セミナー

（4）ホームルーム（ＨＲ）

① 自己紹介ゲーム

ネームチェーン、学校名、好きなこと等を織り交ぜて紹介していた。

② 今日の活動について　　―　今日のめあてをもとう！　―

他の学校の人とも仲良くなって、話し合いをしながら今日の活動について考え、個人の目当てをもった。積極的な行動するという「めあて」をもてていた。

ホームルームのようす

（5）グループワーク

○　みんなで協力してできるかな・・・「間に合うか？子どもオリンピック」

「人の話をよく聞いたり、タイミングよく話したりすることの大切さに気づく」「情報を集め、まとめる方法を体験する」ということをねらいとした。

グループワーク

（6）昼食

（7）レクリエーション

①　「背中でＧＯ！」

・しゃべらずに背中に言葉を書いて伝える。

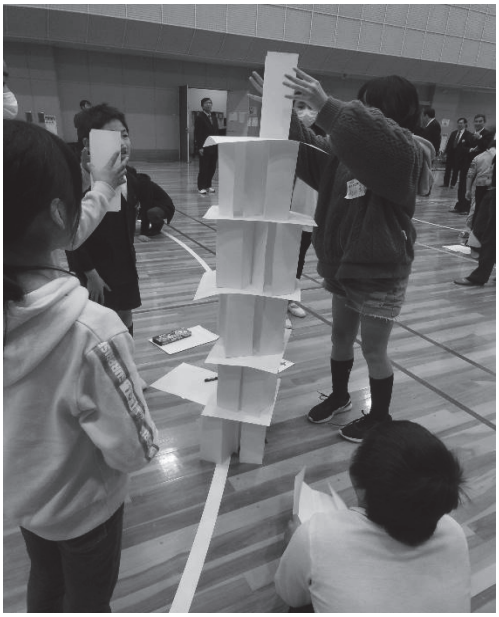
・最後の人が発表をする。

②　「グループで建てろ！」（紙タワー）

・紙を使って制限時間内にタワーを作ります。

③　「聖徳太子ゲーム」

・何人の声を聞き取れるかな。



紙タワー

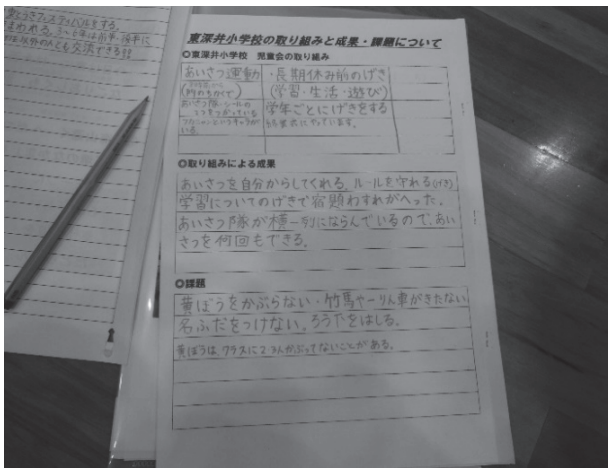
聖徳太子ゲーム

（8）ホームルーム（班ごとに各校の活動紹介）

話し合いは、指導者の手助けを受けながら、子どもたち自身で行っていた。学校の活動を紹介したり、他の学校ではどうしているか尋ねたりして情報を交換した。興味のあったことをメモにする姿も見られた。時間が限られていたが、興味がある話題に関して話を深めていった。

（9）学校ごとの話し合い

今日学んだことを持ち寄り、自分たちの学校での生かし方や集いに参加しての感想を交流した。どの参加校も真剣に話し合っていた。早く今日のことをみんなに伝えたいと感想を述べる児童もいた。



話し合いメモ

ホームルーム

発表原稿作り

（１０）全体会

今後取り組んでみたいことや「つどい」に参加しての感想を学校ごとに発表した。

「初めて会ったのに、協力できて良かった」「ゲームを通して仲良くなれた」「達成感があった」などの感想が聞かれました。

発表のようす

（１１）講　評

堺市立浜寺東小学校長　　白坂　充弘

「今日は皆さんの素晴らしい姿を見せてもらいました。今日学んだことをそれぞれの学校に持ち帰り、できることから実践してください」と講評された。

講　　評

令和元年度 青少年赤十字ギャザリング

１．目　　的　高等学校青少年赤十字メンバーが集まり、お互いの青少年赤十字活動の情報交換をすることにより、新たな取り組みを考える機会とする。

２．日　　時　令和元年１０月１３日（日）

３．会　　場　大阪赤十字会館４階　４０１会議室

４．主　　催　大阪府青少年赤十字指導者協議会
日本赤十字社大阪府支部

５．参 加 者　高等学校青少年赤十字メンバー　３７名
内　大阪府メンバー３０名　兵庫県メンバー４名　奈良県メンバー２名
滋賀県メンバー１名

６．指 導 者　大阪府青少年赤十字指導者　９名
内　賛助奉仕団兼務　１名

７．スタッフ　日本赤十字社大阪府支部　１名

８．内　　容

運営は、大阪府高等学校青少年赤十字メンバー３名が司会、補助６名の計９名の運営委員が活躍し､和やか且つ円滑に実施できた｡スターディー・ツアー報告を聞き、それらを一例にして、ワークショップをおこないました。なお、アイスブレーキングから最後まで１～８ＨＲ（１ＨＲ３～５名)に分かれておこないました。

開会式・司会説明

集合写真

（1）アイスブレーキング　１３：１０～

① 積木式自己紹介

② ペットボトルペン

①積木式自己紹介

ＨＲごとに机を囲み､｢○○さんの隣の△△です｣､その隣は｢○○さんの隣の△△さんの隣の◇◇です｣と継ぎ足しながら自己紹介しました。

②ペットボトルペン

ペットボトル口にサインペンをセットしたペンを、各メンバー人差し指１本のみで使用し、お題を制限時間に画きました。

～休憩５分～　１３：４８～

（２）発表①ネパールスタディー・ツアー
（水の衛生）
　支援をするだけではなく、現地の人の共感を得て衛生改善する取り組みの必要性を石鹸の使い方など具体的に、参加者から説明があった。

報告ネパール

報告バヌアツ

（３）発表②バヌアツスタディー・ツアー
（防災教育）
　自然災害に対して脆弱なメラネシアにあるバヌアツ、赤十字の支援によって学校の防災・減災教育が進んでいると参加者からの現状報告があった。　～休憩５分～

（４）ワークショップ（グループワーク）　１４：４８～
　ネパール、バヌアツの発表を参考にして、私達に出来ることは何かを考える。その際、赤十字７原則を考慮し青少年赤十字実践目標と絡める。さらに、他組織への支援はできないがＷＨＯやＪＩＣＡなどと連携できるとしての設定をした。

（５）ワークショップ発表　１５：４０～　発表順①～⑧は挙手にて
①２ＨＲ（５名）途上国支援を、文化祭などを通して普及する。
②１ＨＲ（４名）途上国支援のための一円玉募金の意義を説明した。
③４ＨＲ（４名）途上国の問題意識から、Facebookなどの媒体を通して防災意識を高める。
④８ＨＲ（５名）小中学校にてゲームをし、一円玉募金に繋げる。
⑤６ＨＲ（４名）途上国にて、感染症防止ポスターなどを使い、水の浄化装置や浄化剤などを普及する。
⑥３ＨＲ（６名）途上国にて、川のごみ拾いして浄化する。
　また、山の水源地からトロッコを敷設する。
⑦５ＨＲ（４名）余剰文具を、途上国に送る。赤十字加盟国を増やし、活動の輪を広げる。
⑧７ＨＲ（４名）日本在住外国人留学生への支援、出身国の課題について考える。

模造紙を使って発表

（６）閉会式　１６：５０～１７：００

司会者３名の閉会挨拶

支部からの助言と連絡

①司会者３名が閉会のお礼の挨拶をした。
　また、司会者は臨機応変に、てきぱきと運営していた。
②支部から、次のような補足助言があった。
　途上国での活動において、上から目線は禁止である。文化や伝統、宗教について理解する。
　プロジェクト終了が全てでなく、持続性のある活動が必要である。受益者の意識として楽しくないとできない。
　最後に諸連絡があり終了した。

令和元年度 ボランティア活動体験学習

１．目　　的　青少年赤十字メンバーが､赤十字ボランティア活動の体験を通じ､赤十字ボランティア活動への理解を深めるとともに、広くボランティア活動への理解と参加の意識を喚起し、青少年赤十字が掲げる実践目標の達成を図る。

２．日　　時　令和元年１２月１５日（日）　（午前）１０：００～１２：００
（午後）１３：００～１５：００

３．場　　所　大阪赤十字社会館
大阪市中央区大手前２丁目１－７　☎０６－６９４３－０７０５

４．参 加 者　青少年赤十字高校生メンバー　２８名

５．指 導 者　赤十字防災ボランティア　３名
ビューティーケア赤十字奉仕団　５名

６．スタッフ　日本赤十字社大阪府支部青少年・ボランティア課　主事　久保　ナミ
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団　１名

７．内　　容

（１）防災ボランティア活動（午前）

①　防災ボランティアの概要、災害時の活動について説明

・避難所の目的
・災害時の学校園の役割
・避難所の機能
・避難所の提供する生活支援内容
・ボランティアの心得
・避難に際しての注意事項
・どんなボランティア活動があるのか

防災ボランティアによる講義の様子

② 炊き出し体験

袋の中の空気を抜いて、赤い線まで米を入れ、水を水の線まで入れて、空気を出し、上も折りまげて、輪ゴム２本でグルグル巻きに括る。沸騰したなべに入れて２０分間炊き、１０分蒸らす。ハイゼックスの袋で炊くと、３日間もつ。

袋の中に米を入れる

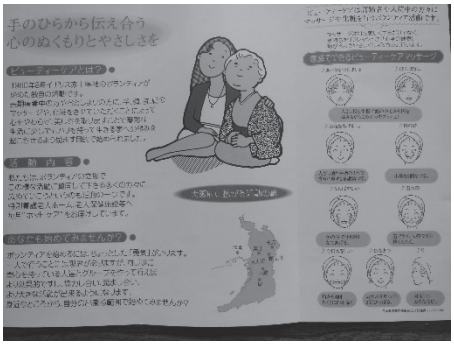
防災ボランティアによるレクチャー

実際に炊き出しをおこなう様子

（２）ビューティーケア活動（午後）

① ビューティーケア赤十字奉仕団活動について

- １９６０年イギリス赤十字社のボランティアが始めた独自の活動
- 長期療養中の方やお年寄りの方に手、顔、首、肩のマッサージや化粧をさせていただくことによって心をやわらげ、美しさを取り戻すことで生きることへの望みを起こさせるよう励ます目的で始められた。
- 手と手のぬくもりを通しながら、心と心を結ぶタッチケアである。



活動パンフレット

② ビューティーケアの活動内容

- ボランティアの立場で「老人ホーム」「介護老人保険施設」グループホーム」等を訪問して「ホットケア」を届けている。
- 知ってもらう。参加してもらうことが大切。
- 「なでる」「さする」を基本として行うケアである。
- 刺激をあたえると言うよりは､むしろ体を楽にするために行うケアである。
- アイコンタクトを取りながらコミュニケーションがとれる。
- 人と人が関わる喜びにより､精神面での健康にも大きな影響をあたえることができる。
- 人と人とのつながりが奉仕者にも喜びをもたらせてくれる。
- 活動後､「ありがとう」と「たくさんの笑顔」をいただく。このことが励みにボランティアの醍醐味である。

活動紹介

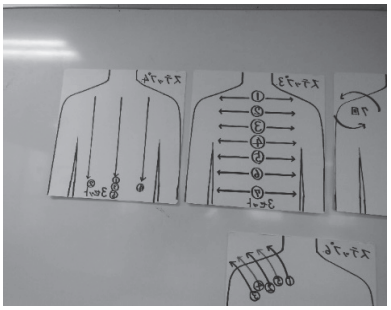
③ 体験活動

- ハンドケアや肩のマッサージ
- クリームを手のひらに取り温める。
- 手のひらを支え、手首から肘までクリームをのばし、マッサージしやすい状態にする。
- 手の甲は中心から外側へ引っ張るように親指と母子急で滑らせる。
- 手のひらも手の甲と同じように行い､たなごころで指圧しながら行う。
- 手首を左手で支え、親指から軽く指をもむ。爪の部分を軽く圧迫する。
- 手首から肘まで力を入れ、右手で擦り上げる。擦り上げた右手がＳ字を描くように力を抜きながら手首に向かう。
- クリームを拭き取り、化粧水と乳液を付ける。

ハンドケア

ハンドケア体験活動

ハンドケア体験活動



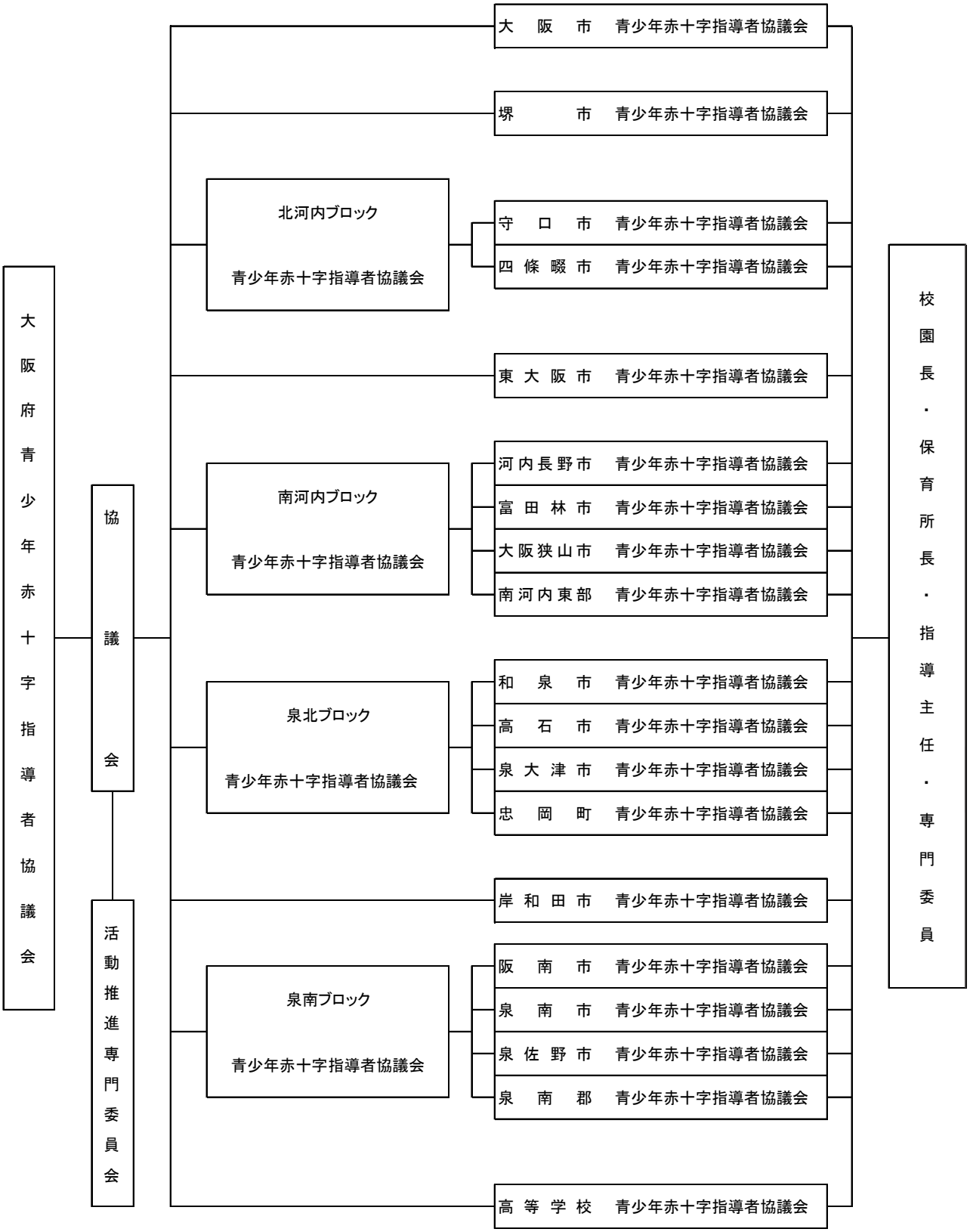
肩マッサージ体験活動

８．参加者した生徒の感想

- 災害時には、炊き出しなどでボランティア活動できたら良いなと思った。
- ビューティーケアボランティアについて、全然知らなかった活動であった。
- 人と触れ合うことで親近感が増し、言葉以外のコミュニケーション手段にもなるということを知った。
- 普段できない体験をした。もっと広まることを期待したい。

Ⅲ　資　　料

大阪府青少年赤十字指導者協議会組織図



令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者協議会名簿

役 職	ブロック	市町村	氏 名	学校名等
会 長	高等学校		天野 久	清明学院高等学校
副会長		大阪市	宮﨑 公洋	大阪市立北粉浜小学校
		堺市	千賀 敏弘	堺市立金岡小学校
	北河内	守口市	廣瀬 浩	守口市立庭窪小学校
	南河内	河内長野市	奥田 恭子	河内長野市立川上小学校
	泉 北	和泉市	上田 晋郎	和泉市立南池田小学校
	泉 南	泉南市	上中 和則	泉南市立信達小学校
委 員	大阪府教育委員会		寺下 憲志	事務局市町村教育室小中学校課首席指導主事
			田中 守	事務局市町村教育室小中学校課指導主事
	北河内	四條畷市	藤原 吉直	四條畷市立四条畷南小学校
		東大阪市	大阪 英児	東大阪市立荒川小学校
	南河内	富田林市	石田 安志	富田林市立彼方小学校
		大阪狭山市	堀内 一憲	大阪狭山市立西小学校
		南河内東部	寺田 宏之	河南町立近つ飛鳥小学校
	泉 北	和泉市	藤原 健二	和泉市立槇尾中学校
		高石市	吉田 種司	高石市立取石小学校
		泉大津市	池側 京子	泉大津市立穴師小学校
		忠岡町	木下 浩美	忠岡町立東忠岡幼稚園
		岸和田市	小林 哲雄	岸和田市立東光小学校
	泉 南	泉佐野市	濵﨑 健太	泉佐野市立末広小学校
		阪南市	坂中 統	阪南市立尾崎小学校
		泉南郡	中原 利明	熊取町立中央小学校
	賛助奉仕団		楠 玲子	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団委員長
顧問			辻本 宗平	前指導者協議会長

令和元年度 大阪府青少年赤十字指導者協議会　青少年赤十字活動推進専門委員名簿

	学校名	氏名
1	忠岡町立東忠岡幼稚園	木下　浩美
2	堺市立家原寺小学校	矢田　佑介
3	堺市立宮園小学校	酒井　実結
4	堺市立深井西小学校	橋川　隆子
5	堺市立日置荘小学校	山藤　久
6	守口市立庭窪小学校	橋本　健司
7	四條畷市立四條畷東小学校	白崎　星美
8	東大阪市立荒川小学校	中里　亜樹
9	東大阪市立鴻池東小学校	小林　孝英
10	東大阪市立八戸の里東小学校	今枝　和与
11	富田林市立彼方小学校	三木　英人
12	河内長野市立南花台小学校	福田 優
13	大阪狭山市立西小学校	清水 祐樹
14	和泉市立南松尾はつが野学園	新谷　千晶
15	和泉市立南池田小学校	上田　晋郎
16	和泉市立北松尾小学校	井上　大輔
17	和泉市立和気小学校	岩崎　生
18	高石市立取石小学校	後藤　江利
19	泉大津市立穴師小学校	黒川　亜弥
20	岸和田市立旭小学校	梅山　和也
21	岸和田市立光明小学校	川口　智嗣
22	岸和田市立大宮小学校	寺林　智仁
23	泉佐野市立長南小学校	木下　瑠々香
24	泉佐野市立末広小学校	山口　友花里
25	泉南市立一丘小学校	赤坂　真
26	泉南市立信達小学校	伊庭　真奈美
27	泉南市立新家東小学校	浦中　寛典
28	泉南市立鳴滝小学校	薗　さくら
29	阪南市立下荘小学校	高井　智香
30	阪南市立朝日小学校	金井　宏樹
31	阪南市立桃の木台小学校	伏見　直己
32	阪南市立尾崎小学校	永田　惠
33	熊取町立中央小学校	関谷　慎一
34	田尻町立小学校	長濵　浩也
35	田尻町立小学校	神野　豊明
36	岬町立深日小学校	佐武　篤
37	守口市立大久保中学校	竹田　誠司
38	四條畷市立四條畷西中学校	西村　ゆかり
39	大阪狭山市立第三中学校	高岡　　拓海
40	和泉市立郷荘中学校	横田　実
41	高石市立高石中学校	木下　ゆかり
42	泉大津市立東陽中学校	神前　香奈
43	大阪府立芦間高等学校	清水 保
44	清明学院高等学校	横山　史典
45	清明学院高等学校	三浦　泰晏
46	清明学院高等学校	谷口　翔一
47	羽衣学園高等学校	谷　一輝
48	高槻高等学校	田中 敏博
49	高槻高等学校	道端 良子
50	建国高等学校	奥菜　津未
51	樟蔭高等学校	杉本　由美子
52	関西学院千里国際高等部	米田　謙三
53	上宮高等学校	池田　竜司
54	大阪市立扇町総合高等学校	岩畑　麻美
55	大阪府立りんくう翔南高等学校	岸本　吉弘
56	大阪府立東住吉高等学校	石 秀伸
57	上宮太子高等学校	漁野　篤史
59	関西大学中等部高等部	林　誠浩

令和元年度 大阪府高等学校青少年赤十字指導者協議会役員名簿

	氏　　名	学　　校　　名	備　　考
1	天　野　　久	清明学院高等学校	会　長
2	清　水　　保	大阪府立緑風冠高等学校	副会長
3	横　山　史　典	清明学院高等学校	副会長
4	田　中　敏　博	高槻高等学校	会　計
5	米　田　謙　三	関西学院千里国際高等部	監　査

※本協議会は、青少年赤十字加盟高等学校の校長及び指導者をもって
　構成される。

大阪府青少年赤十字指導者協議会　歴代正･副会長

※昭和24年～昭和25年　大阪府青少年赤十字振興委員会　（会長･副会長は教諭）
※昭和26年～昭和57年　大阪府青少年赤十字振興会　　（会長･副会長は校長）
※昭和58年～現在　　大阪府青少年赤十字指導者協議会（会長･副会長は校長）

昭和24年～令和元年度

年度	会長	副会長					
昭和24	山本貢（福小）	内田正二郎（布施第一中）	―	―	―	―	―
25	山本貢（福小）	―	―	―	―	―	―
26	小田秀夫（福小）	中川時三（三郷小）	―	―	―	―	―
27	小田秀夫（福小）	中川時三（三郷小）	―	―	―	―	―
28	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
29	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
30	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
31	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
32	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
33	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
34	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
35	辻田安太郎（東陶器小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
36	辻田安太郎（東浅香山小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
37	辻田安太郎（東浅香山小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
38	辻田安太郎（東浅香山小）	天野隆（住吉学園高）	―	―	―	―	―
39	辻田安太郎（東浅香山小）	天野隆（住吉学園高）	松井龍蔵（恵美小）	―	―	―	―
40	辻田安太郎（東浅香山小）	天野隆（住吉学園高）	松井龍蔵（恵美小）	―	―	―	―
41	辻田安太郎（登美丘東小）	天野隆（住吉学園高）	松井龍蔵（恵美小）	―	―	―	―
42	辻田安太郎（登美丘東小）	天野隆（住吉学園高）	寺川義三（日東小）	―	―	―	―
43	辻田安太郎（登美丘東小）	天野隆（住吉学園高）	寺川義三（日東小）	―	―	―	―
44	辻田安太郎（登美丘東小）	天野隆（住吉学園高）	長谷澤義英（恵美小）	―	―	―	―
45	辻田安太郎（登美丘東小）	天野隆（住吉学園高）	長谷澤義英（恵美小）	―	―	―	―
46	春木清（南池田小）	天野隆（住吉学園高）	黒瀬勲（恵美小）	―	―	―	―
47	天野隆（住吉学園高）	福井兼太郎（長栄中）	黒瀬勲（恵美小）	板原智照（泉北府民センター）	―	―	―
48	天野隆（住吉学園高）	福井兼太郎（長栄中）	黒瀬勲（恵美小）	板原智照（泉北府民センター）	―	―	―
49	天野隆（住吉学園高）	福井兼太郎（長栄中）	黒瀬勲（恵美小）	板原智照（泉北府民センター）	―	―	―
50	天野隆（住吉学園高）	福井兼太郎（長栄中）	吉田保雄（恵美小）	板原智照（泉北府民センター）	―	―	―
51	天野隆（住吉学園高）	小坂嘉清（美原中）	吉田保雄（恵美小）	芝本利夫（三国丘小）	―	―	―
52	天野隆（住吉学園高）	小坂嘉清（美原中）	吉田保雄（恵美小）	芝本利夫（三国丘小）	―	―	―
53	天野隆（住吉学園高）	奥野浩（富田林第三中）	吉田保雄（恵美小）	芝本利夫（三国丘小）	―	―	―
54	天野隆（住吉学園高）	奥野浩（富田林第三中）	吉田保雄（恵美小）	芝本利夫（三国丘小）	―	―	―
55	天野隆（住吉学園高）	奥野浩（富田林第三中）	高原英一（喜連東小）	溝川清二（和気小）	―	―	―

56	天野　隆（住吉学園高）	西野安弘（河内長野東中）	高原英一（喜連東小）	古谷保一（北中小）	—	—	—	
57	天野　隆（住吉学園高）	西野安弘（河内長野東中）	高原英一（喜連東小）	古谷保一（北中小）	—	—	—	
58	天野　隆（住吉学園高）	浜田宏作（富田林第三中）	高原英一（喜連東小）	古谷保一（北中小）	—	—	—	
59	天野　隆（住吉学園高）	浜田宏作（富田林第三中）	東　隆明（榎本小）	池邊哲治（国府小）	—	—	—	
60	天野　隆（住吉学園高）	浜田宏作（富田林第三中）	東　隆明（榎本小）	池邊哲治（国府小）	—	—	—	
61	天野　隆（住吉学園高）	浜田宏作（富田林第三中）	楠瀬　修（喜連東小）	池邊哲治（国府小）	—	—	—	
62	天野　隆（住吉学園高）	浜田宏作（富田林第三中）	南平　浩（恵美小）	池邊哲治（国府小）	—	—	—	
63	天野　隆（住吉学園高）	梅木永男（忠岡中）	南平　浩（恵美小）	佐々木繁夫（平尾小）	—	—	—	
平成元	天野　隆（住吉学園高）	梅木永男（忠岡中）	山崎信和（敷津小）	佐々木繁夫（平尾小）	—	—	—	
2	天野　隆（住吉学園高）	梅木永男（忠岡中）	川上豊高（東小橋小）	中井又夫（尾崎小）	—	—	—	
3	天野　隆（住吉学園高）	川島邦夫（忠岡中）	川上豊高（東小橋小）	橋本一三五（浜寺石津小）	—	—	—	
4	天野　隆（住吉学園高）	川島邦夫（忠岡中）	川上豊高（東小橋小）	橋本一三五（浜寺石津小）	—	—	—	
5	天野　隆（住吉学園高）	水本昌一（河内長野東中）	川上豊高（東小橋小）	中西滋芳（尾崎小）	—	—	—	
6	中西通夫（浪速女子高）	千原勝信（若松台中）	杉岡徳弘（梅南小）	中西滋芳（尾崎小）	—	—	—	
7	中西通夫（浪速女子高）	小島孝敏（国府小）	杉岡徳弘（梅南小）	中西滋芳（尾崎小）	—	—	—	
8	中西通夫（浪速女子高）	小島孝敏（国府小）	杉岡徳弘（梅南小）	辻本宗平（砂川小）	—	—	—	
9	辻本宗平（砂川小）	天野　久（住吉学園高）	沼本　宏（梅南小）	石田　健（河内長野西小）	—	—	—	
10	辻本宗平（砂川小）	天野　久（住吉学園高）	沼本　宏（梅南小）	植田裕之（谷川中）	—	—	—	
11	辻本宗平（新家小）	天野　久（住吉学園高）	沼本　宏（梅南小）	植田裕之（大東中）	—	—	—	
12	辻本宗平（新家小）	天野　久（清明学院高）	沼本　宏（梅南小）	植田裕之（大東中）	—	—	—	
13	辻本宗平（新家小）	天野　久（清明学院高）	沼本　宏（梅南小）	植田裕之（大東中）	—	—	—	
14	天野　久（清明学院高）	楠　玲子（福泉上小）	沼本　宏（梅南小）	植田裕之（諸福中）	—	—	—	
15	天野　久（清明学院高）	楠　玲子（三国丘小）	日根利栄（梅南小）	植田裕之（諸福中）	—	—	—	
16	天野　久（清明学院高）	楠　玲子（三国丘小）	日根利栄（梅南小）	植田裕之（諸福中）	—	—	—	
17	天野　久（清明学院高）	楠　玲子（三国丘小）	日根利栄（梅南小）	向山昭憲（守口一中）	—	—	—	
18	天野　久（清明学院高）	楠　玲子（三国丘小）	日根利栄（梅南小）	向山昭憲（守口一中）	—	—	—	
19	天野　久（清明学院高）	小山久子（三国丘小）	日根利栄（梅南小）	西川満男（守口四中）	大平原惠（上荘小）	向井哲夫（狭山南第一小）	—	
20	天野　久（清明学院高）	小山久子（三国丘小）	西元明子（福　小）	西川満男（守口四中）	大平原惠（上荘小）	森田宗二（千早小吹台小）	—	
21	天野　久（清明学院高）	小山久子（三国丘小）	西元明子（福　小）	長池吉澄（守口三中）	永井孝和（彼方小）	川﨑隆史（鶴山台南小）	根田　渡（信達小）	
22	天野　久（清明学院高）	寺田眞澄（三国丘小）	西元明子（福　小）	長池吉澄（大久保中）	瀧澤　巖（川上小）	堀田　亨（光明台南小）	根田　渡（信達小）	
23	天野　久（清明学院高）	寺田眞澄（三国丘小）	西元明子（福　小）	長池吉澄（大久保中）	長谷雄二（大阪狭山東小）	井阪美智夫（青葉はつが野小）	成子　洋（上荘小）	
24	天野　久（清明学院高）	寺田眞澄（三国丘小）	西元明子（福　小）	渡辺　洋（錦　中）	長谷川俊明（近つ飛鳥小）	井阪美智夫（青葉はつが野小）	成子　洋（東鳥取小）	
25	天野　久（清明学院高）	米川　潤（原山台小）	西元明子（福　小）	渡辺　洋（錦　中）	川上真次（彼方小）	井阪美智夫（青葉はつが野小）	濱﨑義則（新家小）	
26	天野　久（清明学院高）	米川　潤（宮園小）	西元明子（福　小）	渡辺　洋（錦　中）	森中教之（川上小）	井阪美智夫（青葉はつが野小）	濱﨑義則（新家小）	
27	天野　久（清明学院高）	米川　潤（宮園小）	宮﨑公洋（湯里小）	多井中慶司（錦　小）	中川誠己（第三中）	井阪美智夫（鶴山台南小）	竹田茂久（舞　小）	
28	天野　久（清明学院高）	米川　潤（宮園小）	宮﨑公洋（湯里小）	多井中慶司（錦　小）	松尾善清（近つ飛鳥小）	井阪美智夫（鶴山台南小）	竹田茂久（舞　小）	
29	天野　久（清明学院高）	米川　潤（宮園小）	宮﨑公洋（北粉浜小）	廣瀬　浩（庭窪小）	大北宗建（彼方小）	前田能成（鶴山台南小）	上中和則（信達小）	
30	天野　久（清明学院高）	米川　潤（宮園小）	宮﨑公洋（北粉浜小）	廣瀬　浩（庭窪小）	奥田恭子（川上小）	前田能成（鶴山台南小）	上中和則（信達小）	
令和元	天野　久（清明学院高）	千賀敏弘（金岡小）	大阪英児（荒川小）	廣瀬　浩（庭窪小）	奥田恭子（川上小）	上田晋郎（南池田小）	上中和則（信達小）	

大阪府青少年赤十字賛助奉仕団規約

（名称）
第１条　本団は、大阪府青少年赤十字賛助奉仕団と称する。
（事務局）
第２条　本団の事務局は「日本赤十字社大阪府支部内」に置く。
（目的）
第３条　本団は、青少年赤十字活動の普及、発展および加盟促進に協力し、青少年の健全育成に寄与するとともに、日本赤十字社大阪府支部の行う事業に協力する。
（運営の基本）
第４条　本団は、赤十字奉仕団規則および本規約の定めるところに基いて運営するものとする。
（活動）
第５条　本団は、日本赤十字社大阪府支部、大阪府青少年赤十字指導者協議会および府下の各赤十字奉仕団と連携して、次の活動を行う。
(1) 青少年赤十字への加盟促進
(2) 青少年赤十字加盟校に対する指導、育成
(3) 青少年赤十字指導者の育成
(4) 日本赤十字社大阪府支部の各種事業に対する協力
(5) 団員相互の研修と親睦
(6) その他、本団の目的達成に必要な活動
（構成）
第６条　本団の団員は、大阪府における青少年赤十字指導者ならびに前指導者、本規約第 3 条の目的に賛同するものによって構成する。
（入団および登録）
第７条　団員は本規約第 6 条を満たす者とし、入団者は団員登録票を委員長に提出することにより登録するものとする。
2　団員は、年度当初に登録を更新しなければならない。
3　委員長は団員名簿を作成し、常に所属団員の団籍を明らかにし、年度当初に支部長に報告しなければならない。
（退団）
第８条　団員は、所定の手続きにより役員会を通して退団することができる。
2　団員は、次の各号の一に該当するときは、これを除籍する。
(1) 死亡したとき。
(2) 休団を除き長期間本団活動に参加しなかったとき。
(3) 登録更新を行わなかったとき。
(4) 本団の趣旨に反する行為があったとき。
(5) 役員会において除籍の決定がなされたとき。
（機関）
第９条 本団に、次の機関を置く。
(1) 総会
(2) 役員会
（総会）
第 10 条 総会は、本団員をもって構成する。
2　定例総会は年 1 回とし、必要に応じて臨時総会を召集することができる。
3　総会は、団員の過半数の出席（但し委任状を含む）をもって成立し、その決議は出席者の過半数をもって決する。
4　総会は次に掲げる事項を決議する。
(1) 事業計画ならびに予算
(2) 事業報告ならびに決算
(3) 役員の選出
(4) 規約の改廃
(5) その他、重要な事項
（役員）
第 11 条　本団に次の役員を置く。
(1) 委員長　　1 名
(2) 副委員長　　若干名
(3) 理事　　若干名
(4) 庶務・会計　　若干名
(5) 会計監査　　若干名
2. 役員の任期は 1 年とする。但し再任を妨げない。
3. 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
（役員の職務）
第 12 条　役員の職務は、次のとおりとする。
(1) 委員長は、本団を代表し、その業務を統括する。
(2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、委員長が指名する副委員長がその職を代行する。
(3) 理事は、本団の運営にかかわる諸業務を行う。
(4) 庶務・会計は、本団に関する庶務および会計の事務を行う。
(5) 会計監査は、本団に関する会計監査を行う。
（顧問）
第 13 条　本団に顧問を置くことができる。
2　顧問は委員長が委嘱し、総会で承認を得る。
（役員会）
第 14 条　役員会は、本団役員で構成する。
2　役員会は、必要に応じ随時委員長が召集し、開催する。
（役員会の任務）
第 15 条　役員会は、総会で委託された事項の審議、執行にあたる。
(1) 本団の活動計画に関すること。
(2) 収支予算ならびに決算に関すること。
(3) 奉仕活動に必要な事項の調査および研究に関すること。
(4) 団員の研修等に関すること。
(5) その他、本団の運営に関すること。
（団費）
第 16 条　本団の運営に必要な経費として、団費を徴収する。
（経費）
第 17 条　本団の経費は、団費、支部助成金その他の収入をもって支弁する。
（会計年度）
第 18 条　本団の会計年度は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日をもって終わる。

付　則
この規約は、平成 14 年 6 月 1 日より施行する。
平成 24 年 6 月 16 日一部改正。

令和元年度　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団組織表

【委 員 長】楠　玲子　　【副委員長】橘　良寛　大瀬佳男　日根利栄
【会　　計】辻　博光　　【庶　　務】磯部和夫　井上日出男　八尾英規　奥田光則
【会計監査】澤田久子　　【顧　　問】辻本宗平　玉村輝雄　中村直子
【理　　事】金井　進　堀内義夫　奈良慶治良　萬野美恵子　太田健一　遠藤敏文
金井保則　西元明子　竹田茂久　永田　惠　神野豊明　清水　保
小笠原三生子　西尾信子　中村初代

◎ 役員は「報告書作成委員」を兼ねる。

No	氏　名	最終勤務校	入団
1	金井　進	堺市登美丘西小	H２
2	山崎信和	大阪市敷津小	H２
3	道簱四郎	千早赤阪村赤阪小	H３
4	堀内義夫	高石市高石小	H４
5	玉村輝雄	熊取町中央小	H７
6	島野勝義	河内長野市川上小	H９
7	橘　良寛	和泉市北松尾小	H９
8	水本昌一	河内長野市長野東中	H９
9	奈良慶治良	高石市東羽衣小	H11
10	藤田邦生	高石市羽衣小	H12
11	宮先郁夫	阪南市東鳥取小	H12
12	中村直子	堺市百舌鳥小	H13
13	藤原武久	和泉市鶴山台北小	H13
14	竹中英雄	和泉市和気小	H15
15	辻本宗平	泉南市新家小	H15
16	西川義徳	和泉市石尾中	H15
17	萬野美恵子	和泉市伯太小	H15
18	太田健一	熊取町西小	H16
19	堀川不可止	和泉市光明台南小	H16
20	宮武正信	和泉市鶴山台北小	H17
21	辻　治	和泉市鶴山台南小	H17
22	橋野　蔵	和泉市和泉中	H17
23	岸田淳一	和泉市北池田中	H17
24	出口邦昭	和泉市北池田小	H17
25	辻　正夫	泉佐野市第三小	H18
26	磯部和夫	堺市東三国丘小	H18
27	井上日出男	高石市高石小	H19
28	山本喜久夫	和泉市信太中	H19
29	楠　玲子	堺市三国丘小	H19
30	大瀬佳男	清明学園高	H19
31	藤本幸晴	和泉布南池田小	H19
32	安井和美	泉佐野市長南小	H19

No	氏　名	最終勤務校	入団
33	遠藤敏文	忠岡町忠岡小	H20
34	中逵武美	和泉市光明台小	H20
35	日根利栄	大阪市梅南小	H20
36	大平原恵	阪南市上荘小	H21
37	金井保則	田尻町立小	H21
38	高橋俊宗	和泉市北池田小	H21
39	田中荘太郎	和泉市横山小	H22
40	辻　博光	岸和田市常磐小	H23
41	森富士雄	和泉市青葉はつが野小	H23
42	田口廣幸	和泉市緑ヶ丘小	H23
43	根田　渡	泉南市信達小	H23
44	小川正人	泉佐野市日新小	H23
45	大西　拓	和泉市槇尾中	H23
46	金谷忠男	和泉市光明台中	H23
47	井野久美子	堺市東深井小	H24
48	泉谷笑子	堺市東三国丘小	H24
49	奥田光則	和泉市信太中	H26
50	八尾英規	岸和田市八木北小	H26
51	堀田　亨	和泉市和気小	H26
52	林　俊樹	忠岡町忠岡小	H26
53	西元明子	大阪市福小	H27
54	澤田久子	高石市取石小	H28
55	竹田茂久	阪南市舞小	H29
56	永田　惠	阪南市尾崎小	H29
57	神野豊明	田尻町立小	H30
58	寺田真澄	堺市三国丘小	H30
59	清水　保	大阪府緑風冠高	H30
60	小笠原三生子	堺市八下西小	H30
61	西尾信子	大阪市生野小	H30
62	中村初代	大阪市東井高野小	H30
63			
64			

年表（大阪府青少年赤十字の足跡）

※　記載した「ことがら」は資料により確認できたもののみとした。従って、実施したもので
あっても記載していない場合がある。なお、◇印は月日不詳の内容を示す。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		◇	・アメリカ､カナダ、オーストラリアの子どもたちが、第一次大戦（1914～1918）で被災したヨーロッパの児童達に慰問文・慰問品を贈って力づけた。
大正８	1919	５	・赤十字社連盟結成、第一回総会で「すべての国で、その国の少年赤十字を養成しよう」と決議。
大正10	1921	５	・日本赤十字社は、赤十字社連盟の決議に歩調を合わせて本部規則を改正し、調査部を新設してその中に『少年赤十字』の組織の結成をうたった。
		１０	・全国主事会で少年赤十字の設置と組織に関する大綱を説明し、各支部に少年赤十字の設置を指示。
大正11	1922	◇	・赤十字社連盟の第２回総会で「少年赤十字の内容を示す綱領」を決定。
		５	・５日、「日本赤十字社少年赤十字実施方案」を制定し、「少年赤十字の組織要項」を各支部に通達。目的は、(一)健康の保持増進(一)良国民たるの理解体得(一)赤十字博愛精神の涵養
大正12	1923	１	・新しく誕生した少年赤十字のために『少年赤十字歌』を募集、大阪市集英小学校の松下繁蔵氏の作品が３等に入賞、１等とともに『少年赤十字歌』に採用された。
		７	・１４日、大阪市広教、日吉、三軒家第一、泉尾第一、市岡第六、西九条少年赤十字団の６団結成。
		７	・１７日、春日出少年赤十字団結成。
		７	・２３日、高台少年赤十字団結成。
大正14	1925	６	・１０日、少年赤十字に関する「御諭旨」が出された。
昭和10	1935	７	・２９～３１日、四条畷神社で少年赤十字指導者の講習会を開催。
昭和11	1936	◇	・パリで世界の少年赤十字の児童作品展覧会を開催、大阪の集英小学校が人形や絵画を出品。
		３	・大阪市築港小学校の林　節太君が本社から「善行賞」を受賞。
		４	・大阪市の少年赤十字が日赤大阪支部病院国際庭園の花の種子を府下の小学校に贈った。
		８	・６日、桜井の駅跡で本社より講師を招き指導者対象の講演会を開催。
昭和12	1937	３	・大阪市恩加島少年赤十字の中村幸男君が、本社から「善行賞」を受賞。
		１０	・５日、大阪市東区の軍人会館で全国に先駆けて「大阪青年赤十字団」の発団式を挙行、このときから大阪では「青少年赤十字」の名称が使われた。
昭和14	1939	５	・不幸な戦争で被害を受けた中国の児童に学用品を送った。（第１回）
		７	・２５日～２６日、学校の夏休みを利用して、兵庫県川西村で一泊二日の少年赤十字の野営訓練を実施。
昭和15	1940	３	・不幸な戦争で被害を受けた中国の児童に学用品を送った。（第２回）
		６	・２５日から２７日、本社主催『第１２回少年赤十字講習会』を天王寺高等女学校で開催。
昭和20	1945	８	・１５日、大平洋戦争終結、大阪は被害が大きく廃墟の中で苦しい生活を余儀なくさせられた。
昭和21	1946	◇	・日本赤十字社は「青少年赤十字事業振興に関する件」の通達を全支部に送った。この通達を受けて、大阪府支部は各学校の青少年赤十字の復活をはかるよう呼びかけた。
昭和22	1947	３	・アメリカ赤十字社のバセット顧問が日本の青少年赤十字を指導するために来日。
		４	・教育基本法が制定され、小学校６年、中学校３年の義務教育となった。
昭和23	1948	◇	・『トレーニング・センター訓練主任講習会』が始まった。
		７	・日本赤十字社は新制度による「青少年赤十字の手引き」を作成、これによって新制度の青少年赤十字を組織するよう指示（少年赤十字団→青少年赤十字　JuniorRedCross《J.R.C》）【以下特定名称等を除き、青少年赤十字をＪＲＣと表記する】
昭和24	1949	◇	・大阪府の加盟校が集まって『青少年赤十字振興会』を設置。
		◇	・この年、６団：２，２６８名が登録。
		１	・２５日、大阪市立福小学校、泉佐野市立第一小学校、大阪市立扇町商業高等学校の３校で新しいＪＲＣが発足。
		２	・２１日、ＪＲＣの指導法研究会が発足。
		３	・２２日、新しい青少年赤十字の拡充のため、市教委と話し合いの場を持つ。
		３	・２４日、新しい青少年赤十字の拡充のため、府教委と話し合いの場を持つ。
		５	・２日、中之島公会堂で『青少年赤十字団結成促進子供大会』を開催。
		７	・２２日、青少年赤十字振興会を設置。日赤本社が「青少年赤十字団員２００万増強運動」を展開、府支部も「団員１０万人運動」を始めた。

年	西暦	月	こ と が ら
		１２	・５日、大阪市で“大阪市青少年赤十字教育懇談会”を持った。 ・７日、１泊２日で守口市の加盟校の指導者（当時は補導者と呼称）対象に高槻市神峰山寺で支部の『第１回指導者講習会』を開催。
昭和25	1950	◇	・指導法研究会の実験指定校：大阪市立福小学校、南河内郡富田林町立第一小学校、泉佐野市立第一小学校で研究発表会を開催。
		４	・日赤本社が「国際通信、国内通信、国際国内の絵画の交換計画について」の小冊子を作って加盟校に送付、交流・親善を指導。
		５	・８日、府支部ＪＲＣメンバーは大阪城公園教育塔の前に集結、『世界赤十字デー』の大集会を開催、平和大行進を実施した。
		５	・１３日、長野県上松町の大火災に際し、大阪市立生野小学校ＪＲＣが義援金と慰問品を送った。
		９	・ジェーン台風で多くの学校が大きな被害を受けた。被害の少なかった学校から義援金や救援物資が届けられ、他府県ＪＲＣからもたくさんの義援金や慰問品が届いた。
昭和26	1951	◇	・新学習指導要領でＪＲＣは教科外の指導とされたため、学校現場ではＪＲＣへの関心が薄れてきた。
		◇	・本社から「アルバム作り」のマニュアルが出された。国内中心にアルバム交換が盛んに行われるようになった。
		◇	・近畿地区の指導者や関係者がお互いに助け合えるように、大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山、滋賀、三重の２府５県で近畿ブロック協議会を結成。
		◇	・泉佐野市立第一小学校と奈良県吉野郡大淀町大淀第三小学校が交歓学習。
		３	・４日～５日、一泊二日で貝塚市二色浜「海の家」で、富田林市、泉北、泉南ブロックの小中学校の先生方が集まり『第２回指導者講習会』を受講。
		５	・１４日、アメリカよりギフトボックス９１２個が贈られた。
		５	・２０日、京都嵯峨天龍寺で高校ＪＲＣの『リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		６	・１９日、岸和田高校で『ＪＲＣに関する講演会』を開催。
		６	・１３日、和歌山県支部で近畿ブロックの指導者が集まって講習会を開催。以降毎年各支部が持ち回りで指導者研修を目的に開催することに決定。（二泊三日で６月下旬に実施すること）
		６	・１５日、『近畿ブロック青少年赤十字協議会』が発足。
		７	・８日、旧ＪＲＣ「清和会」会則修正、発起人会により９月から月１回の広報を出す。
		７	・２２日～２３日、岸和田観光協会の山の家で、岸和田市の各学校ＪＲＣ『指導者講習会』を開催。
		７	・２５日～３０日までの６日間、和歌山県西牟婁郡の藤島保養所で府下の中学校の『第１回トレーニング・センター』を開催。
		７	・夏休みに和歌山県田辺市で『小学生トレーニング・センター』を開催。
		８	・８日～９日、吉野山正智院で、富田林・泉北地区が合同で『指導者講習会』を開催。
		１０	・１７日、青少年赤十字団歌『空は世界へ』レコードをビクターより発売。
		１１	・１９日、大阪中央郵便局後援の年賀状版画コンクールに参画・協力。
昭和27	1952	◇	・指導法研究会の実験指定校：泉佐野市立第一小学校、大阪市住吉学園高等学校、富田林町立川西小学校、泉北郡東陶器小学校、泉北郡東陶器中学校、泉南町立信達小学校、岸和田市立山直小学校。
		◇	・日本赤十字社創立７５周年記念展覧会を大阪市の三越百貨店で開催。府支部の小・中・高校ＪＲＣメンバーが自分たちのアルバムを作成し各地に送った。〈７月４日、守口市立三郷小学校より４８ヵ国へ各一冊送付〉
		◇	・国内のアルバム交換、１２２校に増加、国外対象国５７、府支部より「国際通信」の号外が出された。
		３	・２１日～２３日、『高校生トレーニング・センター』を貝塚市二色浜で開催。
		４	・１５日、北海道十勝沖地震義援金を送る。
		５	・２３日～２４日、貝塚市二色浜海の家で『泉南市の指導者講習会』を開催。
		７	・１日、日赤本社青少年課より「青少年赤十字資料第一集」発行。
		７	・２５日～２６日、一泊二日で箕面市の北摂山荘で、府下の全加盟校の先生方が集まって『第３回指導者講習会』を受講。
		７	・２５日～２９日まで、藤島保養所で『小学生トレーニング・センター』開催。
		７	・２９日～８月１日まで、同所で『中学生トレーニング・センター』開催。
		８	・１日～３日まで、同所で『高校生トレーニング・センター』開催。
		８	・リーダーシップ・トレーニング・センターを廃止、各ブロックのトレーニング・センターを実施することになった。以降トレーニング・センターは各ブロックが学校で実施。 ☆泉北ブロック：８月３日～　５日：楠公道場 ☆富田林ブロック：８月５日～　６日：観心寺 ☆大阪市ブロック：８月７日～１０日：和歌山県下津 ☆泉南ブロック：８月８日～　９日：岸和田牛滝山の家

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			☆岸和田ブロック：８月６日～　７日：岸和田牛滝山の家
			☆布施市ブロック：８月５日～　７日：信貴山僧坊
		１０	・３１日、日赤府支部で京阪、扇町、福島、住吉学園のＪＲＣメンバーと、東京都立杉並高校ＪＲＣメンバーが交歓会を開いた。
昭和28	1953	◇	・国内のアルバム交換１３８校、国外１２校になった。
		◇	・『府支部主催トレーニング・センター』を生駒山で開催。
		◇	・『府主催高校生トレーニング・センター』始まる。
		◇	・この年以降毎年、泉南地区の指導者講習会を、一泊二日または二泊三日で定期的に開催。
		７	・１５日、九州地方へ泉南郡小学校長会より水害義援金を送る。
		１２	・２０日～３１日、大阪府のＪＲＣが年末たすけあい活動として『薄幸の子らに正月の餅を届ける運動』を開始、その後『愛のひとにぎり心持ち運動』となり歳末恒例の行事として長く続いている。
		１２	・２６日、「中学生手引き書」作成。
		１２	・２８日、アメリカ赤十字奉仕団より、病院慰問の目的でクリスマスプレゼントを贈られた。
昭和29	1954	◇	・『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で開催。
		◇	・日本赤十字社の特別後援による短編映画「手をつなぐ少年達」（昭和２９年版）を制作。
		５	・『府青少年赤十字大会』を中ノ島中央公会堂で開催。
		５	・１日、ニューヨークにおける『第２回世界青少年会議』に１名派遣。
		５	・国内アルバム交換８１校、国外アルバム交換８校。
		１１	・１４日～１７日、日赤本社及び東京都港区芝公園で『第４回青少年赤十字全国大会』を開催、府支部からも小中高各２名と係員が参加。
昭和30	1955	◇	・『府支部主催トレーニング・センター』を滋賀県日吉神社で開催。
		５	・８日、中ノ島中央公会堂で『府下青少年赤十字大会』を開催。
		５	・２５日～３０日、静岡県御殿場東山荘で『本社主催トレーニング・センター指導者養成講習会』を開催。
		７	・２５日～２６日、『府支部主催第１回補導者会議』を北摂津山荘で開催。
昭和31	1956	◇	・北海道大冷害救護のためＪＲＣが米をひとにぎりずつ学校に持ち寄ったことから『ひとにぎり』という言葉が生まれた。
		◇	・河内長野市観心寺で『府支部泉北地区共催補導者講習会』開催。
		６	・２４日～２５日、観心寺で『泉北地区女子ＪＲＣ補導者講習会』開催。
		７	・２８日～３０日、『府支部主催トレーニング・センター』を奈良県吉野山で実施。
昭和32	1957	◇	・青少年赤十字再出発１０周年記念事業として『一円玉募金』を始めた。
		◇	・『府支部主催トレーニング・センター』開催。
		７	・１日、『府支部主催青少年赤十字の集い』を大手前会館で実施。
昭和33	1958	◇	・学校でのＪＲＣの指導は教科外活動として位置付け、指導の仕方が明確になった。しかし、課外活動の時間の減少や教師の時間外指導の規制などでだんだん低調になってきた。
		◇	・『府支部主催補導者講習会』を一泊二日で実施。
		◇	・『府支部主催トレーニング・センター』開催。
		６	・府支部の中学生メンバー２名と高校生メンバー２名が、沖縄面を訪問、交歓に出席。
		７	・１日、大手前会館で日赤創立８０周年を祝う『青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・在阪東南アジア留学生を支部に招き、高校ＪＲＣメンバーがお茶の会を開いた。
昭和34	1959	◇	・小・中・高校のＪＲＣメンバーは、１校１冊の日常生活記録アルバムを作り世界各国に郵送。
		◇	・２２号台風で被害を受けた東海地方の『罹災地救援活動』を展開。
		７	・３日～４日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		７	・２７日～２９日、『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で実施。
		８	・１日～２日、府高校ＪＲＣが、国鉄・天王寺駅と大阪駅、阪神・梅田駅、阪急・梅田駅で『旅の新生活運動・公衆道徳高揚運動』への協力を呼びかけた。
		１１	・９日、泉南郡樽井小で『補導者講習会』開催。
		１１	・１６日～２９日、『ＪＲＣ国際親善週間』を実施。
		１１	・２２日、中ノ島で在阪の東南アジア留学生１５０名を招き、高校ＪＲＣメンバーと交歓パーティを開いた。
		１２	・２１日～２２日、同所で『新生活運動』を呼びかけた。
昭和35	1960	◇	・夏休みに、府高校ＪＲＣメンバーが、京阪・天満橋駅、近鉄・上六駅と阿倍野駅、南海・難波駅に立って『新生活運動』を呼びかけた。
		◇	・１５号台風の『罹災地救援活動』を展開。
		◇	・中国の撫順に未だ抑留されている大阪の人３名のために、府高校ＪＲＣメンバーが一日も早い帰国を祈り、大阪名物の「粟おこし」と「海苔」に慰問文や写真を添えて送った。

年	西暦	月	こ と が ら
		◇	・大阪の青少年赤十字協議会は、各地区のブロック青少年赤十字大会を毎年９月から１１月の間に開催。
		２	・４月にかけて、高等学校ＪＲＣメンバーが、毎週土曜日の午後、点字講習を受けた。
		５	・日赤本社は赤十字運動月間に、『赤十字思想誕生１００周年』を記念して、全国の小、中学生から作文を募集。府支部では応募作品の中から小・中・各３点を選び本社の送付。
		５	・１６日～２０日、沖縄県支部ＪＲＣメンバーが府支部を訪問、大阪のＪＲＣメンバーと交歓会を開いた。
		５	・府高校ＪＲＣメンバーが、中国・撫順の外地抑留者に慰問文・慰問品を送った。
		７	・『府支部主催補導者協議会』を犬鳴山で実施。
		７	・２７日～２９日、『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で実施。
		１１	・１日、府高校ＪＲＣメンバーが、灯台記念日を前に和歌山市加太の友ヶ島灯台をたずね慰問した。
		１１	・１３日、和泉市国府小学校で『泉北ブロック青少年赤十字大会』を開催。
		１１	・２２日、大手前会館で『赤十字思想誕生１００周年』を記念して『アンリー・ヂュナンをたたえる集い』を開催。
		１２	・９日、泉南郡尾崎小学校で『泉南ブロック青少年赤十字大会』開催。
		１２	・年末、府高校ＪＲＣメンバーが、北朝鮮帰還者の乗った列車が大阪駅に停車中、湯茶の接待をした。大阪発の列車の時は手荷物の運搬や体の悪い人の介護をして感謝された。
昭和36	1961	◇	・チリ地震の『罹災者救援活動』を展開。
		◇	・府高校ＩＲＣメンバーが、淡路島北端の江崎灯台を慰問。
		◇	・府支部で「青少年赤十字団標旗」を作成し各団に配布。
		５	・日赤本社の『愛の献血運動』の呼びかけに応じ、府高校ＪＲＣの『愛の献血グループ』ができた。
		６	・３０日～７月１日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		７	・２６日から２８日、『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で実施。
昭和37	1962	３	・２６日～４月１日、神戸六甲山ユースホステルで『府主催青少年赤十字スタディセンター』を開催。
		５	・１３日、府赤十字展示会を「桃山学院大学」で開催。
		６	・２９日～３０日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		７	・３０日～８月１日、『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で実施。
		８	・１０日から１３日、『府支部主催高等学校トレーニング・センター』を浜寺青少年の家で実施。
		１１	・１日、府高校ＪＲＣが兵庫県江崎灯台を慰問。
		１２	・８日、青少年赤十字発祥４０周年記念滋賀大会を守山町立小学校で開催。
昭和38	1963	◇	・府支部は青少年赤十字振興会と共に、「青少年赤十字の栞」を作成。
		１	・１７日、佐野第一小学校で『泉南地区仲良し交歓会』を開催。
		６	・１３日～１５日、『近畿ブロック補導者研修会』が京都府亀岡市青年の家で開催され、府支部より３名参加。
		６	・２８日～２９日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		７	・２５日～２７日、『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で開催。
		８	・富山県支部ＪＲＣメンバーを招き交歓会を開いた。
		１１	・８日、滋賀県野洲郡守山町守山小学校で、日赤名誉総裁秩父宮妃殿下をお迎えして、同校『青少年赤十字誕生４０周年記念式』に、府支部から代表３名が出席。
		１１	・８日、泉南郡樽井小学校で『補導者講習会』開催。
		１１	・１７日、扇町商業高等学校会場で１７名が献血、以後府下の全高等学校に広がっていった。
昭和39	1964	◇	・ジュネーブ条約調印１００周年にあたり、東京オリンピック開催記念国際親善交歓アルバムを作成、加盟校各１冊ずつ６３冊を世界の友達に送った。
		５	・８日、東京で開かれた『赤十字創立１００周年記念赤十字デー』に、府支部より小・中・高メンバー６名と指導者２名が出席。
		６	・１２日～１３日、『補導者（トレーニング・センター）講習会』を和歌山県加太で実施。
		７	・『府支部主催トレーニング・センター』を高野山で実施。
		８	・府支部ＪＲＣの小・中・高校生メンバー６名と先生３名が富山県支部を訪問。
		９	・青少年赤十字賛助会が発足《大阪賛助会は昭和４５年》
		１２	・８日、佐野第二小学校で『泉南ブロック仲良し交歓会』を開催。
昭和40	1965	５	・２８日、大手前会館で『ジュネーブ条約１００周年記念の青少年赤十字大阪大会』が開かれた。
		６	・１日、大阪青少年赤十字振興会の編集・発行による青少年赤十字機関紙「大阪ＪＲＣ」を府支部から発刊。
		６	・１１日～１２日、『補導者（トレーニング・センター）講習会』を和歌山県加太で実施。
		７	・富山県支部ＪＲＣ代表を招き、『泉北ブロックＪＲＣトレーニング・センター』に参加しても

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			らった。
		８	・府支部では４台のバスで、比叡山へ『愛のバスツアー』を実施。
		８	・２日～３日、高野山で『支部主催愛の林間学舎』開催。
		１２	・１０日、田尻小学校で『泉南地区仲良し交歓会』開催。
昭和41	1966	◇	・府下ＪＲＣの新加盟校に『団旗伝達式』を行った。
		◇	・学用品が不足している国の青少年に、学用品を贈る運動を行った。
		６	・『泉南ブロック仲良し交歓会』開催。
		６	・府支部で『青少年のための語学教室（ランゲージスクール）』開設。
		７	・１日～２日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		８	・２日～３日、『府支部主催愛の林間学舎』を高野山で実施。
		８	・府高校ＪＲＣのメンバーが富山県支部を訪ね、小学生のトレーニング・センターに参加。
		８	・府高校ＪＲＣのメンバーは別に三重県支部に出掛け、三重の高校生と交流、交歓会に出席。
		１１	・１日、府高校ＪＲＣ支援団体『青少年赤十字連絡協議会』が発足。
昭和42	1967	５	・７日～東京青山学院で『青少年赤十字再建２０周年記念全国大会』開催。
		５	・１５日、『加盟校教頭研修会』を犬鳴山で実施。
		６	・２２日～２４日、大津市西教寺『第７回近畿ブロック補導者研修会』開催。
		６	・２９日～３０『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		９	・８日、泉佐野市立北中小学校で『泉南ブロック仲良し交歓会』開催。
昭和43	1968	２	・１５日、日赤本社から「ソルフェリーノの思い出」を刊行。
		２	・１８日、大阪市立日東小学校で『青少年赤十字大阪市ブロック大会』を開催。
		６	・１９日～２０日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		８	・１６日～９月１９日、世界ＪＲＣスタディセンター及び世界ＪＲＣ活動状況視察団員として辻田会長が参加。
		９	・１０日、深日小学校で『泉南ブロック仲良し交歓会』開催。
		１２	・新興国のＪＲＣへクレヨン、クレパス、エンピツ、ノート、タオル等の援助物資を贈る。《タイ、ペルー、ネパール、アフガン、インド、ユーゴスラビア、シンガポール、セイロン、マレーシア、アタリア》
昭和44	1969	◇	・府高校ＪＲＣメンバーが広島県支部に出掛け、広島のＪＲＣといっしょに広島城の清掃奉仕をした。
		７	・１日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		９	・１０日、泉佐野市立第三小学校で『泉南ブロック仲良し交歓会』開催。
		１２	・翌年の大阪万国博覧会を前にして、『記念アルバム』を作成し各国に郵送。
昭和45	1970	◇	・大阪の北摂、千里丘陵で『万国博覧会』が開かれた。これを機に大阪のＪＲＣと外国との交流が活発化した。
		◇	・このころから食糧事情が大きく変わってきたため『もちつき』行事から『募金』に変わり、施設へ見舞金として贈るようになった。
		◇	・府高校ＪＲＣメンバーが広島県支部を訪ね、広島のＪＲＣと一緒に広島城の清掃奉仕をした。
		３	・万博会場ホールで『明日を築く青少年のつどい全国大会』を開催、府支部ＪＲＣメンバー２０名が参加。
		６	・赤十字精神の普及発展を目的に『大阪府青少年赤十字賛助会』が発足。
		７	・３日～４日、『府支部主催補導者講習会』を犬鳴山で実施。
		７	・２７日～８月２５日、東京で『東南アジア太平洋地域ＪＲＣ国際セミナー』が開かれ、１７，１８の両日にタイ、カンボジア、フィリピン、アメリカ、ソ連などのメンバー５８名が来版、万国博覧会場を見学した。府支部通訳奉仕団が会場に出迎え案内した。府支部では記念に外国人向けガイドマップ、万博バッジ、記念メダル、府寄贈の絵はがきなどを贈った。府支部のＪＲＣメンバー１４名、通訳奉仕団２３名、職員１２名が一行を接待。
		９	・『泉南ブロック仲良し交歓会』開催。
		１２	・郷土大阪と学校の日々を写真集にして『万国博覧会記念アルバム』１２０冊を作り各国に郵送。《アルバム発信１０８冊、受信７１冊。スタンプガイド・グリーンカード・使用済み切手収集等》以後４９年に掛けて、外国との交流が活発になった。
昭和46	1971	◇	・４８年にかけて『青少年赤十字中央審議会』を設置、教育事情に適合した振興の具体策を検討。
		◇	・府支部で「青少年赤十字指導の手引き」を作成、各指導者に配布。
昭和47	1972	２	・指導法研究会実験指定校の和泉市立池田小学校で研究発表。」
		１０	・御殿場の指導者講習会参加者が『御殿場同窓会』を結成。
		１１	・１０日、大阪市立恵美小学校で大阪市内の『ブロック青少年赤十字大会』を開催。
		１１	・１３日、『青少年育成大阪府民会議』の総会で、黒田大阪府知事から青少年の善行模範団体として、高等学校ＪＲＣが『駅前清掃奉仕』で表彰を受けた。

年	西暦	月	こ と が ら
昭和48	1973	◇	・答申に基づいて、名称を「青少年赤十字団」から『青少年赤十字』に統一「補導者」を『指導者』に、「団員」を『メンバー』と呼ぶことにした。
		◇	・《健康・安全》《奉仕》《国際理解・親善》の実践目標が確定。
		◇	・オーストラリア赤十字社の「世界の青少年赤十字絵画展」に、堺市たけしろ幼稚園児の作品が一等賞に選ばれた。
		6	・２３日、府高校ＪＲＣメンバーが、箕面公園一帯の清掃大作戦を展開。
		7	・府高校ＪＲＣメンバー９名と先生２名が、５年ぶりに三重県を訪れ交歓。
		１１	・府高校ＪＲＣメンバーが、岬公園、大阪城公園の大清掃奉仕を実施。
昭和49	1974	◇	・『大阪府高等学校青少年赤十字研究会』発足。
		◇	・『大阪府高等学校ＪＲＣ指導者会』発足。
		7	・府高校ＪＲＣメンバーが三重県支部を訪問、三重県ＪＲＣと交流
		7	・府高校ＪＲＣメンバーが、箕面公園の大清掃奉仕を実施。
		１１	・府高校ＪＲＣメンバーが、岬公園、大阪城公園の大清掃奉仕を実施。
		１１	・２８日、指導法研究会実験指定校：堺市立日置荘小学校で研究発表。
昭和50	1975	◇	・この年の学用品を送る運動で、南ベトナム、北ベトナム、ネパール、ダッカ、東パキスタン、マレーシアにギフトボックスを送った。
		◇	・このころから、府下の各ＪＲＣの指導者と、未加盟校の先生方を招いて、夏休みを利用して高野山蓮華定院で二泊三日の講習会が始まった。
		7	・府支部の教室で、『電算教室』が始まった。以後昭和５９年まで１０回継続。
		8	・府高校ＪＲＣメンバーが、箕面公園と浜寺公園の清掃奉仕を実施。
		１１	・府高校ＪＲＣメンバーが、岬公園、大阪城公園の大清掃奉仕を実施。
昭和51	1976	4	・２９日、『府支部主催青少年赤十字高校新入生対象トレーニング・センター』を開催。
		5	・８日～９月４日（毎週土曜日)、『府支部主催第１１回ランゲージスクール』を開催。
		6	・２１日～２３日、和歌山市紀の国会館で『第１６回近畿ブロック指導者研修会』開催。
		7	・２１日～２２日、『岸和田ブロック青少年赤十字トレーニング・センター』開催。
		7	・２４日～８月６日、府支部でネパールの青少年赤十字メンバーと交歓会を開催。
		7	・２７日～３１日、府支部で住吉学園高等学校ＪＲＣトレーニング・センターを実施。
		7	・３０日、東大阪市石切小学校で『東大阪市地区青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		7	・３０日、ブルガリア赤十字主催『国際美術コンクール』に作品応募。
		8	・３日～６日、三重県久居市芙蓉荘で『府支部主催青少年赤十字高校生メンバートレーニング・センター』を開催、三重県の高校生メンバーと交歓。
		8	・３日～４日、天野山金剛寺で『泉北ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		8	・５日～６日、天野山金剛寺で『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		8	・９日～１０日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字青空教室』を開催。
		8	・２７日、堺市立三国丘小学校で『第１回堺地区青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		9	・９日、樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		１０	・１０日、宝塚市帝釈寺で『箕面地区青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
昭和52	1977	5	・７日～９月３日（毎週土曜日)、『府支部主催第１２回ランゲージスクール』を開催。
		5	・１９日～２０日、京都南山城少年自然の家での『第１７回近畿ブロック指導者協議会』に代表が出席。
		5	・２６日、東京ＮＨＫホールの『創立１００周年記念全国大会』に代表が出席。
		6	・５日、大阪赤十字会館で『日赤創立１００周年青少年赤十字絵画展』を開催、盛況に終了する。
		7	・４日～５日、犬鳴山白雲閣で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		7	・２５日～２９日、『第３回支部主催赤十字レクリエーションスクール』開催。
		8	・１日～４日、兵庫県ユートピアささやまで『府支部主催青少年赤十字高校生メンバートレーニング・センター』を開催。
		8	・９日～１０日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字青空教室』を開催。
		8	・２４日～２６日、河内長野荘で『府支部主催青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		9	・１０日、日本赤十字社創立１００周年、府支部創設９０周年を記念して、御堂筋で『青少年赤十字記念大パレード』を挙行。
昭和53	1978	◇	・府支部の『指導者養成講習会』が始まった。
		1	・５７年１２月まで、若井信一郎氏が中央指導講師に任命された。
		4	・１５日～7月２２日（毎週土曜日)、『府支部主催第１３回ランゲージスクール』開催。
		5	・６日～８日、東京で『再建３０周年記念青少年赤十字大会』が開かれ、府支部から小・中・高校生メンバーの代表６名と指導者５名が出席。
		5	・１９日～２０日、奈良市共済会館「やまと」での『第１８回近畿ブロック指導者協議会』に代表が出席。
		6	・１５日～１６日、犬鳴山白雲閣で『泉南ブロック青少年赤十字トレーニング・センター』を開

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			催。
		7	・２１日～２２日、和歌山県岩出町「あおい荘」で『岸和田ブロック青少年赤十字トレーニングセンター』を開催。
		8	・１日～２日、天野山金剛寺で『泉北ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。５日～８日、天野山金剛寺で『泉北ブロック青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		8	・３日～８日、大阪ＹＭＣＡ六甲研修センターで『府主催青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター指導者講習会』を開催。
		8	・４日～６日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字青空教室』を開催。
		8	・７日～９日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字高校生トレーニング・センター』を開催。
		8	・２１日～２２日、東大阪市枚岡東小学校で『東大阪地区青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		8	・２８日、堺市日置荘小学校で『堺地区青少年赤十字一日トレーニング・センター』を開催。
		8	・１７日～２８日、府青少年赤十字振興会はアンリ・デュナン生誕１５０年を記念して、天野会長を団長に指導者等１９名が『ヨーロッパ親善の旅』をした。
昭和54	1979	8	・６日、『名古屋支部ＪＲＣトレーニング・センター』と『世界と日本のこども展』に、大阪のＪＲＣメンバー１０名が指導者７名とともに訪れて交流した。
		8	・６日、ネパールＪＲＣメンバー３名が支部を訪れ、府高校ＪＲＣメンバーが接待した。
昭和55	1980	◇	・この年から『大阪ＪＲＣ』を復刊し『大阪青少年赤十字だより』として、昭和６１年まで3ヶ月に1回程度で刊行。
		１０	・東京のオリンピック記念青少年総合センターで『第１３回青少年赤十字全国大会』が開かれ、府支部から小・中・高メンバー６名と指導者４名が出席。
昭和56	1981	5	・２７日、東京明治神宮会館での『赤十字全国大会』で、大阪市立扇町商業高等学校２年生の上野和代さんが「青少年赤十字活動の体験発表」をした。
		6	・２３日～２５日、東大阪市･ひらおか山荘で『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		7	・２０日、青少年赤十字全国賛助会から「青少年赤十字問答」が出版された。
		8	・４日～６日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字高校生メンバートレーニング・センター』を開催。
		8	・７日～８日、天野山金剛寺で『泉北ブロック青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		8	・１１日～１２日、高野山蓮華定院で『府支部主催青少年赤十字青空教室』を開催。
昭和57	1982	◇	・「御殿場同窓会」が「青少年赤十字研究会」と改称。
		◇	・青少年赤十字研究推進校：泉南郡阪南町立東鳥取小学校。
		4	・１日、『青少年赤十字振興会』が『大阪府青少年赤十字指導者協議会』と改称。
昭和58	1983	◇	・御殿場市のＹＭＣＡ東山荘で『指導主事研究会』が開催された。
		1	・６３年１２月まで、小川有吉氏が中央指導講師に任命された。
		１０	・２５日、東京のオリンピック記念総合センターで『青少年赤十字全国大会』が開かれ、府支部の小・中・高メンバー６名と指導者が参加。
		１０	・２６日、明治神宮会館での『赤十字奉仕団創設、青少年赤十字再建３５周年記念大会』にも出席。
昭和59	1984	◇	・ネパールの人たちに『飲み水をおくろう』の声に『一円玉募金』（２００万円）が使われ、井戸を１３０本堀利１０カ所に自然流下式簡易水道ができた。
		◇	・御殿場市のＹＭＣＡ東山荘で『指導主事研究会』を開催。
		6	・京都府支部が当番で、京都市「指月林」で『近畿ブロック青少年赤十字協議会』を開催。
昭和60	1985	◇	・御殿場市のＹＭＣＡ東山荘で『指導主事研究会』が開催された。
		◇	・この年、会員登録者数１８６，８６３名でピークとなる。この後、児童数減の影響を受け始める。
		6	・奈良県支部が当番で、奈良市で『近畿ブロック青少年赤十字協議会』を開催。
昭和61	1986	◇	・日赤本社では『指導主事研究会』を開催。
		6	・滋賀県支部が当番で、大津市「西教寺」で『近畿ブロック青少年赤十字協議会』を開催。
昭和62	1987	◇	・日赤本社で『指導主事研究会』を開催。
		1	・１９日、ニュージーランド赤十字社理事レネット・ジョーンズ女史と高校生２名が来訪、住吉学園高校で歓待。
		5	・住吉学園高校ＪＲＣメンバー１名と日本の代表３名が、ニュージーランドを訪問。
		6	・兵庫県支部が当番で、加古川市の「はりまやハイツ」で『近畿ブロック青少年赤十字協議会』を開催。
		7	・インドネシア・バングラデシュ・マレーシアのＪＲＣメンバーが来日、府支部主催住吉学園高校のトレーニング・センターに参加。
		9	・９日、田尻町立田尻小学校で『泉南ブロック仲良し交歓会』を開催。

年	西暦	月	こ と が ら
		１１	・２７日、忠岡町公民会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１２	・２５日、府支部で在阪の海外留学生を招き『国際親善もちつき大会』を開催。
昭和63	1988	◇	・２３年に始まった『リーダーシップ・トレーニング・センター』は、この年までに１４３名の教員が受講。
		６	・府支部が当番で、箕面市「みのお山荘」で『近畿ブロック青少年赤十字協議会』を開催。
		８	・１９日～２１日、高野山蓮華定院で『指導者講習会』を開催。
		８	・１９日～２０日、泉佐野市の犬鳴山で『指導者講習会』を開催。
		９	・１日～１４日、『府支部創立１００周年記念、青少年赤十字再建４０周年記念ＪＲＣ絵画・書写展』を開催。 １０月１７日～２２日：南河内府民センターに展示。 １０月２４日～２９日：泉北府民センターに展示。 １２月１５日～２０日：豊能府民センターに展示。
		１０	・３１日～１１月２日、静岡県御殿場のＹＭＣＡ東山荘での『青少年赤十字再建４０周年記念全国大会』が開かれ、府支部の代表６名が参加。
平成１	1989	◇	・青少年赤十字質的向上委員会が設置された。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成２	1990	◇	・インドネシアＪＲＣが来訪、府支部ＪＲＣと交流。
		◇	・府支部主催のトレーニング・センターが会場を「高野山」から『能勢研修センター』に変更。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成３	1991	◇	・『ジュニア救急法』を『健康・安全プログラム』に改正。
		◇	・府支部主催のトレーニング・センター会場を『能勢研修センター』から、新設された『日赤りっとう山荘』に変更。
		７	・２９日～３０日、天野山金剛寺で『泉北ブロックトレーニング・センター』を開催。
		１０	・１０日～１１日、奈良県での『第１回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１１	・２９日、堺市栂文化会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成４	1992	７	・７日～８日、大阪赤十字会館で『第２回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』を開催。
		８	・３日～４日、天野山金剛寺で『泉北ブロックトレーニング・センター』を開催。
		１１	・１９日、忠岡町公民会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成５	1993	◇	・北海道南西沖地震の義援活動を展開。
		◇	・和泉市中学校ＪＲＣ指導者が、奈良県を訪問し研修交流。
		６	・１７日、『泉南地区青少年赤十字指導者研修会』開催。
		８	・４日～５日、天野山金剛寺で『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		９	・１０日、『泉南ブロック仲良し交流会』開催。
		１０	・７日～８日、姫路市での『第３回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１１	・１６日、和泉市コミュニティセンターで『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字の集い』を開催。
平成６	1994	５	・２０日～２１日、日赤和歌山県支部で『近畿ブロック青少年赤十字指導者協議会』に出席。
		６	・１４日、泉佐野勤労青少年研修センターで『泉南ブロック指導者研修会』を開催。
		６	・２４日～２６日、和歌山県のサンピア和歌山で『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に出席。
		７	・２１日～２９日、大阪赤十字会館で『第２９回青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		７	・２６日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字加盟校・幼稚園・保育所長等研修会』を開催。
		７	・２７日～８月１日、府支部主催『国際交流派遣事業・シンガポールＲＣＹ友好親善交流活動』へ高校ＪＲＣメンバーを派遣。
		８	・２日～３日、天野山金剛寺で『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		８	・日赤りっとう山荘で『府支部主催青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター』を開催。 ６日～８日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ４日～６日、『中学生メンバートレーニング・センター』 １日～４日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・２日～３日、貝塚市の府立少年自然の家で『忠岡町青少年赤十字メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・１７日～１８日、槙尾山青少年の家で『和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２３日～３１日、『大阪府青少年赤十字国際交流事業』でメンバー４名、指導者２名、職員２

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			名をシンガポールへ派遣。
		９	・９日、泉南市樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・１９日～２１日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助会』に２名出席。
		１０	・１１日～１２日、滋賀りっとう山荘で『第４回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１０	・２０日、太子町市民グランドで『南河内東部青少年赤十字学校連合運動会』を開催。
		１１	・２４日、サンスクエア堺で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・１２日、アウィーナ大阪で『高等学校青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字のつどい』を開催。
平成７	1995	◇	・阪神淡路大震災に対する義援活動を展開。
		◇	・国際理解・親善交流活動として、シンガポールＪＲＣメンバーを受け入れ。
		６	・９日～１１日、京都市の健康保険組合保養所「きよみず」で『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に出席。
		６	・１５日、泉佐野勤労青少年研修センターで『泉南ブロック指導者研修会』を開催。
		６	・１５日～２５日、府支部主催『国際交流シンガポールメンバー受け入れ』は、震災のため中止。
		７	・２７日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字加盟校・幼稚園・保育所長等研修会』を開催。
		７	・２１日～３１日、大阪赤十字会館で『第３０回青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		８	・２日～３日、天野山金剛寺で『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		８	・日赤りっとう山荘で『府支部主催青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター』を開催。 ７日～８日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ９日～１１日、『中学生メンバートレーニング・センター』 １８日～２１日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		９	・９日、泉南市樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・２８日～１１月３日、海外青少年赤十字メンバー受け入れ。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１１	・１６日、高石市市民会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・１６日～１７日、奈良市共済会館で『第５回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１２	・２日、大阪赤十字会館で『第４回おおさかボランティアフェスティバル交流会』を開催。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字のつどい』を開催。
平成８	1996	６	・１１日、泉佐野市勤労青少年研修センター『泉南ブロック指導者研修会』を開催。
		７	・３０日、開催予定の『青少年赤十字加盟校長、幼稚園長、保育所長等研修会』が、Ｏ－１５７のため延期。
		７	・２２日～３０日、『第３１回青少年赤十字ランゲージスクール』開催。
		８	・Ｏ－１５７による食中毒のため次の活動が中止となる。 １日～２日、『泉北ブロック小中トレーニング・センター』 ５日～７日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ８日～１０日、『中学生メンバートレーニング・センター』 １１日～１４日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・２３日～３０日、府支部主催『国際交流派遣事業・シンガポールＪＲＣ友好交流活動』により、高校生４名、中学生３名を派遣。
		９	・１０日、泉佐野市立第二小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・２１日～２２日、大阪赤十字会館で『第５回全国ボランティアフェスティバル大阪・青少年赤十字分科会を開催』
		９	・上記分科会に連動して大阪赤十字会館で『第６回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』を開催。
		１０	・２７日～１１月２日、シンガポール青少年赤十字メンバー２名受け入れ。
		１１	・２１日、和泉市コミュニティセンターで『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字の集い』開催。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『青少年赤十字加盟校長、幼稚園長、保育所長等研修会』を開催。
平成９	1997	◇	・府支部主催『国際交流派遣事業：シンガポールＲＣＹ友好親善交流活動』によりシンガポールＲＣＹが来訪。
		６	・３０日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉南ブロック指導者研修会』を開催。
		７	・２２日～３１日、大阪赤十字会館で府支部主催『青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		８	・１日～９日、『大阪府青少年赤十字国際交流事業シンガポール赤十字社メンバーを受け入れ』を実施。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		８	・６日～７日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		８	・日赤りっとう山荘で『府支部主催青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。 １０日～１２日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ３日～５日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ６日～９日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		９	・１０日、泉南市立樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・１７日～１９日、日赤本社の『青少年赤十字全国指導者協議会総会』に参加。
		１０	・２５日～１１月１日、海外青少年赤十字ボランティア３名受け入れ。
		１０	・２６日、大阪赤十字会館で府支部主催『青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		１１	・２７日、サンスクェア堺で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。『青少年赤十字使用済みテレカで地雷犠牲者援助キャンペーン』を展開。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で府支部主催『健康安全プログラムセミナー』を開催。
平成10	1998	２	・２８日、大阪赤十字会館で府支部主催『平成９年度ＪＲＣ指導者コンベンション』を開催。
		４	・『大阪府青少年赤十字指導者協議会設立５０周年記念誌』の作成作業開始。
		５	・９日、大阪赤十字会館で府支部主催『青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		６	・１９日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉南ブロック指導者研修会』を開催。
		７	・２４日、大阪赤十字会館で府支部主催『平成１０年度ＪＲＣ指導者コンベンション』を開催。
		７	・２８日～２９日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		８	・日赤りっとう山荘で『府支部主催青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。 ７日～９日、『小学生メンバートレーニング・センター』 １０日～１２日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ３日～６日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・２０日～２６日、『国際交流派遣事業：シンガポールＲＣＹ友好親善交流活動』に高校生と中学生及びこの年初めて小学生も派遣。
		９	・１０日、田尻町立小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・２３日～２５日、国立オリンピック記念総合センターで『青少年赤十字創設７５周年、日赤奉仕団創設５０周年記念事業』に府支部より１０名参加。
		１１	・９日～１０日、舞子ブィラでの『第７回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１１	・～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１１	・１９日、忠岡町公民会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１２	・２５日、『平成１０年度大阪府青少年赤十字健康安全プログラムセミナー』を開催。
平成11	1999	３	・９日、『大阪府青少年赤十字指導者協議会設立５０周年記念座談会』を開催。
		３	・１１日～１２日、『第１回大阪府青少年赤十字高校生対象リーダーシップスタディーセンタ』を開催。
		５	・８日～９日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『大阪府青少年赤十字トレーニング・センター指導者講習会』を開催。
		６	・１７日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		６	・１９日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		６	・２５日～２７日、和歌山市の大泉研修所での『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に府支部より２名派遣。
		７	・２７日～２８日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉北ブロック小中トレーニング・センター』を開催。
		７	・２１日～３０日、大阪赤十字会館で府支部主催『第３４回青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		８	・２日～５日、滋賀県まつなみ荘で『住吉学園高等学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日～１６日、泉佐野市勤労青少年研修センター他で『国際交流事業シンガポール赤十字社メンバーを受け入れ』を実施。
		８	・泉佐野市勤労青少年研修センターで『府支部主催第１回青少年赤十字リーダーシップ総合トレーニング・センター』を開催。 ９日～１１日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ９日～１１日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ９日～１２日、『高校生メンバートレーニング・センター』

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		８	・１９日～２０日、和泉市青少年の家で『和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・１８日～２０日、滋賀県朽木村朝日の森で『森の中の小学生リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		９	・１０日、泉佐野市立第二小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・５日～７日、日赤本社で全国青少年赤十字指導者協議会総会及び青少年赤十字全国賛助会開催、府支部より３名派遣
		１０	・５日～１１日、国際交流事業『カンボジアへカレンダーを贈る事業』でメンバーをカンボジアへ派遣
		１０	・３０日、府支部主催『大阪府青少年赤十字指導者協議会設立５０周年記念指導者コンベンション』を開催。
		１０	・３０日、大阪府青少年赤十字指導者協議会設立５０周年記念誌『青少年赤十字の新しい風』を発刊。
		１１	・１日～２日、滋賀県りっとう山荘での『第８回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に参加。
		１１	・１３日、大阪赤十字会館で府支部主催『青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		１１	・２９日、和泉市コミュニティーセンターで『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・２４日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・トルコ、台湾大地震救済募金活動を展開。
		◇	・『健康安全プログラム講習会』を府下各会場で実施。
平成12	2000	３	・２１日～２２日、『第２回大阪府青少年赤十字高校生対象リーダーシップスタディー・センタ』を開催。
		５	・１４日、万博記念公園での『赤十字ボランティア・フェスティバルin大阪』に参加。
		５	・２０日～２１日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『大阪府青少年赤十字トレーニング・センター指導者講習会』を開催。
		５	・２７日、泉大津市三幸苑で『大阪府青少年赤十字賛助会結成三〇周年記念総会』を開催。
		６	・１６日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		６	・２３日～２５日、泉佐野市勤労青少年研修センターで『第４０回第４（近畿）ブロック青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		７	・２４日～３１日、大阪赤十字会館で府支部主催『第３５回青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		７	・２７日～２８日、府立泉佐野勤労青少年研修センターで『泉北ブロック青少年赤十字メンバーリーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・２日～５日、滋賀県まつなみ荘で『清明学院高等学校青少年赤十字メンバー・トレーニング・センター』を開催。
		８	・３日～４日、大阪府赤十字血液センターで『第５回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・５日、日赤大阪府支部で『赤十字ファミリー介護教室』を開催。
		８	・府立泉佐野勤労青少年研修センターで府支部主催『府支部主催第２回青少年赤十字リーダーシップ総合トレーニング・センター』を開催。 ８日～１０日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ８日～１０日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ７日～１０日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・２３日～２４日、和泉市青少年の家で『第２２回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		８	・２２日～２４日、滋賀県朽木村朝日の森で『森の中の小学生リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		９	・８日、泉佐野市立樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・３日～５日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助会』へ府支部より２名派遣。
		１０	・２１日大阪赤十字会館で、府支部主催『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション２０００』を開催。
		１１	・１６日～１７日、奈良県吉野山さこや旅館での『第９回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に５名派遣。
		１１	・１７日、堺市立栂文化会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・１９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング２０００』を開催。
		１１	・『青少年赤十字岸和田地区協議会ブロック別児童会リーダー交流会』を開催。
		１１	・２４日～１２月２３日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成13	2001	１	・３０日、『泉南ブロック青少年赤十字役員・専門委員研修会』を開催。
		２	・２１日、『青少年赤十字小学生メンバー介護教室』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		３	・２２日～２３日、『第３回大阪府青少年赤十字高校生対象リーダーシップスタディー・センタ』を開催。
		６	・２日～３日、府立羽衣青少年センターで『大阪府青少年赤十字トレーニング・センター指導者講習会を開催。』
		６	・１５日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		７	・２３日～３１日、大阪赤十字会館で府支部主催『第３６回青少年赤十字ランゲージスクール』を開催。
		７	・２８日、日赤大阪府支部で『赤十字ファミリー介護教室』を開催。
		７	・３０日～３１日、信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１日～９日、大阪府赤十字血液センターで『第６回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・６日～１３日、大阪赤十字会館他で『国際交流マレーシアメンバー受け入れ』
		８	・府立少年自然の家で府支部主催『府支部主催第３回青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合トレーニング・センター』を開催。 ８日～１０日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ８日～１０日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ７日～１０日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・２３日～２４日、和泉市青少年の家で『第２３回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		８	・２８日、美原町立西小学校で『南河内ブロック青少年赤十字リーダー学習会』を開催。
		９	・４日、岸和田市立文化会館「まどかホール」で『第１２回大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・５日、堺市立東三国丘小学校で『泉北ブロック青少年赤十字ボランティア学習会』を開催。
		９	・３日、１７日、『大阪府青少年赤十字介護体験学習会』を開催。
		１０	・３日～５日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助会』に府支部より２名派遣、
		１０	・２０日、大阪赤十字会館で府支部主催『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		１１	・１５日～１６日、大阪赤十字会館・以和貴荘・海遊館で『第１０回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』開催。
		１１	・２１日、高石市立市民会館で『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
		１１	・２４日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・守口市立八雲中学校１年生が、アメリカ合衆国「同時多発テロ」救援金・寄贈品（折り鶴）をアメリカ合衆国ニューヨーク支部に送金・送付。
平成14	2002	１	・３１日、『泉南ブロック青少年赤十字役員・専門委員研修会』を開催。（奈良市立東市小学校研究会参加）
		３	・２１日～２２日、府立羽衣青少年センターで『第４回大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップスタディセンター』を開催。
		６	・１日、「大阪府青少年赤十字賛助会」が「大阪府青少年赤十字賛助奉仕団」に移行。
		６	・１３日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		７	・３１日～８月１日、信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・２日～３日、マリンロッジ海風館で『大阪府青少年赤十字トレーニング・センター指導者講習会を開催。』
		８	・１、２、５、６日、大阪府赤十字血液センターで『第７回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・府立青少年海洋センターで、府支部主催『府支部主催第４回青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合トレーニング・センター』を開催。 ７日～９日、『小学生メンバートレーニング・センター』 ７日～９日、『中学生メンバートレーニング・センター』 ６日～９日、『高校生メンバートレーニング・センター』
		８	・１８日～２５日、国際交流『マレーシア赤新月社へメンバー派遣』
		８	・２０日～２２日、滋賀県朽木村で『第５回青少年赤十字小学生セミナー』を開催。
		８	・２２日～２３日、和泉市青少年の家で『第２４回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		８	・３０日、『南河内ブロック・リーダー学習会』を開催。
		９	・５日、岸和田市立文化会館まどかホールで『第１３回大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１０	・２日～３日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助会』に府支部より２名派遣。
		１０	・１９日、大阪赤十字会館で府支部主催『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		１１	・９日、大阪血液センターで『骨髄バンク支援高校生チャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・１４日～１５日、姫路市での『第１１回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に府支

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			部より５名派遣。
		１１	・２４日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１１	・２７日、岸和田市立山直小学校で『岸和田地区リーダー交流会』を開催。
		１２	・７日、大東市立大東中学校で『大東市・四条畷市青少年赤十字委員会交流会』を開催。
		１２	・２５日、府立羽衣青少年センターで『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
平成15	2003	１	・１４日、日赤大阪府支部で『青少年赤十字講演会：本社課長』を開催。
		１	・２９日、尼崎市立尼崎北小学校で『泉南ブロック青少年赤十字役員・専門委員研修会』を開催。
		３	・２１日～２２日、府立羽衣青少年センターで『第５回大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップスタディセンター』を開催。
		◎	【平成１４年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔４１回：２，２７０名〕 《救命手当》《応急手当》《水上安全・着衣泳》《親と子の救急法》 ○介護体験プログラム〔４０回：２，３０６名〕 《車椅子体験》《車椅子・ガイドヘルプ》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔２３回：２，３１９名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《世界の子ども達と平和》 《国際理解について》《国際援助とボランティア活動》《国際赤十字》 ○その他（講演）〔８回〕 《性教育》《東ティモールの現状》《リーダー研修》《手話ダンス》など
		５	・８日、泉南市立新家小学校で『大阪府青少年赤十字登録式』を開催。
		６	・２８日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２２日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２８日、日赤各施設における堺市教委初任者研修「社会奉仕活動」を開催。
		７	・２８日～３０日、信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・３１日、８月１・４・６日、大阪府赤十字血液センターで『第７回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・１日、日赤各施設における堺市教委初任者研修「社会奉仕活動」を開催。
		８	・１２日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２０日～２２日、紀北青少年センターで『第６回青少年赤十字小学生セミナー』を開催。』
		９	・２１日～２２日、和泉市青少年の家で『第２４回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		９	・４日、岸和田市立文化会館まどかホールで『岸和田地区青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１０	・１０日、泉佐野市立北中学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・８日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より１名派遣。
		１１	・１１日、大阪府立健康科学センターで『第３回骨髄バンク支援高校生チャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・１９日～２０日、滋賀県大津市での『第１２回近畿ブロック青少年赤十字賛助会交流研修会』に府支部より７名派遣。
		１２	・２４日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・２０日、府立羽衣青少年センターで『泉北ブロック青少年赤十字の集い』を開催。
平成16	2004	１	・２４日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・２２～２３日、府立羽衣青少年センターで『第6回大阪府青少年赤十字高校生スタディー・センター』を開催。
		◎	【平成１５年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔６５回：３，７７５名〕 《救命手当》《応急手当》《水上安全・着衣泳》《親と子の救急法》 ○介護体験プログラム〔４７回：２，８８９名〕 《車椅子体験》《車椅子・ガイドヘルプ》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔１９回：２，７１３名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《世界の子ども達と平和》 《国際理解について》《国際援助とボランティア活動》《国際赤十字》 ○その他（講演）〔９回：１，２７８名〕 《性教育：生命の誕生》《ボランティア学習》《問題解決の方法》など
		６	・１２日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２２日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２８～３０日、信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・２９～（７日間）大阪府赤十字血液センターで『第９回献血おもしろゼミナール』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		８	・３～５日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字メンバー総合型リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		８	・１９日、和泉市立青少年の家で『第26回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		９	・１０日、田尻町立田尻小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		９	・１１日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		９	・１３日、羽衣学園高等学校で『青少年赤十字国際交流プログラム（マレーシア・メンバー）』を開催。
		１０	・７～８日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１０	・３１日、大阪府健康科学センターで『第４回骨髄バンクチャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・１７～１８日、奈良県吉野での『第１３回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より６名派遣。
		１１	・２３日、和泉市青少年の家で『泉北地区青少年赤十字のつどい』を開催。
		１１	・２３日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成17	2005	１	・２２日、日赤大阪府支部で『平成１６年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		２	・１０日、岸和田市立浪切ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会の役員・専門委員研究会』を開催。
		３	・１６日、熊取町立熊取西小学校で『熊取西小学校福祉用品贈呈式』を開催。
		３	・２２日～２３日、府立羽衣青少年センターで『第７回大阪府青少年赤十字高校生スタディセンター』を開催。
		◎	【平成１６年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔６０回：３，４１７名〕 《救命手当》《水上安全・着衣泳》《短期》 ○介護体験プログラム〔２０回：１，５５７名〕 《車椅子体験》《アイマスク体験》《ビューティケア体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔１４回：２，９２１名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》 《平和について》 ○その他（講演）〔１回：１７名〕 《問題解決の方法》など
		６	・１１日、日赤大阪府支部で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２６日～２８日、信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・２８日～８月９日、大阪府赤十字血液センターで『第９回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・２日～４日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字メンバー総合型リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１１日泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１１日～１２日、和泉市立青少年の家で『第27回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		９	・９日、泉南市立樽井小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		１０	・６日～７日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１１	・１０日～11日、ホテルプリムローズ・大阪歴史博物館で『第１４回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』を開催。
		１１	・１３日、大阪キャッスルホテルで『大阪府青少年赤十字高校生メンバーとアフガニスタンメンバーとの国際交流会』を開催。
		１１	・２３日～１２月２４日、『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・２３日、和泉市コミュニティセンターで『泉北地区青少年赤十字のつどい』を開催。
平成18	2006	１	・２１日、国民会館「武藤記念ホール」で『平成１７年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		２	・５日、大阪府健康科学センターで『第5回骨髄バンクチャリティ・フリーマーケット』を開催。
		３	・２２日～２３日、大阪府立羽衣青少年センターで『第７回大阪府青少年赤十字高校生スタディーセンター』を開催。
		◎	【平成１７年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔５５回：３，１７５名〕 《救命手当》《応急手当》《水上安全・着衣泳》《親と子の救急法》 ○介護体験プログラム〔３１回：２，９３２名〕 《車椅子体験》《車椅子・ガイドヘルプ》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			○国際理解・平和学習プログラム〔９回：１，００５名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《世界の子ども達と平和》 《国際理解について》《国際援助とボランティア活動》《国際赤十字》 ○その他（講演）〔４回：５０５名〕 《性教育：生命の誕生》《ボランティア学習》《問題解決の方法》など
		６	・１６日～１８日、舞洲ロッジでの第４ブロック（近畿）青少年赤十字指導者研修会に参加
		７	・２６日～２７日、大阪府立羽衣青少年センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター』を開催。
		７	・２７日～８/８日、大阪府赤十字血液センターで『第１０回献血おもしろゼミナール』を開催。
		８	・２日～４日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字メンバー総合型リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１７日～１８日、和泉市立青少年の家で『第２８回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。、
		８	・２１日～２２日、スペースアルファー神戸で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		８	・２９日、岸和田市立文化会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・８日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		９	・８日～１４日、国際交流事業『マレーシア　メンバー受入』で指導者３名、メンバー６名を受入。
		９	・９日、『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		１０	・５日～６日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１０	・３１日～/１日、神戸市グリーンヒルホテル・日赤兵庫県支部で『第１５回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』を開催。
		１１	・１２日、大阪府健康科学センターで『第６回骨髄バンクチャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・１７日～『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成19	2007	１	・１３日、サンスクエア堺で『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１	・２０日、日赤大阪府支部で『平成１８年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		２	・１日、『泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会の役員・専門委員研修会』を開催。
		３	・２２日～２３日、大阪府立羽衣青少年センターで『大阪府青少年赤十字リーダーシップ・スタディーセンター』を開催。
		◎	【平成１８年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔５８回：３，０４９名〕 《救命手当》《応急手当》《着衣泳》 ○介護体験プログラム〔３２回：２，８１０名〕 《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔９回：１，５４７名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《世界の子ども達と平和》 《国際理解について》 ○その他（講演）〔２回：７３８名〕 《性教育：生命の誕生》《ボランティア学習》《問題解決の方法》など
		６	・１３日、大阪赤十字会館で『担当教諭研修会』を開催。
		６	・２０日、岸和田市波切ホールで『担当教諭研修会』を開催。
		７	・１４日～１５日、スペースアルファ神戸での『指導者養成講習会』台風４号接近で中止。
		７	・２５日～２７日、大阪市立信太山野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター』を開催。
		８	・１日～３日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字メンバー総合型リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２０日～２１日、和泉市立青少年の家で『第２９回和泉市中学校青少年赤十字トレーニング・センター』を開催。
		９	・１０日、阪南市立桃の木台小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		９	・１７日～２３日、青少年赤十字国際交流事業「顔の見える国際交流」でマレーシア赤新月社助ホールバル支部へ指導者・メンバー１０名を派遣。
		１０	・４日～５日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１１	・６日～７日、滋賀県近江市休暇村近江八幡で『第１６回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より７名派遣。
		１２	・１８日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		１２	・１５日、和泉市コミュニティーセンターで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		１２	・１６日、大阪府立健康科学センター正面玄関前で『第７回骨髄バンクチャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１２	・１１月１５日～１２月１４日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
		１２	・２６日、『泉南ブロック青少年赤十字指導者研修会』を開催。
平成20	2008	１	・１９日、日赤大阪府支部で『平成１８年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・２５日～２６日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字リーダーシップ・スタディーセンター』を開催。
		◎	【平成１９年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔５３回：３，１１５名〕 《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《短期》など ○介護体験プログラム〔５９回：５，４５１名〕 《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》など ○国際理解・平和学習プログラム〔１１回：１，５３７名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》 《平和について》など ○その他（講演）〔４回：６６５名〕 《防災プログラム》
		５	・２６日、奈良県支部での『近畿ブロック青少年赤十字指導者協議会』に府支部より１名派遣。
		６	・４日～７日、静岡県ＹＭＣＡ東山荘での『青少年赤十字トレーニング・センター指導者養成講習会』に府下小学校より教諭１名派遣。
		６	・１８日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字担当者研修会』を開催。
		６	・２０日～２２日、ウエルネスイン大和路(奈良県）での『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に守口市小学校より２名派遣。
		７	・２２日～２３日、スペースアルファ神戸で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・２９日～３１日、大阪市立信太山野外活動センターで『第８回泉北ブロック青少年赤十字小・中学生メンバー・トレーニング・センター』を開催。
		８	・３日～６日、大阪府立少年自然の家で『第９回大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ総合トレーニング・センター』を開催。
		８	・８日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１８日、和泉市立青少年の家で『第３０回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２８日、岸和田市立文化会館で『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・２日～４日、日赤本社での『青少年赤十字全国指導者協議会』に府支部より１名派遣。
		９	・６日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を開催。
		９	・１０日、泉南市立西信達小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		９	・５日～１１日、青少年赤十字国際交流事業「顔の見える国際交流」メンバー受け入れ。
		１０	・２日～３日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１０	・３０日～３１日、和歌山市紀三井寺での『第１７回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より７名派遣。
		１１	・２９日、和泉市立コミュニティーセンターで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・２６日、大阪赤十字会館で『平成２０年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		１２	・１４日、大阪府立健康プラザで大阪府高等学校メンバー連絡協議会による『第８回骨髄バンクチャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１２	・１１月１７日～１２月１６日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成21	2009	１	・２０日～２２日、神奈川県湘南国際村センターでの『指導主事対象青少年赤十字研究会』に府教委及び堺市教委より各１名派遣。
		２	・９日、大阪赤十字会館で『泉南ブロック役員・専門委員研修会』を開催。
		３	・２５日～２６日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字リーダーシップ・スタディー・センター』を開催。
		◎	【平成20年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔８７回：４，８２６名〕 《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《短期》など ○介護体験プログラム〔４５回：４，２１３名〕 《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》など ○国際理解・平和学習プログラム〔１３回：２，０５４名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》 《平和について》など
		◎	【平成２０年度中の一円玉募金】 ○拠出校：５校　　金額￥７９，７８９

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		◎	【平成２０年度青少年赤十字モデル校】
			○合計１８校園（小学校１６校・中学校１校・高等学校１校）
		５	・２６日、滋賀県支部での『近畿ブロック青少年赤十字指導者協議会』に府支部より２名派遣。
		６	・５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字担当教諭研修会』を開催。
		６	・１９日～２１日、ＫＫＲホテルびわこ（滋賀県）での『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に高石市小学校と職員より各１名派遣。
		６	・２１日～２２日、フルーツフラワーパーク（兵庫県）で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		６	・２５日～２６日、日赤本社での『青少年赤十字全国指導者協議会』に府支部より１名を派遣。
		７	・２８日～３０日、大阪市立信太山青少年野外活動センター「青少年の家」で『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・２日～５日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２１年度大阪府青少年赤十字メンバーリーダーシップ総合型トレーニング・センター』を開催。
		８	・７日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１７日～１８日、和泉市立青少年の家で『第３１回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２５日、岸和田市科学技術教育センターで『岸和田市青少年赤十字指導者協議会及び指導者研修会』を開催。
		９	・１０日、泉南市立日新小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		１０	・２日～３日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		１０	・２９日～３０日、京都府コミュニティ嵯峨野での『第１８回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より６名派遣。
		１２	・５日、とろしプラザ（高石市複合コミュニティーセンター）で『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・１２日、大阪府立健康科学センターで大阪府高等学校メンバー連絡協議会による『第８回骨髄バンク・チャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１２	・２５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字体験セミナー』を開催。
		１２	・１１月１６日～１２月１６日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成22	2010	１	・１６日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		１	・２３日、サンスクェア堺で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		１	・２０日～２２日、神奈川県湘南国際村センターでの『指導主事対象青少年赤十字研究会』に府教委及び堺市教委より各１名派遣。
		３	・１０日、川村義肢株式会社で『泉南ブロック役員・専門委員研修会』を開催。
		３	・２５日～２６日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター』を開催。
		◎	【平成２１年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】
			○健康安全プログラム〔６５回：４，４７０名〕
			《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《短期》など
			○介護体験プログラム〔４５回：４，０９５名〕
			《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》など
			○国際理解・平和学習プログラム〔１２回：２，４９１名〕
			《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》
			《平和について》など
			○防災プログラム〔２回：６３名〕
		◎	【平成２１年度中の一円玉募金】
			○拠出校：３校　　金額￥３２，５００
		◎	【平成２１年度青少年赤十字モデル校】
			○合計１６校〔小学校１４校・中学校１校・高等学校１校〕
		５	・２４日、兵庫県支部での『近畿ブロック青少年赤十字指導者協議会』に府支部より２名派遣。
		６	・４日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字担当教諭研修会』を開催。
		６	・１９日～２１日、ＫＫＲホテルびわこ（滋賀県）での『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』に高石市小学校と職員より各１名派遣。
		６	・２５日～２６日、日赤本社での『青少年赤十字全国指導者協議会』に府支部より１名を派遣。
		７	・８日～９日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会』に府支部より２名派遣。
		７	・２１日、岸和田市まどかホールで『岸和田市青少年赤十字指導者協議会及び指導者研修会』を開催。
		７	・２７日～２９日、大阪市立信太山青少年野外活動センター「青少年の家」で『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１日～４日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２2年度大阪府青少年赤十字メンバー

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			リーダーシップ総合型トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１８日～１９日、和泉市立青少年の家で『第３２回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２３日～２４日、フルーツフラワーパーク（兵庫県）で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		９	・８日、岬町立淡輪小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		１１	・３日、大阪府立健康科学センターで大阪府高等学校メンバー連絡協議会による『第９回骨髄バンク・チャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・１１日～１２日、奈良県吉野山さこや旅館での『第１９回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より７名派遣。
		１２	・４日、とろしプラザ（高石市複合コミュニティーセンター）で『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・２６日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字体験セミナー』を開催。
		１２	・１１月１５日～１２月１４日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成23	2011	１	・２２日、サンスクエア堺で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		１	・２９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・２５日～２６日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディセンター』を開催。
		◎	【平成２２年度日赤大阪府支部主催JRC学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔６１回：２，８６９名〕 《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《短期》など ○介護体験プログラム〔３１回：３，７９１名〕 《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》など ○国際理解・平和学習プログラム〔7回：１，３４０名〕 《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》 《平和について》など ○防災プログラム〔4回：１０４名〕
		◎	【平成２２年度中の一円玉募金】 ○拠出校：　１校　　金額　￥５，３４４
		◎	【平成２２年度青少年赤十字モデル校】 ○合計　　１７校　（小学校１５校　　中学校１校　　高等学校　１校）
		５	・２３日、和歌山県支部での『近畿ブロック青少年赤十字指導者協議会』に大阪府青少年赤十字指導者協議会副会長１名と府支部より２名派遣。
		６	・４日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を開催。
		６	・１７日～１９日、紀三井寺はやし（和歌山県）での『近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』の予定が東日本大震災のため中止。
		６	・２３日～２４日、日赤本社での『青少年赤十字全国指導者協議会総会』に府支部より１名を派遣
		７	・７日～８日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会総会』に府支部より３名派遣。
		７	・２６日～２８日、大阪市立信太山青少年野外活動センター「青少年の家」で『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２２日～２３日、和泉市立青少年の家で『第３３回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２２日～２３日、ロッジ舞洲（大阪市）で『大阪府青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２４日、岸和田市まどかホールで『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・１日～７日、第４ブロック・合同国際交流により、マレーシアよりユースメンバー６名を受け入れ。
		１１	・３日、大阪府立健康科学センターで大阪府高等学校メンバー連絡協議会による『第１０回骨髄バンク・チャリティ・フリーマーケット』を開催。
		１１	・５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１１	・１２日、阪南市桃の木台小学校で『青少年赤十字学習発表会』を開催。
		１１	・１０日、１０日～１１日、大阪赤十字会館で『第２０回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』を開催。近畿各府県より２９名参加。（内大阪府１７名）
		１２	・３日、とろしプラザ（高石市複合コミュニティーセンター）で『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・１１月１４日～１２月１３日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成24	2012	１	・２１日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		１	・２８日、サンスクエア堺で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		３	・２４日～２５日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディ・センター』を開催。
			【平成２３年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】
			○健康安全プログラム〔３５回：２，１４０名〕
			《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《短期》など
			○介護体験プログラム〔２８回：２，４１１名〕
			《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》など
			○国際理解・平和学習プログラム〔６回：５４７名〕
			《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》
			《平和について》など
			○防災プログラム他〔１回：４５名〕
			【平成２３年度中の一円玉募金】
			○拠出校：３校　　金額￥１６，９９７
			【平成２３年度青少年赤十字モデル校】
			○合計１７校〔小学校１５校・中学校１校・高等学校１校〕
		５	・８日、泉南市立信達小学校で『平成２４年度大阪府青少年赤十字結団式』を挙行。
		５	・８日、泉南市立信達小学校で『平成２４年度大阪府青少年赤十字校内トレーニング・センター』を開催。
		６	・２日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を開催。
		６	・８日～１０日、ロッジ舞洲で『第５２回近畿ブロック青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		６	・２１日～２２日、日赤本社での『青少年赤十字全国指導者協議会総会研修会』に府支部より１名を派遣。
		７	・２１日～２２日、大阪赤十字会館で『平成２４年度大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		７	・５日～６日、日赤本社での『青少年赤十字全国賛助奉仕団協議会総会』に府支部より２名派遣。
		７	・２２日、日本赤十字社大阪府支部３Ｆ会議室及び大阪府立体育会館で『命のボランティア「骨髄バンク」活動体験プログラム』を実施。
		７	・３０日～８月１日、大阪市立信太山青少年野外活動センター「青少年の家」で『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・３１日～８月３日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２４年度大阪府青少年赤十字メンバーリーダーシップ総合型トレーニング・センター』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２０日～２１日、和泉市立青少年の家で『第３４回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		８	・２８日、岸和田市波切ホールで『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・５日、泉南市立第二小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』を開催。
		９	・１６日、大阪市中央区御堂筋ビル１Ｆクロスカフェで『さあ！あなたも献血の輪の中に』（献血運動）に高等学校青少年赤十字メンバーが参加。
		１１	・１８日、大阪赤十字会館で「平成２４年度本社国際交流事業プログラム」による海外メンバー受け入れに伴い、ブルネイメンバー・高等学校青少年赤十字メンバー・青年奉仕団を対象に『青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		１１	・２０日、同上プログラムにより大阪市立福小学校で『ブルネイメンバーと小学生の交流会』を実施。
		１１	・３日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１１	・８日～９日、神戸市北区しあわせの村で『第２１回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より６名派遣。
		１２	・１日、とろしプラザ（高石市複合コミュニティーセンター）で『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・１６日、大阪赤十字会館で高校生対象の『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		１２	・１１月１５日～１２月１４日『青少年赤十字愛のひとにぎり心もち運動』を展開。
平成25	2013	１	・１９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		１	・２６日、サンスクエア堺で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		３	・２３日～２４日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディ・センター』を開催。
		◎	【平成２４年度日赤大阪府支部主催JRC学習プログラム】
			○健康安全プログラム〔１９回：１，８８７名〕
			《健康安全》《応急手当・救命手当》《着衣泳》《救急員養成講習》
			○介護体験プログラム〔２８回：２，５１７名〕

年	西暦	月	こ　と　が　ら
			《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》
			○国際理解・平和学習プログラム〔５回：３８０名〕
			《地雷について》《世界の子ども達の現状》《国際赤十字の援助について》
			《平和について》など
			○防災プログラム〔２回：９０名〕
			【平成２４年中の一円玉募金】
			○拠出校：２校　　金額￥２７，７９６
		５	・７日、泉南市立信達小学校で『平成２５年度大阪府青少年赤十字登録式』を挙行。
		５	・２１日、和歌山県支部での「第４（近畿）ブロック青少年赤十字指導者協議会」に２名派遣。
		５	・２５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を開催。
		６	・５日、泉南市立新家小学校で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		６	・８日から９日、大阪赤十字会館・大阪キャッスルホテルで『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を実施。
		６	・１４日～１６日、グリーンプラネットハウス（和歌山県）での『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に３名派遣。
		７	・１２日、羽衣学園高等学校で『平成２５年度児童生徒対象青少年赤十字防災プログラム』を実
		７	・１６日、明浄学園高等学校で『献血について』講演会を実施。
		７	・２４日～２６日、大阪市立信太山青少年野外活動センター「青少年の家」で『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター』を開催。
		７	・３１日～８月３日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２５年度大阪府青少年赤十字メンバーリーダーシップ総合型トレーニング・センター』を実施。
		８	・９日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・１９日～２０日、和泉市立青少年の家で『第３５回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を実施。
		８	・２２日、守口市保健センターで『守口市生徒会交流会』を開催。
		８	・２７日、岸和田市立光明小学校で『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		９	・１日、大阪赤十字会館で『第２回大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会（ＥＨＬ勉強会）』を開催。
		９	・４日、阪南市立桃の木台小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会』台風のため中止。
		９	・１３日、『第４ブロック合同青少年赤十字国際交流事業』マレーシアメンバーを受け入れ。（午前：阪南市立桃の木台小学校、午後：羽衣学園高等学校）、
		９	・１１日～１６日イオンモール大日での『ワールド・ファースト・エイドデーin osaka』において、守口市青少年赤十字メンバー絵画展を実施。表彰式（１６日は台風のため中止）
		１０	・２０日、大阪城周辺で『大阪城クリーンキャンペーン』を実施。高校生及び青年赤十字奉仕団員が参加
		１０	・２５～２６日、守山市立守山小学校で『第２２回近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に府支部より４名派遣。
		１１	・２日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１１	・１７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		１２	・７日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・１５日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		１２	・２５～２８日、まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルームcross caféで大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会「青少年赤十字メンバーによる献血の呼びかけ活動」を実施。
平成26	2014	１	・２５日、サンスクエア堺で『平成２５年度堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		２	・１日、大阪赤十字会館で『平成２５年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		２	・８日、大阪赤十字会館で『第３回ＪＲＣ高校生メンバー連絡協議会（ＥＨＬ勉強会）』を開催。
		３	・２９日～３０日、大阪府立少年自然の家で『平成２５年度大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディ・センター』を開催。
		◎	【平成２５年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】
			○健康安全プログラム〔４５回：２，１３０名〕
			《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法　基礎講習・短期講習》
			○介護体験プログラム〔２６回：２，１６１名〕
			《車椅子体験》《アイマスク体験》《高齢者疑似体験》
			○国際理解・平和学習プログラム〔９回：２，４００名〕
			《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》
			○防災プログラム〔５回：２９６名〕
			《災害時の心構え》《炊きだし体験》《災害時の応急救護体験》
			《防災ピア・エデュケーション》

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		◎	【平成２５年度中の一円玉募金】 ○拠出校：１校　　金額：￥５，６００
		５	・２４日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を開催。
		５	・２７日、京都府支部での『第４ブロック青少年赤十字指導者協議会』に２名派遣。
		６	・４日、泉南市立新家小学校で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		６	・１４日～１５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		６	・２８日～２９日、コミュニティ嵯峨野(京都府)での『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に３名派遣.
		７	・２３日～２５日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ･トレーニングセンター』を開催。
		７	・３１日～８月２日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２６年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ･トレーニングセンター』を開催。
		８	・８日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・８日、岸和田市立城北小学校で『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		８	・１８日～１９日、和泉市立青少年の家で『第３５回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニング・センター』を開催。
		９	・３日、泉南市立新家小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・１４日、ツイン２１アトリウムで『ボランティア・フェスティバル』を開催。
		９	・１０日～１５日、イオンモール大日での『ワールド・ファースト・エイドデイin Osaka』において守口市青少年赤十字メンバー絵画展および表彰式を実施。
		１０	・１０日、大阪城周辺で『大阪城クリーンキャンペーン』を実施。高校生及び青年奉仕団員が参加
		１０	・２４日～２５日、和歌山市（休暇村　加太）で、『第２３回　近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府ＪＲＣ奉仕団員５名派遣。
		１０	・２８日、岸和田市立光明小学校で『日赤本社主催青少年赤十字国際港龍事業』へ来日した香港メンバーを受け入れ。
		１１	・１日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１１	・１６日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		１２	・６日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・２１日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		１２	・２２～２４日、まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルームcross caféで大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会「青少年赤十字メンバーによる献血の呼びかけ活動」を実施。
平成27	2015	１	・２４日、堺市立高等学校で『平成２６年度堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		２	・７日、大阪赤十字会館で『平成２６年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・１５日、大阪赤十字会館で『平成２６年度赤十字ボランティアのつどい』を開催。
		３	・２１～２２日、大阪府立少年自然の家で『平成２６年度大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター』を開催。
			【平成２６年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔４２回：２，２７６名〕 《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》 ○介護体験プログラム〔２７回：２，１６５名〕 《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔３回：　１５３名〕 《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》 ○防災プログラム〔１０回：　７６２名〕 《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》 《防災ピア・エデュケーション》
			【平成２６年度中の一円玉募金】 ○拠出校：　１校、　　金額：￥３，８３０
		５	・２３日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を実施。
		６	・３日、泉南市立市民体育館で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		６	・１３～１４日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		６	・２７～２８日、ホテルウエルネス大和路（桜井市）での『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に３名派遣。
		７	・２３日～２５日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		７	・３０日～８月２日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２７年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		８	・５日、岸和田市光明小学校で『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		８	・７日、泉佐野市立文化会館で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催.
		８	・１７日～１８日、和泉市立青少年の家で『第３６回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニングセンター』を開催。
		９	・２日、泉佐野市立第二小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・１８日、『第４ブロック合同青少年赤十字国際交流事業』マレーシアメンバー受け入れ。 （午前：羽衣学園高等学校、午後：建国高等学校）
		１０	・１８日、大阪城周辺で『大阪城クリーンキャンペーン』を実施。高校生及び青年奉仕団員が参加
		１０	・２３日～２４日、京都市（ホテルルビー）で、『第２４回　近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府ＪＲＣ奉仕団員５名派遣。
		１１	・７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
			・１５日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		１２	・５日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		１２	・２０日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		１２	・２２・２４・２５日、まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルームcross café等で大阪府高等学校青少年赤十字めんばー連絡協議会「青少年赤十字メンバーによる献血の呼びかけ活動」を実施。
平成28	2016	１	・２３日、サンスクウエア堺で『平成２７年度堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		１	・３０日、大阪赤十字会館で『平成２７年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・１３日、大阪赤十字会館で『平成２７年度赤十字ボランティアのつどい』を開催。
		３	・１９～２１日、大阪府立少年自然の家で『ＪＲＣ防災キャンプ～平成２７年度大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター～』を開催。福島県青少年赤十字メンバーを受け入れ。 【平成２７年度日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔４１回：２，０５４名〕 《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》 ○介護体験プログラム〔３５回：３，３１６名〕 《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔３回：　３６７名〕 《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》 ○防災プログラム〔６回：１，３０１名〕 《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》 【平成２７年度中の一円玉募金】 ○拠出校：　２校、　金額：￥５６，５１５
		５	・２１日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字主任教諭研修会』を実施。
		６	・１日、泉南市立市民体育館で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		６	・２５～２６日、滋賀県大津市ＫＫＲホテルびわこでの『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に３名派遣。
		７	・２６日～２８日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		７	・２７日、岸和田市科学技術教育センターで『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		７	・３１日～８月３日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２８年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		８	・８～９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		８	・１０日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・２３日、和泉市立ゆうゆうプラザ（人権文化センター）で『第３７回和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニングセンター』を開催。
		９	・２日、阪南市立桃の木台小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		１０	・２８日～２９日、奈良市（ホテルリガーレ春日野）での、『第２５回　近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府ＪＲＣ奉仕団員７名派遣。
		１０	・２９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		１０	・３１日、『日本赤十字社本社主催国際交流事業』で来日した、バングラデシュ・トンガメンバーを受け入れ。（午前：堺市立はるみ小学校、午後：羽衣学園高等学校）
		１１	・１３日、大阪赤十字会館で『東北チャリティキャンペーン』を実施。高校生及び青年奉仕団員が参加。
		１１	・２７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		１２	・３日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		１２	・１１日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		１２	・２１・２２・２７日、まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルームcross café等で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会「青少年赤十字メンバーによる献血の呼びかけ活動」を実施。
平成29	2017	１	・２８日、サンスクウエア堺で『平成２８年度堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		２	・５日、大阪赤十字会館で『平成２８年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		３	・１２日、大阪赤十字会館で『平成２８年度赤十字ボランティアのつどい』を開催。
		３	・１９～２０日、大阪府立少年自然の家で『平成２８年度大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター～』を開催。 【平成２８年度 日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム〔４４回：２，６４１名〕 《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》 ○介護体験プログラム〔２６回：２，１６１名〕 《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム〔３回：１９０名〕 《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》 ○防災プログラム〔５回：１，０２８名〕 《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》 【平成２８年度中の一円玉募金】 ○拠出校：　１校、　　金額：￥３，９１６
		６	・１４日、りんくう体育館で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		６	・２４日～２５日、兵庫県しあわせの村の『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に４名派遣
		７	・２５日～２７日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		７	・２７日、岸和田市科学技術教育センターで『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		７	・３１日～８月３日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成２９年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		８	・８日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		８	・９日～１０日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		８	・２１日、青少年の家（槙尾山）で『第３８回和泉市青少年赤十字中学生メンバー・トレーニングセンター』を開催。
		９	・５日、泉南市立信達小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		９	・１５日、『第４ブロック合同青少年赤十字国際交流事業』マレーシアメンバー受け入れ。 （午前：認定こども園たけしろ幼稚園、午後：関西学院千里国際高等部）
		10	・２６日～２７日、日赤大阪府支部（ホテルプリムローズ大阪）にて『第２６回　近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府ＪＲＣ奉仕団員１４名参加。
		10	・２９日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		11	・２５日、大阪赤十字会館で『防災ピア・エデュケーション』を実施。高校生及び青年奉仕団員が参加。
		12	・２日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		12	・１０日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		12	・２０・２３・２７日、まいどなんば献血ルーム、御堂筋献血ルーム cross café 等で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会「青少年赤十字メンバーによる献血の呼びかけ活動」を実施。
平成30	2018	１	・２７日、サンスクウエア堺で『平成２９年度堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		１	・２８日、大阪赤十字会館で『平成２９年度大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催
		３	・１２日、大阪赤十字会館で『平成２９年度赤十字ボランティアのつどい』を開催
		３	・２１日～２３日、大阪府立少年自然の家で『平成２９年度大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター～』を開催。 【平成２９年度 日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム［５９回：３，１５１名］ 《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》 ○介護体験プログラム［２６回：２，５０１名］ 《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム[７回：７５２名］ 《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》 ○防災プログラム［１２回：２，３５１名］ 《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》 【平成２９年度中の一円玉募金】 ○拠出校：　２校、　　金額：￥１１，８０８
		６	・１３日、泉南市立信達小学校で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		6	・２３日～２４日、和歌山県の『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』に指導者３名派遣。
		7	・２５日～２７日、大阪市立信太山青少年野外活動センターで『泉北ブロック青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		7	・２７日、岸和田市教育センターで『岸和田市青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		7	・３１日～８月３日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『平成３０年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・トレーニングセンター』を開催。
		8	・９日～１０日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者養成講習会』を開催。
		8	・８日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催.
		8	・２１日、和泉市青少年の家（槙尾山）で『和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニングセンター』を開催。
		9	・５日、『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』が台風のため中止になった。
		9	・２５日～２６日、日赤兵庫県支部（イーグレ姫路・コンフォートホテル姫路）にて『近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府ＪＲＣ奉仕団員５名参加。
		11	・１７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		11	・１９日、『日本赤十字社本社主催国際交流事業』で来日した、バングラデシュ・トンガメンバーを受け入れ。（午前：堺市立はるみ小学校、午後：羽衣学園高等学校）
		11	・２７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		12	・１日、高石市とろしプラザで『泉北ブロック青少年赤十字のつどい』を開催。
		12	・１６日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		12	・１７、１８、２６日、府内献血ルーム及び献血バスにて、大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による「高校生赤メンバーの献血の呼びかけ活動」を実施。
平成31	2019	1	・２６日、堺市役所で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。
		1	・２７日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		3	・１２日、大阪赤十字会館で『赤十字ボランティアのつどい』を開催。
		3	・２１日～２２日、大阪府立少年自然の家で『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター～』を開催。 【平成３０年度 日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】 ○健康安全プログラム　［３６回：２，２６０名］ 《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》 ○介護体験プログラム　［３３回：３，１６３名］ 《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》 ○国際理解・平和学習プログラム　［　９回：１，２７４名］ 《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》 ○防災プログラム　［１６回：２，１９４名］ 《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》 【平成３０年度中の愛のひとにぎり心もち運動】 ○実施校：　８８校園所、　金額：￥４７８，２６９ 【平成３０年度中の一円玉募金】 ○実施校：　３校、　金額：￥１４，６９６
令和元	2019	6	・１２日、泉南市立信達小学校で『泉南市青少年赤十字指導者研修会』を実施。
		6	・１５日～１６日、大阪赤十字会館で『第４ブロック青少年赤十字指導者研修会』を開催。
		8	・１０日～１２日、大阪府立少年自然の家（貝塚市）で『令和元年度大阪府青少年赤十字メンバー・リーダーシップ・総合型トレーニングセンター』を開催。
		8	・７日、泉佐野市泉の森ホールで『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		8	・２０日、和泉市青少年の家（槇尾山）で『和泉市青少年赤十字中学生メンバートレーニングセンター』を開催。
		9	・４日、田尻町立小学校で『泉南ブロック青少年赤十字仲良し交歓会』を開催。
		9	・１２日～１８日、『第４ブロック合同ＪＲＣ国際交流事業』でマレーシアメンバーを受け入れ（午前：しあわせの丘こども園、午後：関西大学高等部）
		10	・１３日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字ギャザリング』を実施。
		10	・２５日～２６日、日赤兵庫県支部（イーグレ姫路）で『近畿ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会』に大阪府青少年赤十字賛助奉仕団員６名が参加。
		11	・１７日、大阪赤十字会館で、大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『防災ピア・エデュケーション』を開催。
		11	・３０日、和泉市コミュニティセンターで『泉北ブロック青少年赤十字指導者講習会』を開催。
		12	・１５日、大阪赤十字会館で大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『赤十字ボランティア活動体験』を実施。
		12	・１８日、２０日、２６日、府内献血ルーム及び献血バスにて、大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会による『献血の呼びかけ活動』を実施。
令和２	2020	1	・２５日、堺市役所で『堺市青少年赤十字のつどい』を開催。

年	西暦	月	こ　と　が　ら
		1	・２６日、大阪赤十字会館で『大阪府青少年赤十字指導者コンベンション』を開催。
		2	・１４日、泉南市立信達小学校で『泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会役員専門委員会研修会』を開催。
		3	・２０日～２２日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い『大阪府青少年赤十字高校生リーダーシップ・スタディー・センター～』が中止。
			【令和元年度 日赤大阪府支部主催ＪＲＣ学習プログラム】
			○健康安全プログラム　［３７回：２，８９９名］
			《けがの予防と応急手当》《水の事故》《赤十字救急法・水上安全法・短期講習》
			○介護体験プログラム　［２９回：２，５１１名］
			《車椅子体験》《ガイドヘルプ体験》《高齢者疑似体験》
			○国際理解・平和学習プログラム　［　９回：　８３６名］
			《子ども達の現状》《赤十字の国際活動》《地雷について》《国際人道法》《ＳＤＧｓ》
			○防災プログラム　［４１回：３，９６９名］
			《災害時の心構え》《炊き出し体験》《災害時の応急救護体験》《防災教材貸し出し》
			【令和元年度中の愛のひとにぎり心もち運動】
			○実施校：　８１校園所、　金額：￥４７９，７４７
			【令和元年度中の一円玉募金】
			○実施校：　２校、　金額：￥９，４２０

《 空 は 世 界 へ 》

1．空はせ界へ　つづいてる
　空はせ界を　だいている
　みんなごらんよ　あの空を
　空が僕らの　私らの
　こころよ心よ　少年赤十字

2．花は誰にも　匂ってる
　花はやさしく　匂ってる
　みんなごらんよ　あの花を
　花が僕らの　私らの
　すがたよ姿よ　少年赤十字

3．星はどこでも　光ってる
　星は仲良く　光ってる
　みんなごらんよ　あの星を
　星が僕らの　私らの
　ほこりよ誇りよ　少年赤十字

4．旗は十字の　愛の旗
　旗はかがやく　愛の旗
　みんなごらんよ　あの旗を
　旗が僕らの　私らの
　しるしよ印よ　少年赤十字

平成３１年/令和元年度

大阪府青少年赤十字活動報告書

令和３年２月　発行

編集　日本赤十字社大阪府支部
　大阪府青少年赤十字賛助奉仕団
　　報告書作成委員　楠　玲子、橘　良寛、中村　直子、井上日出男
　　日根　利栄、金井　保則、辻　博光、奥田　光則
　　八尾　英規、西元　明子、澤田　久子、寺田　真澄
　　中村　初代、永田　惠、竹田　茂久、神野　豊明
　　清水　保、小笠原三生子

大阪市中央区大手前２－１－７
TEL　06-6943-0705（代）
FAX　06-6941-2038

青少年赤十字